令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事

図面番号	図 面 名 称	縮尺	図 面 番 号	図 面 名 称	縮尺	図面番号	図 面 名 称	縮尺
A-01	建築改修工事特記仕様書(1)	-	A-26	【改修前】南校舎1階児童トイレ天井伏図	1:50	E-01	電気設備改修工事特記仕様書	-
A-02	建築改修工事特記仕様書(2)	-	A-27	【改修後】南校舎1階児童トイレ天井伏図	1:50	E-02	【改修後】南校舎1階児童トイレ電気設備図	1:50
A-03	建築改修工事特記仕様書(3)	-	A-28	【改修前】南校舎2階児童トイレ天井伏図	1:50	E-03	【改修後】南校舎2階児童トイレ電気設備図	1:50
A-04	建築改修工事特記仕様書(4)	-	A-29	【改修後】南校舎2階児童トイレ天井伏図	1:50	E-04	【改修後】南校舎3階児童トイレ電気設備図	1:50
A-05	建築改修工事特記仕様書(5)	-	A-30	【改修前】南校舎3階児童トイレ天井伏図	1:50	E-05	【改修後】1階職員トイレ電気設備図	1:50
A-06	建築改修工事特記仕様書(6)	-	A-31	【改修後】南校舎3階児童トイレ天井伏図	1:50	E-06	【改修後】南校舎2階東側トイレ電気設備図	1:50
A-07	建築改修工事特記仕様書(7)	-	A-32	【改修後】1階職員トイレ天井伏図	1:50	E-07	【改修後】屋内運動場トイレ電気設備図	1:50
A-08	付近見取り図・全体配置図	1:Free、1:1,200	A-33	【改修後】南校舎2階東側トイレ天井伏図	1:50	E-08	【改修後】北校舎トイレ電気設備図	1:50
A-09	1階平面図	1:400	A-34	【改修前・後】トイレ床断面詳細図	1:50			
A-10	2階平面図	1:400	A-35	【改修前】南校舎1、2階共通女子児童トイレ展開図	1:50	M-01	機械設備改修工事特記仕様書	-
A-11	3階平面図	1:400	A-36	【改修後】南校舎1、2階共通女子児童トイレ展開図	1:50	M-02	【改修前】南校舎1階児童トイレ機械設備図	1:50
A-12	屋内運動場1階平面図	1:200	A-37	【改修前】南校舎1、2階共通男子児童トイレ展開図	1:50	M-03	【改修後】南校舎1階児童トイレ機械設備図	1:50
A-13	【改修前】南校舎1階児童トイレ平面図	1:50	A-38	【改修後】南校舎1、2階共通男子児童トイレ展開図	1:50	M-04	【改修前】南校舎2階児童トイレ機械設備図	1:50
A-14	【改修後】南校舎1階児童トイレ平面図	1:50	A-39	【改修前】南校舎3階女子児童トイレ展開図	1:50	M-05	【改修後】南校舎2階児童トイレ機械設備図	1:50
A-15	【改修前】南校舎2階児童トイレ平面図	1:50	A-40	【改修後】南校舎3階女子児童トイレ展開図	1:50	M-06	【改修前】南校舎3階児童トイレ機械設備図	1:50
A-16	【改修後】南校舎2階児童トイレ平面図	1:50	A-41	【改修前】南校舎3階男子児童トイレ展開図	1:50	M-07	【改修後】南校舎3階児童トイレ機械設備図	1:50
A-17	【改修前】南校舎3階児童トイレ平面図	1:50	A-42	【改修後】南校舎3階男子児童トイレ展開図	1:50	M-08	【改修前】1階職員トイレ機械設備図	1:50
A-18	【改修後】南校舎3階児童トイレ平面図	1:50	A-43	【改修前】1階職員トイレ展開図	1:50	M-09	【改修後】1階職員トイレ機械設備図	1:50
A-19	【改修前】1階職員トイレ平面図	1:50	A-44	【改修後】1階職員トイレ展開図	1:50	M-10	【改修前】南校舎2階東側トイレ機械設備図	1:50
A-20	【改修後】1階職員トイレ平面図	1:50	A-45	【改修前】南校舎2階東児童トイレ展開図	1:50	M-11	【改修後】南校舎2階東側トイレ機械設備図	1:50
A-21	【改修前】南校舎2階東側トイレ平面図	1 : 50	A-46	【改修後】南校舎2階東児童トイレ展開図	1:50	M-12	【改修前】屋内運動場トイレ機械設備図	1:50
A-22	【改修後】南校舎2階東側トイレ平面図	1 : 50	A-47	【改修前】屋内運動場トイレ展開図	1:50	M-13	【改修後】屋内運動場トイレ機械設備図	1:50
A-23	【改修前】屋内運動場トイレ平面図	1 : 50	A-48	【改修後】屋内運動場トイレ展開図	1:50			
A-24	【改修後】屋内運動場トイレ平面図	1 : 50						
A-25	【改修前・後】北校舎トイレ平面図	1:100						

建 築 改 修 工 事 特 記 仕 様 書 【令和7年4月版】		・その他の廃棄物(管理型) 種類 受入施設名 所在地 (Km) 備 考	①. 建築基準法に よる風圧力等	適用工事建築基準法の指定	4). 工事表示板	※ 設置する 営繕工事における工事及びコスト表示要領(令和6年4月1日宮城県土木部
			- の指定 -	・ 合成高分子系ルーフィングシート 風速(V0) ※30 ・・ アルミニウム笠木 ・ 金属板屋根葺 地表面粗度区分 ・Ⅱ ・Ⅲ	5. 足場等	営繕課・設備課制定)による。 外部足場・設置する (設置範囲・工事に必要な範囲 <2.2.1)
I エ 事 概 要令和6年度(繰)角田市立角田小学校トイレ改修工事		上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定する ものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。	-	折板屋根葺 ・ ガラスブロック 多雪地域の指定 ・有 ・無 重量シャッター ・ 軽量シャッター オーバーヘッドドア ・ 屋上線化		・ 設置しない
1 工事番号·名称 一 号 工事 2 工 事 場 所 角田市 角田 字 牛舘 地内		また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること PCB (ポリ塩化ビフェニール) 含有機器・ 有 (数量は図示) [5.4.1]	12. 設計GL	※ 図 示・ 現状平均地盤高		防護シート ・設置する (設置範囲 ・工事に必要な範囲) ・ 設置しない
3 用途地域等		PCB含有シーリング材 ・ 有 ((3). 施工調査	施工数量調査 <1.6.2 調査項目 調 査 範 囲 調査方法 成 果 品		内部足場 ・設置しない ※脚立、足場板等) ・設置しない ・ 材料、撤去材等の運搬方法
その他の地域・地区() 4 主 要 用 途 学校(小学校) 5 敷 地 面 積 13,3600.74 ㎡		無 PCBを含有する機器等については、飛散、流失等がないように適切な容器に				種別 (・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種) C種:利用可能なエレベーター ()
6 工事の概要 南校舎トイレ改修工事 一式		納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。 アスペストの処理				D種:利用可能な階段 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労 働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工
・北校舎トイレ改修工事 一式 ・屋内運動場トイレ改修工事 一式		吹き付けアスベスト除去工事 ・有(図示) ・無 受け入れ施設名・所在地(km)	(A) 技能士	既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。		法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場 に関する基準」によること。
7 別途工事		アスペスト含有保温材除去工事 受け入れ施設名・所在地(km) アスペスト成形板除去工事 (→有(ケイカル板、石膏ボード)・無	OF IX HE I	単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能		家具及び設備の移動 ・ 行う(図示) ・ 行わない 〈2.3.1.
8 そ の 他		受け入れ施設名・所在地(km) 宮城衛生環境公社 仙台市青葉区熊ヶ根字ド ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理	前原 (53.0)	士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。 エ 事 種 目 対能検定職種 (技能検定作業)		既存プラインド・カーテン等の養生及び保管 ・ 行う ・ 行わない 養生の方法
角田市週休2日工事実施要領に基づき、週休2日(交代制通期4週8休以上)工事とする。 設計金額は、角田市週休2日工事実施要領第10条に基づき算出した金額(PR看板を含むとしており、 休日の設定が4週8休に満たない場合は、設計変更により補正金額の減額を行う。		に素えばカドマンス占有な目が 「の処理 ・有(図示		上 争 (集 日 以下の該当工事 ・該当する作業がある以下の職種(作業)の全て 仮設工事 ・とび(とび作業)	. 7. 仮設間仕切り	保管場所
本工事は、執務並行改修とする。 極力夏季休暇中に可能な限り作業を行うこと。		<対象となる石膏ボード> 小名浜吉野石膏(株) いわき工場 昭和48年10月~平成9年4月の間に		防水改修工事 ・防水施工 ・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業		・ A種 ・ B種 ※ C種
授業中はコンクリートはつり等の大きな音が出る作業は不可となる。 生徒の少ない時間帯に作業をするなどの配慮を行うこと。		製造されたもの 日東石膏ボード(株) 八戸工場 平成4年10月~平成9年4月の間に 製造されたもの		・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業	8). 監督職員事務所	所)※ 設けない(請負者事務所に打合せ会議室を確保する) 〈2.4.1 ・ 設ける(規模 ㎡程度 請負者事務所と同棟 ・可 ・否) ・ 備品(
作業期間の詳細は小学校との打合せにより決定する。 土日での作業を検討する。		指定する処分場 【名称: 所在地(km) 】		・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ防水工事作業	9. 工事用水	構内既存の施設 ・ 利用できる(※有償 ・無償) ※ 利用できない
9 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の〇印もので構成する。	6). 電気保安	適用する ※ 適用しない <1.3.3		- FRP防水工事作業	① 工事用電力	構内既存の施設 ・ 利用できる(※有償 ・無償) (※) 利用できない ※ 溶接などの消費電力の大きな機器を除く
 構造特記仕様書・ 外構工事特記仕様書・ 植栽工事特記仕様書・ 解体工事特記仕様書・ 電気設備工事特記仕様書・ 機械設備工事特記仕様書・ 	⑦. 事故報告	(1.3.10) 工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するととも に、監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに		・ 左官(左官作業) ・ タイル張り(タイル張り作業) ・ 樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業)	①. 工事用通路	※ 指定しない・ 指定する (図示)
工 建 築 工 事 仕 様 1.共通仕様	8). 建築材料等	を登職員に提出する。(宮城県IP「事故発生報告」参照) 材料の品質等		・塗装(建築塗装作業) 建具改修工事 ・サッシ施工(ビル用サッシ施工作業)	1. 降雨等に対する 養生(とい共)	る ※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)~(ウ)による
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の 「公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。	8). 建采材料等	↑ ↑↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑		・ガラス施工(ガラス工事作業) ・自動ドア施工(自動ドア施工作業) 内装改修工事 ・内装仕上施工	2 既存防水の 処理	既存保護層の撤去 (3.2.3~4)<3.2.6 ・行う(範囲・図示による・)
ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。		の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これら		内表以停工争	水 人 改	・行わない 既存防水層の撤去
なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。 2. 特記仕様		と同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾 を受ける。		・鋼製下地工事作業 ・表装(壁装作業) ・建築大工 (大工工事作業)	事	・ 行う (範囲 ・ 図示による ・) ・ 行わない 露出防水層表面の仕上げ塗装除去
1)項目は、番号に〇印のついたものを適用する。 2)特記事は、〇印のついたものを適用する。〇印のつかない場合は※印のついたものを適用する。〇甲のつかない場合は※印のついたものを		環境への配慮 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシッ クハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への		塗装改修工事 ・塗装 (建築塗装作業) 一耐震改修工事 ・鉄筋施工(鉄筋組立作業)		** ・ 行う(・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4DI ・L4X) ・ 行わない
適用する。〇印と〇部のついた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載のく >、() 及び[] 内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、 「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。		影響に配慮する。		・型枠施工(型枠工事作業) ・とび(とび作業) ・コンクリート圧送施工(コンクリート圧送 北工(コンクリート圧送 北工(東代業)	3. 既存下地の 処理	補修箇所の形状、長さ、数量等 (3.2.6)
章 項 目 特 記 事 項 ① 一般事項 ① 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の		※ ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合の建築材料		コンクリートブロック・ルバネル - A L C パネル施工 (A L C パネル工事作業) ・押出成形セメント板工事 石工事 ・ 石材施工 (石張り作業)	. 处理	※図示による POS工法及びPOSI工法(機械的固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤
		1) JIS及びJASのF☆☆☆☆品 2) 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品		排水工事 ・配管 (建築配管作業) 舗装工事 ・路面標示施工 ・溶融ペイントルント・マーカー工事作業		去とした立上り部等の処置 ※改修標準仕様書3.2.6(4)(ウ)(g)①~③による
円滑な進捗をはかること。 ① 施工体系図を現場に掲示すること。		3) 次の表示のあるJAS適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用		・加熱ペイントマシフマーカー作業 ・造園 (造園工事作業) ・ 産園 (造園工事作業) 屋根及びとい工事 ・ 建築板金 (内外装板金作業)		・ 設備機器染台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付
エ事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の		c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない 材料使用	\			け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ※監督職員と協議する
共 ※工事に伴う環境調査要領 平成28年4月(東京都建設局編集)による ※調査に先立って調査計画書を作成し監督職員の確認を受けること		d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない 塗料使用	(5). 完成図等	営繕工事完成引渡要領(令和7年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課)		・図示による
項 調査範囲 ※ 図示				により作成する。 ※ 白焼縮小 (A1版、A3版) 2つ折製本 各2部	4. アスファルト 防水	屋根保護防水(既存)
上版工事材10k例いは103年以7点の未成別が3万/ ・ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化契綱 ・ 建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版)	9. 室内の空気中 の化学物質濃 度の測定	※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と 測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンブラー製造		※ 完成図面 JW形式又はDXF形式のCADデータ 及びPDFデータ DVD-R等 1 部		<u> 改修工法</u> 新設種別 施工箇所 絶縁用シート 断熱材 - P2A - A-1 ※ リエチレンフィルム アミン・ 15mm以上 厚さの、15mm以上
	及の別と	耐た方法] の利泉はモの例に年始するほか、加取方式ではサンファー製造 所の定める仕様により行う。 測定対象物質	16. 完成写真	※ 作成する ・ 作成しない		- A-3 マン・ TSIMINA エスはフラットヤーンクロス フはフラットヤーンクロス フはフラットヤーンクロス フロス が程度
3. 概成工期 工事工期より 日前 〈1.2.1〉		※ ホルムアルデヒド (濃度指針値 100 μg/m3 ・ 0.08ppm)※ ステレン (濃度指針値 220 μg/m3 ・ 0.05ppm)	19. 元成子具	(15成りる) 16成りるい 16成りない 営籍工事写真撮影要領により、完成届に添付する完成写真とは 別に次のものを原本(電子媒体)とともに監督職員に提出する。		· B-2 · P2AI · AI-1 ※フラットヤーンクロス ※JISA9521に基づく押出法
④ 工事実績情報 ※ 適用する(請負精算額が500万円以上の場合)〈1.1.4〉安注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、		※ トルエン (濃度指針値 260 µ g/m3 ・ 0.07ppm)※ エチルベンゼン (濃度指針値 3,800 µ g/m3 ・ 0.88ppm)※ キシレン (濃度指針値 200 µ g/m3 ・ 0.05ppm)		なお、原本は、DVD-R等で提出すること。 分類 サイズ 撮影箇所数 部数 提出様式		- AI-2 - AI-3 - P1BI - BI-1 ・ Ng/㎡程度 ポリスチルンフォーム断熱材3種bA (スキン暦付き)
登録 契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテ の受領書を、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない		測定する室等: ()		※カラー ※L ※営繕工事写真 ※工事用アルバムA4版 ・白黒 ・2L 撮影要領の ※1部 ポケット式程度 ・ ボリリーアルバム		· BI-2
S. 発生材の処理		採取方法:吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。		簡所 枚 (台紙寸法323×270程度)		改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.3及び表3.3.9による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
・ 特別管理産業廃棄物 (受入れ施設名・所在地(km)		測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を1部提出する。 - ³⁰⁰ 全針里	① 設備工事との			・ 日本の記念型 八種和及び序で 用途による区分 ・ 材料による区分 ※R種
・ 現場において再利用を図るもの(・ 再生資源化を図るもの		a 測定結果 b 試料採取時の状況(気温・湿度(室外・室内)、天候、風の状況、 日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、	取合い	施 工 図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して 監督職員の承諾を受ける。		厚さ ()mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
種 類 受入施設名 所 在 地 (Km) 備 考 コンクリート塊 ㈱が ェ・ェ・シー 角田市藤田宇風呂 (3 7)		工事完成時から測定日までの日数) c試料採取方法、測定方法、使用した測定機器	18. 火災保険等	工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。 保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険 ・		※改修標準仕検書表3、3、3及び表3、3、9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分・・
コンクリート塊 ・ 建設発生木材 ㈱県南エコテック 蔵王町小村崎 (23.9)		測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない		保険期間 ※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで・		材料による区分 ※R種 厚さ ()mm以上
・ コンクリートか ら成る建設資材		※ 室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については、 施設管理者に依頼する。	1. 仮囲い	※ 設ける ・ 設けない 仮囲いの位置及び延長は図示による。		平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 ・ 床タイル張り ※水下 60mm以上 ・
・その他の廃棄物(安定型)		総揮発性有機化合物の測定は「11章 総揮発性有機化合物 (TVOC) 測定」参照	2	・キャスターゲート (H= 、W=) × 箇所 ・シートゲート (H= 、W=) × 箇所		ホッイル張り ※ハト OUIIII以上 ・ 立上り部の保護方法
種類 受入施設名 所在地 (Km) 備 考 ・ 陶器類 ㈱山国 川崎町大字支倉殿上山(34.7)	10. 特別な材料の		版 設 2. 交通誘導員	・ 配置する (日 × 人 = 人日) ※ 配置しない		・乾式保護材 (品質・性能、試験方法は別表による) 窯業系パネル I 類 (厚さ (mm) 幅 (mm))
	工法	工法は、当該製品の指定工法とする。	事 3. 揚重機械器具	・ トラッククレーン (t 吊り) × 日 ・ (t 吊り) × 日		・れんが押え (※JIS R 1250 ・) ・コンクリート押え ・モルタル押え (屋内)
		宮城県角田市角田字大坊 4	1 設計年月		4 m++ // m / ****	
		電話 0224-63-0138 FAX 0224-63-4863		図面名称	角田市立角田小学校 ト	Scale A-01
		角田市産業建設部都市!	計 画 謎	┃ ┃ ┃ 特	記 仕 様 書 (1)	I) I

・複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ・建具表による ・	を工事 2. 既存床の撤去を 及び下地補修 3. 既存壁の撤去を 及び下地補修	(6.1.3〉 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示による ビニル床シート等の除去 ※仕上材のみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも(・図示による ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・捜荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※図示による ・間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り (全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による) ・	7. 造作用単板積層材	・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 (6.5.2) 施工箇所 ・適用する・適用しない・適用する・適用しない・適用する・適用しない・適用する・適用しない・適用する・適用しない・※14%以下・適用する・適用しない・※14%以下・適用する・適用しない・※14%以下・適用する・適用しない・適用しない・適用しない・※14%以下・適用する・適用しない・が14%以下・適用する・適用しない・が14%以下・適用する・適用しない・が14%以下・適用する・適用しない・が14%以下・適用する・適用しない・適用しない・適用しない・※14%以下・適用する・適用しない・適用しない・※14%以下・適用する・※14%以下・適用する・※15%	12. 内部間仕切軸 組及び床組み 13. 窓、出入口 その他 14. 軽量鉄骨天井 下地	※杉又は松・・床組みに用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) 〈6.5.7〉 ※杉又は松・・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) 〈6.5.7〉 ※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉・・ 野縁等の種類	
20. ガラス プロック積み ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による・図示による・図示による・図示による・図示による・図示による・プロック積み 20. ガラス プロック積み (5.14.5) でびす法 厚さ 色調 目地幅 伸縮調整目地 防火性能	4. 施工一般 5. 製材	材料のホルムアルデヒド放散量		<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""><td></td><td>周辺部の端からの間隔 ・図示による ・野縁の間隔 ・図示による ・図示による ・既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない あと施エアンカーの施工後の確認試験 ・行う 試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 ・(の)) 箇所 引張試験にで確認する強度 ※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構 成部材等の単位面積あたりの貴量が20kg/㎡以内の天井の</td></td>	<td></td> <td>周辺部の端からの間隔 ・図示による ・野縁の間隔 ・図示による ・図示による ・既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない あと施エアンカーの施工後の確認試験 ・行う 試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 ・(の)) 箇所 引張試験にで確認する強度 ※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構 成部材等の単位面積あたりの貴量が20kg/㎡以内の天井の</td>		周辺部の端からの間隔 ・図示による ・野縁の間隔 ・図示による ・図示による ・既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない あと施エアンカーの施工後の確認試験 ・行う 試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 ・(の)) 箇所 引張試験にで確認する強度 ※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構 成部材等の単位面積あたりの貴量が20kg/㎡以内の天井の
(mm) (mm) 位置 (mm) ・160×160 ・95 ・200×200 ・95 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ カ骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) ・ ・		Rac Ra		・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 ・1類 ・特類 ・適用する・適用しない ・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 厚さ (mm) 接着の程度 防虫処理 ・1類 ・2類 ・適用する・適用しない		15. 軽量鉄骨壁 下地	場合は400N程度 ・()N ※行わない ・つりボルトの間隔が900mmを超える場合 (補強方法 ※図示による ・)・天井のふところが3.0mを超える場合 (補強方法 ※図示による ・)・天井下地材における耐震性を考慮した補強 (補強箇所 ※図示による ・)(補強方法 ※図示による ・) スタッド、ランナーの種類 ※の下による ・) ※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類・図示による ・ 。
 ※はしご形状複筋及び単筋 ・ 化粧目地モルタルの色 (・白 ・グレー) シーリングの種類 (・SR-1 ・PS-1) 金属製化粧カパー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 ・オ法 ※図示による ・形状 ※図示による ・ 間地部の横力骨の納まり ※ガラスプロック製造所の仕様による ・ 図示による ・ 図示による 	6. 造作用集成材	・ 造作材の場合 ・ 適用する ・ 適用しない ・ 通用しない ・ 適用する ・ 適用しない ・ 適用しない ・ 適用しない ・ 多種 ・ 8種		・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理 ・1類 ・2類 ・適用する・適用しない ・パーティクルボード ・適用しない 施工箇所 表裏面の状態に よる区分 よる区分 よる区分 よる区分 (mm) ※13タイプ ※P又はM ※15・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(1) ビニル床 シート17. ビニル床 タイル	※図示による・ 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※改修標準仕様書6.7.4(5)による・ ・ (6.8.2、3) 種類の記号 色柄 厚さ (mm) (備考) ※FS(複層ピール床シート) ※無地・マーブル柄・マーブル柄・補物・補物・補物・補物・補物・補物・括合部の処理・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
1. ガラス用 14類 15 15 15 15 15 15 15 1		・「集成材の日本農林規格」による化粧ぼり造作用集成材 施工箇所 品名 材種名 寸法 化粧薄板の 見付け 材面 面の品質 化粧薄板: ※1等 心材: ・2等 化粧薄板: ※1等 心粒: ※1等 ・2等 ※1等 ・2等 ※1等 ・2等 ※1等 ・2等 ※15%以下 ・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 が立まりのよりに対しています。 ※15%以下 ・15%以下 ※15%以下 ・15%以下 ※15%以下	9.接合具等	・JAS 0360 に基づく構造用パネル施工箇所 寸法 (mm) ・MDF 施工箇所 厚さ 表裏面の状態 曲げ強さに 接着剤に 難燃性に による区分 よる区分 よる区分 よる区分 よる区分 よる区分 よる区分 よる区分	18. 特殊機能床材	種類 ()	
		・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 材種名 寸法 (mm) 化粧薄板の 厚さ (mm) 見付け材 面の品質 化粧薄板: ※15%以下 ・ 化粧薄板: ※15%以下 芯材: ※15%以下	10. 接着剤 11. 防腐・防蟻 処理	諸金物 ※かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (改修標準仕棟書表6.5.3~5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度) ・ (形状: 寸法: 材質:) 接着剤のホルムアルデヒド放散量 (6.5.3、4) ※F☆☆☆☆ ・ (6.5.3、4) ※ F☆☆☆☆ (6.5.5)		性能 () 厚さ(mm) () ・帯電防止床タイル 種類 () () 性能 () 寸法(mm) () × () 厚さ(mm) () × () 厚さ(mm) () ・視覚障害者用床タイル ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。 種類 () 形状 () ・耐動荷重性床シート 種類 () 厚さ(mm) ()	
		宮城県角田市角田字大坊 4 1 電話 0224-63-0138 FAX 0224-63-4863 角田市産業建設部都市計画課	設計年月	令和6年度(繰) 角 図面名称	田市立角田小学校トイ : 記 仕 様 書 (2	Scale A-02	

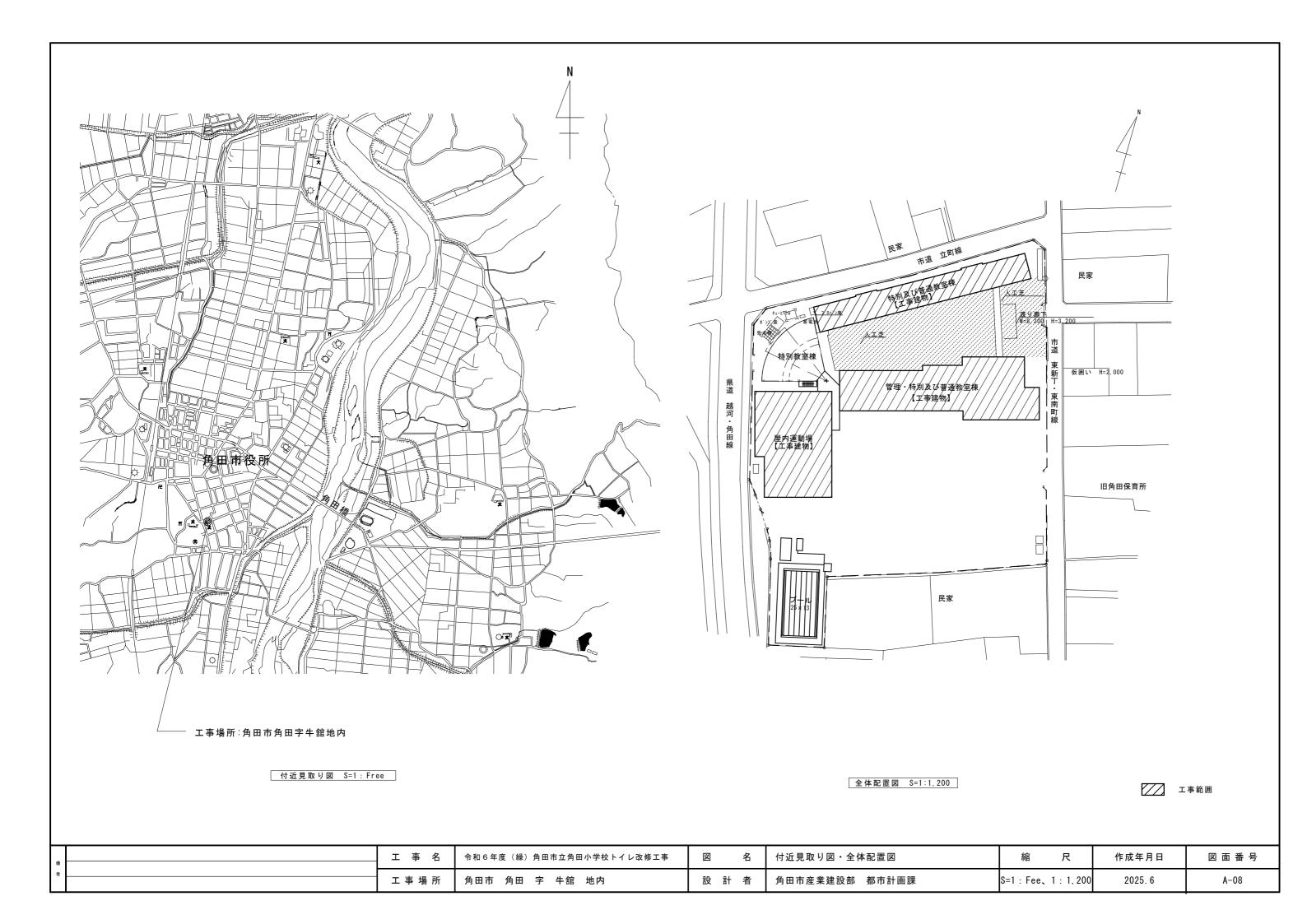
※軟質 ・硬質 高さ (mm) ※60	張り ※改修標準仕様書6.11.2(2)による ・	・強つでは、		29. セルフレベリング材 塗り 1. 材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 防火材料
 織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種1号 呼び厚さ 8mm ・ケフテッドカーペット パイル形状	(5) せっこうボード MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※ボネ☆☆ ☆ 右板のホルムアルデヒド放散量 ※次砂修標準仕様書6.13.2(2)(4)の(a)~(d)のいずれか ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ボネ☆☆☆ 表面への化粧張り等の加工 ※図示による ・ 種類等	26. 壁紙張り ホルムアルデセ ※F ☆ ☆ ☆ ★ ☆ ☆ ★ ★ ☆ ☆ ★ 施工 箇所 紙 紙 「	###	3. 素地ごしらえ	※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)
・ 模様流し ・ 階段部分 ・ ※模様流し ・ 市松敷き ・ 見切り、押え金物 ・ 材質() 種類() ・ 形状等 ・ ※図示による・・	・天井仕上げ材 ・9・12・15・18 ・内装仕上げ材	・図示による 中縮目地の位置 床タイル張り 中縮目地の位置 床タイル張り 中縮目地の位置 床タイ製示に 人 収 収 に 水 タ 図示 日本 で 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1		4. 錆止め塗料 塗り	鉄鋼面 (DP)

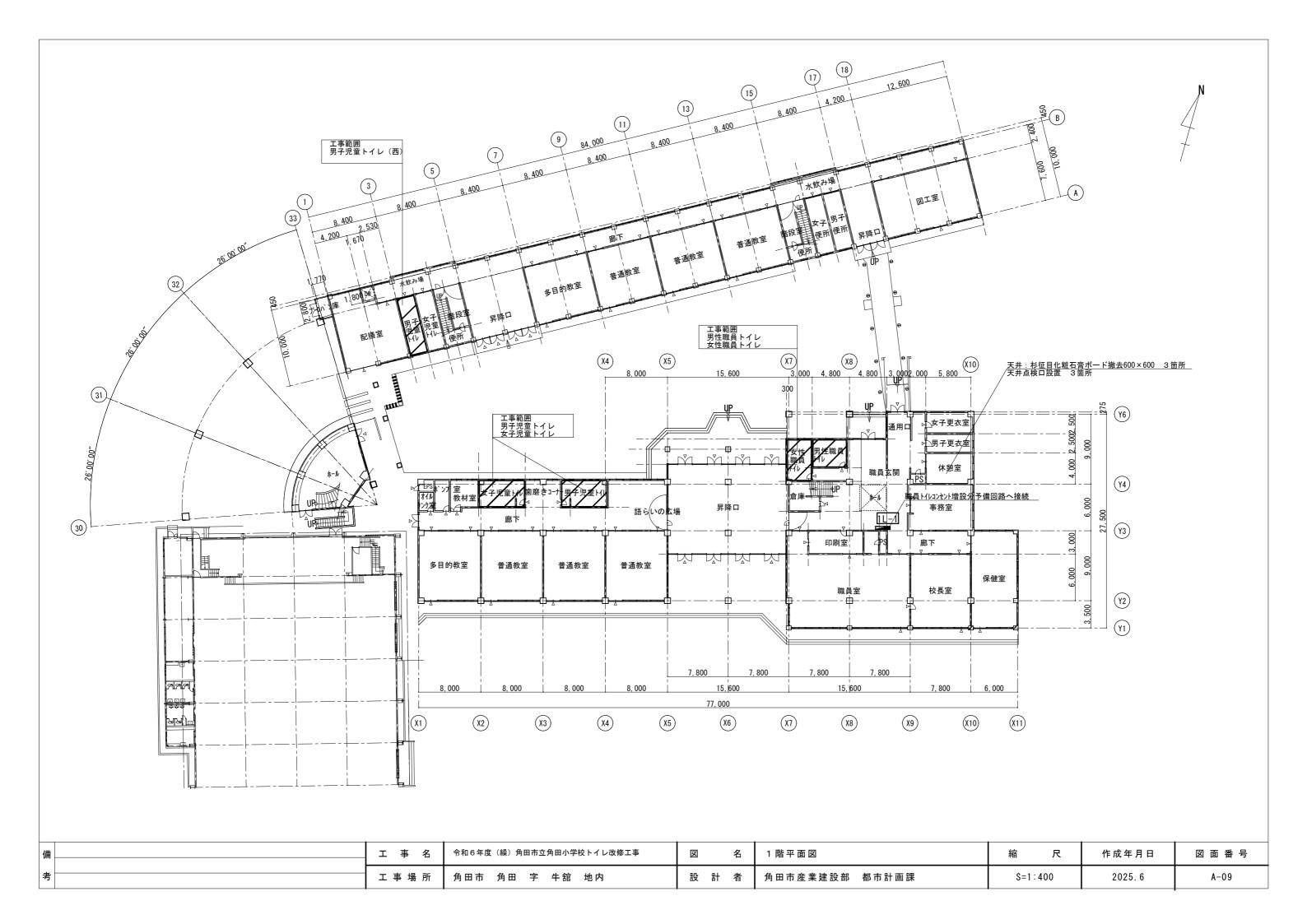
	5 塗装	⟨7. 5. 2~7. 12. 2⟩	1	鉄筋	鉄筋の種類等	(8. 2. 1)			試験項目			コンクリ	構造体強度補正値		<8. 10. 2>
7		塗装の種類 塗装面 塗替え 新規	8-1		種類の記号 呼 び 径 (mm ※SD295	備 考	.		※挿入長さ 試験方法		- F	- > - 5 - 11	※6N/mm² •		(0.10.1) (0.10.0)
塗装改修工事		・合成樹脂調 木部屋外 ※B種 ※A種 ・合ペイント 木部屋内 ※B種 ※B種	鉄		※SD345 ・差し筋7ンカ- BD10		.		波測定方法及び判定基準)	ート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音 による	8. マスコ ート	1200	・図示による()	•	(6. 13. 1) (6. 13. 2)
改修		塗り(SOP) 鉄鋼面 ※B種・ ※B種・ ・ ・ ・ ※B種・ ・ ・ ※B種・ ・ ・ ・ ※B種・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	加工事		<u> </u>				不合格となった場合の措置 ・				セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント		
事		※1種・2種 亜鉛タッキ鋼面(鋼製建具以外) ※B種・ ※B種・・クリヤラッカー塗り(CL) ※B種 ※B種	2).	溶接金網	鉄線の形状等 種 類 種類の記号 鉄線の形状、網目寸法								・中庸熱ポルトランドセメント・低熱ポルトランドセメント		
		・A種 ・A種 種類: 種類:			○溶接金網 100×100 径4.0 ・鉄筋格子	図示		溶接継手	適用箇所	⟨8, 4, 3⟩			・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種		
		・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) ※B種 ・A種 ※B種 ・A種	2	鉄筋の継手	鉄筋の継手の方法等	<8. 3. 4><8. 4. 2. 3>	. .	AD IX WE I	・図示による(H12建告第1463号に適合する性能	\d. i. 0/			・シリカセメント		
		鉄鋼面 -	3.		部 位 継 手 方	法 呼び径(mm)			• A級 •				混和材料		
		上塗り等級 ()級 亜鉛めつき鋼面			柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ・ † ・ 溶接継手	茂楸式継 于			溶接継手の工法 ・図示による()				・混和剤 混和剤の種類		
		・耐候性塗料 上塗り等級()級 塗り(DP) コンクリート面及び ・A-1種 ・B 1種			耐力壁の鉄筋 ・重ね継手 その他の鉄筋()	·			施工完了後の継手部の試験 ・外観試験				※標準仕様書6.13.2(2)(7) ・混和材	による・	
		コンテリート回及び ・ B-1種 ・ ・ B-1種 ・ ・ C-1種 ・			継手位置				試験対象 ※全数				混和材の種類 ※標準仕様書6.13.2(2)(4)	による・	
		・つや有合成 コンクリート面等 ※B種 ・ ※B種 ・ A種 樹脂エマルション 屋内の木部 ※B種 ・ ※A種			・図示による				試験項目 ・評定等の評価内容による				スランプ ※15cm ・		
		(EP-G) 屋内の亜鉛めっき面 ※A種 · ※A種 · B種			柱及び梁主筋の重ね継手の長さ ・図示による ・				試験方法・評定等の評価内容による				構造体強度補正値 ※標準仕様書表	6.13.1による	
		・)合成樹脂Iマルションペイント塗り(EP) ※B種 ・ A種			耐力壁の重ね継手の長さ				• 超音波探傷試験		9. 無筋=	コンクリ	- > 5 !! 0 辞報		<8. 11. 1>
		・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) ※B種・・※B種・A種			・図示による・				試験対象 抜取り		- F		コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・		
		・ステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)	4.	鉄筋の定着	鉄筋の定着長さ ・図示による ・	⟨8. 3. 4⟩				った溶接箇所で、最大200箇所程度に			設計基準強度 ※18N/mm ² •		
		・木材保護塗料塗り(WP) ※B種 ・A種 ※B種 ・A種			│機械式定着工法 ・適用する				する。 ・ ・				スランプ ※15cm又は18cm ・		
		つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(コンウリート面、モルタル面、せっこうプラ / スター面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしみ止め			適用箇所・図示による(試験の箇所数 1ロットに対して()箇所			セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高	「炉セメントA種	、シリカセメントA種又は
		※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしみ 止めシーラーとする			· 種類				· 全数 試験項目	, em			フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種	=	
		•			・摩擦圧接接合 ・螺合グラウト	固定			※内部欠陥の検出 試験方法				・フライアッシュセメントB種 適用筒所		
		合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め ※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしみ			・篏合グラウト固定・ 工法				※JIS Z 3063 (鉄筋コンクリー	ート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法			・図示による()	•	
		止めシーラーとする ・			※第三者機関の評定等を取得している工業 必要定着長さ	玉とする			及び判定基準)による 不合格となった場合の措置		10. 流動化				(6. 15. 1)
		クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用			※評定等の評価内容による 補強筋形状						ו-ני	•	適用箇所 ・図示による()		
		・適用しない ・適用する(着色剤:・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤)			※評定等の評価内容による かぶり厚さ										
		ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用 ・適用する			※評定等の評価内容による 品質確認		9.	割裂補強筋	形状	<8. 21. 6><8. 22. 7>		ぎの位置、 別れ誘発	打継ぎの位置 ・図示による()	(6. 6	6. 4) (6. 8. 1) (9. 7. 3) <3. 7. 3>
		・適用しない オイルステイン塗りの工程等			※評定等の評価内容による 検査				・スパイラル筋 ・				目地寸法 ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による	. 國子 <i>(-</i>)	+ Z ()
		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			※評定等の評価内容による				種類の記号		150		ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸		ra()
				鉄筋のかぶり		<8.3.5>	.		・SR235またはSWM-P ・				・図示による()		
				(溶接金網を含	最小かぶり厚さ ・ 図示による ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				呼び径、曲げ直径、ピッチ ・図示による			▶コンク ∙の仕上り		<u> 適用箇所</u>	<8. 1. 4>
				含む)	軽量コンクリートを適用する場合 ・あり 適用箇所()				•				- A種 - B種		
					・最小かぶり厚さに加える厚さ (耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受)								· C種		_
					・あり 適用箇所(・最小かぶり厚さに加える厚さ (コンクリート の種類	コンクリートの類別 ※ I 類 (JIS A 5308への適合を認証:	〈8.1.3〉 されたコンクリート)			コンクリートの仕上りの平たんさ 種別	(柱・梁・壁) 適用筒所	
			6	圧接完了後の	超音波探傷試験	<8.3.8	8-2	** IEM	・ II 類 (JIS A 5308に適合したコン					クリート、塗装	支仕上げ、壁紙張り、
				試験	※行う(全圧接部)	(0. 0. 0/	1 2		・普通コンクリート	〈8. 1. 3〉〈8. 1. 4〉〈8. 2. 5〉〈8. 9. 2〉 左於第八帝孫原皇			・b種 仕上塗材塗り		ダタイル張り、モルタル塗り
			7.	機械式継手	適用箇所	<8. 4. 2>	121	積質量による		(t/m³) 地州首別			胴縁下地	10000円 100円 100円	ラブリル取り、こルブル至り
					※図示による()			種類及び強度		· 2. 3程度 · 2. 3程度			コンクリートの仕上りの平たんさ(
	1. 適用範囲	・改修標準仕様書 8章 耐震改修工事			H12建告第1463号に適合する性能 ・A級		事								リ、コンクリート直均し仕上
8		・改修標準仕様書において8章耐震改修工事以外の改修工事で8章を引用して いる部分			種類 ・ねじ式鉄筋継手				構造体強度補正値 ※改修標準仕様	書表8.2.4による・				防水下地、セル	レフレベリング材塗り
耐		•			充填方式 ・無機グラウト方式 ・有機グラウ	ト方式・			・軽量コンクリート 設計基準強度 スランプ 気乾単位容	字積質量			・c種 タイル張り、モル	タル塗り、二重	重床
農改		工事内容			・端部ねじ加工継手				(N/mm ²) (cm) (t/m ³		13. 打増し	、厚さ			<8. 7. 8>
耐震改修工事		・鉄骨ブレースの設置工事・柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)			・モルタル充填式継手					- 12 - 12			・打放し仕上げの打増し厚さ(外部) ・20mm ・	こ面する部分に	
共		・ 注補強工事 (領板巻き工法又は帯板巻き付け工法)・ 連続機維補強工事			工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法と	ナス			構造体強度補正値 ※改修標準仕様	事 主♀ 2 // - トス -			・打放し仕上げの打増し厚さ(内部I ・10mm ・20mm ・	こ面する部分に	限る)
共通事項		・耐震スリット新設工事			鉄筋相互のあき	ער ק		4.1			14. 型枠				(6. 8. 2) <8. 2. 7>
項		· 免震改修工事 · 制振改修工事			※評定等の評価内容による 品質の確認		3.	セメント	種類	<8. 2. 5>			せき板の材料及び厚さ ・合板(※12mm ・)		
		・土工事及び地業工事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			※評定等の評価内容による 検査				フライアッシュセメントA種(普通7	セメントA種、シリカセメントA種又は ポルトランドセメントの品質は、JIS R			・断熱材を兼用した型枠材 使用箇所		
	2. 既存部分の	<8. 21. 2、3×8. 22. 2、3×8. 23. 2、3×8. 24. 4×8. 25. 2×8. 28. 2>			※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験				402J/g 以下のものとする)	9が7日目で352J/g 以下、かつ28日目			・MCR工法用シート	•	
	処理等	既存構造体の撤去 撤去範囲			・外観試験 試験対象				適用箇所() ・高炉セメントB種 適用	月箇所()			適用箇所・図示による()		
		・図示による(はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置			※全数 試験項目				・フライアッシュセメントB種 適用				打増し厚さ ・20mm ・ 打増し範囲 ・図示による()	
		・ 図示による () ・ 既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度			・評定等の評価内容による・ 試験方法		4.	骨材	アルカリシリカ反応性による区分 ※A・B	⟨8. 2. 5⟩			スリーブの材種・規格等		
		・既存柱、梁面 ・打継ぎ面等の15~30%程度に、平均深さ 2~5mm (最大7mm)程度の凹凸			・評定等の評価内容による・			混和材料	・混和剤	/0 2 E	15 #II+ħ.a	Nto T TA	シアコネクタをセパレーターとして		<8.7.8>
		を、全体にわたってつける。			・超音波測定試験 試験対象		5.	/ደር የህ የሃ ተቸ	混和剤の種類	<8. 2. 5>	15. 型枠0		使用箇所		\0. 1. 82
		· 既存壁			・抜取りロット				※改修標準仕様書 8.2.5(4)(a) ・混和材	l-よる ・			・図示による()	•	
		・打継ぎ面の10~15%程度に、平均深さ 2~5mm (最大7mm) 程度の凹凸を、 全体にわたってつける。			・1組の作業班が1日に行った継手 する。	箇所で、最大200箇所程度に			混和材の種類 ※改修標準仕様書 8.2.5(4)(b)(による・・					
		既存杭の撤去等			- 試験の箇所数		6.	構造体用モル	構造体用モルタル	<8. 2. 6>					
		・撤去範囲及び撤去方法 ・図示による() ・				箇所		タル	圧縮強度() フロー値()						
\vdash								設計年月		工事名称			<u> </u>	全 葉	図面 No
						宮城県角田市角田字大坊 4 電話 0224-63-0138	1		INDIANA	令和6年度(繰)	角田市立角田小	学校トイ			
						FAX 0224-63-4863 角田市産業建設部都市計画	課			図面名称	寺 記 仕 様	· 書 (Scale 4)		A-04

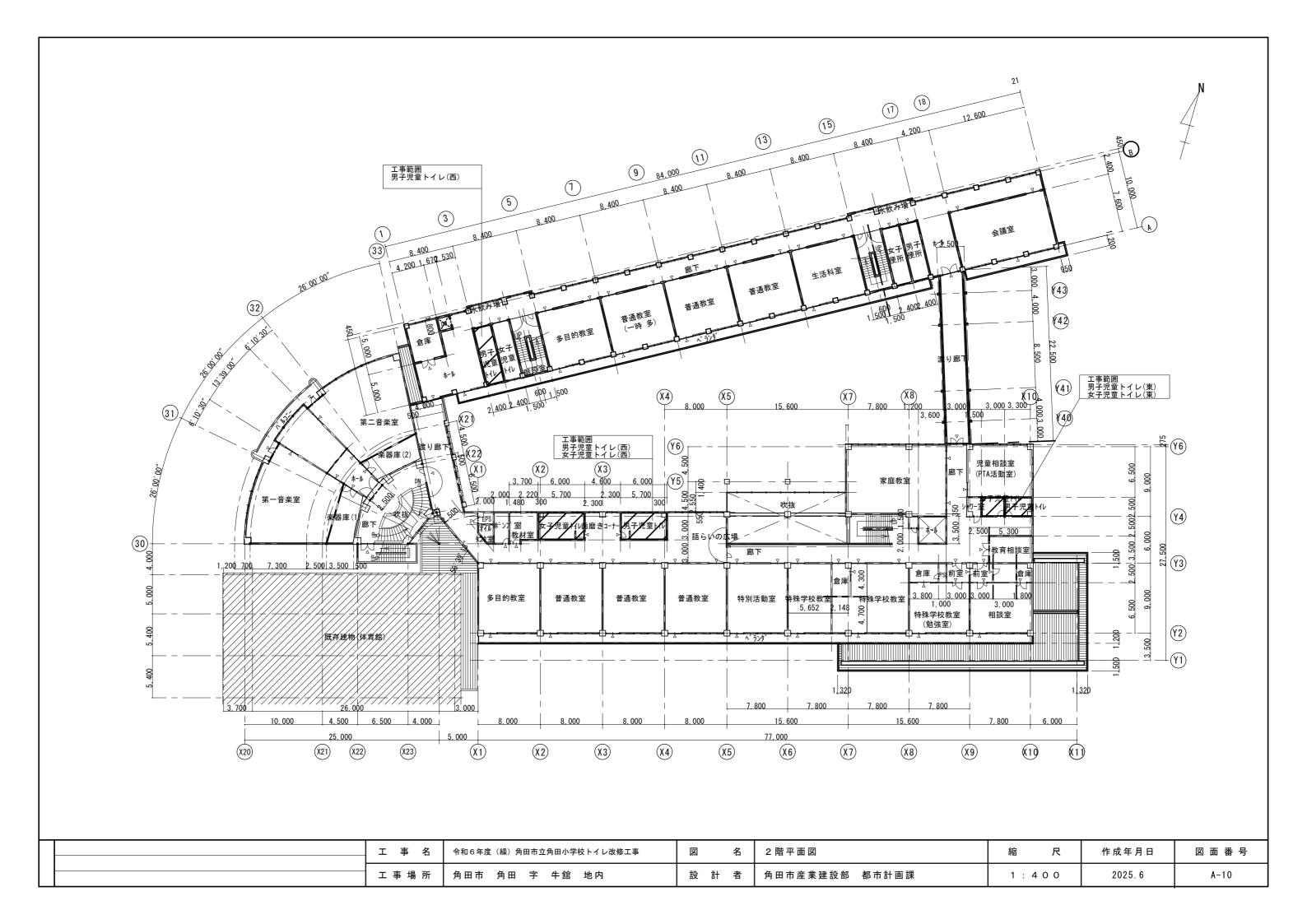
16. コンクリート	<8. 21. 8><8. 23. 5~7>	7.アンカーボルト	(7. 2. 4) (7. 3. 2)	17. 耐火被覆		⟨8. 18. 2⟩~⟨8. 18.	3> 8-5 1. 柱底均しモル	レ・柱底均しモルタル	<8. 2. 12>	
の打込み工法	等 コンクリートの打設工法の種類 補強工法 打設工法 ・現場打ちコンクリート壁の 増設工事 ・工法指定なし ・図示による(・図示による(・ ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・全ての増設壁 ・全ての増設壁	・構造用アンカーボルト 種類 ・ABR400 ・ABR490 ・建方用アンカーボルト 種類		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	種類 材料・コ 種類 材料・コ ・乾式吹付け ・・・ ・耐火材吹付け ・・ ・半乾式吹付	正法 性能(耐火時間) 適用箇所(部位・部 ナロックウ	タル及びグラウトエ	 禁無収縮モルタル・・・ グラウト材 無収縮グラウト材の材質等 混和材 セメント系(酸化カルシウム及びカルシウス) 	フム・サルフォ・アルミネ	
	<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""><td>・SS400 ・ アンカーボルト及びナットの ※標準仕様書 表7.2.3によ ・標準仕様書7.2.4以外のアンカー 適用箇所 ・図示による (種類</td><td></td><td></td><td>ウール ・湿式ロック ・ ・耐火板張り ・繊維混入I ・シウム板</td><td></td><td>事 </td><td>ート等によって膨張する性質を利用するも セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合 トランドセメントとする。 サ 土木学会コンクリート標準示方書に定めら 特に精選されたものを絶対乾燥状態で使月 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥</td><td>合した普通または早強ポル られた品質を有するもので 目する。</td></td>	<td>・SS400 ・ アンカーボルト及びナットの ※標準仕様書 表7.2.3によ ・標準仕様書7.2.4以外のアンカー 適用箇所 ・図示による (種類</td> <td></td> <td></td> <td>ウール ・湿式ロック ・ ・耐火板張り ・繊維混入I ・シウム板</td> <td></td> <td>事 </td> <td>ート等によって膨張する性質を利用するも セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合 トランドセメントとする。 サ 土木学会コンクリート標準示方書に定めら 特に精選されたものを絶対乾燥状態で使月 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥</td> <td>合した普通または早強ポル られた品質を有するもので 目する。</td>	・SS400 ・ アンカーボルト及びナットの ※標準仕様書 表7.2.3によ ・標準仕様書7.2.4以外のアンカー 適用箇所 ・図示による (種類			ウール ・湿式ロック ・ ・耐火板張り ・繊維混入I ・シウム板		事 	ート等によって膨張する性質を利用するも セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合 トランドセメントとする。 サ 土木学会コンクリート標準示方書に定めら 特に精選されたものを絶対乾燥状態で使月 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥	合した普通または早強ポル られた品質を有するもので 目する。
	及び溶接封鎖・流込み工法 8.21.8(1)(7)(2) ・全ての柱補強部分・図示による() ・日入工法 8.21.8(1)(4)(3) ・全ての柱補強部分・図示による() ・図示による() ・図示による()		· SS400 ·			・耐火材巻付 け ・ラス張りモ ルタル塗り ・耐火塗料	ックウール	- - - -	無収縮グラウト材の品質及び試験方法 コンシステンシー J立一トによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 : ブリージング 練り混ぜ2時間後のブリージング 凝結時間 凝結開始時間 : 1時間以上 終結時間 : 10時間以内	
	・ 工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7)(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4)(3) 銅板巻き工法及び帯板巻き付け工法での型枠等	8. 溶接材料 - 改修標準仕様書 8.2.10(1)(2	2)による (8.2.10>		構造用アンカーボルトの形も ・図示による(構造用アンカーフレームの用 ・図示による() •	3)	無収縮性 材齢 7日 収縮しない 圧縮強度 材齢 3日 20.0 N/mm²以上 材齢 28日 40.0 N/mm²以上 塩化物量 0.30kg/m³以下 i) NEXCO試験方法 試験法312-199		
	# 対象をとえない。	9. スタッド <u>種類等</u> 呼び名 ロード・19 ・ 22	(8.2.11) 呼び長さ (mm) 適用箇所		建方用アンカーボルトの形料・図示による(・図示による) ・選方用アンカーボルトの保料 種別 ・A種 ・B種	大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大		管理試験方法」による。プレミ 試験方法 による。プレミ 混和材が同一の場合の試験はプ 2)塩化物量の試験は、JIS A 1144 ト中の水の塩化物イオン濃度試	ックス形と現場調合形で レミッ女ス形のみとする 「フレッシュコンクリー	
	既存柱外周部あと打ちコンクリート又は構造体用モルタルの厚さ ・図示による() ・ 補強後の仕上げ ・図示による() ・	10. 製作精度	(8.13.3) 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による の食い違いの寸法		柱底均しモルタル厚さ及びコ 厚さ・ 種別 ※A種・B種	正法の種別	8-6 1. 連続繊維シー	- 連続繊維の材料 ・炭素繊維	<8. 2. 13><8. 24. 6>	
8-3 1. 鉄骨製作工場鉄 骨	8.1.5〉 鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得 している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場	※H12建告第1464号第二号イ(・アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ((2)による	19. 鉄骨ブレース 設置後の仕上 げ	・図示による(⟨8. 22.	連続繊維補強強	・アラミド繊維 ・アラミド繊維 ・別張強度(含浸硬化後) ・ () N/mm ² ・ ヤング係数(含浸硬化後)		
工事 2. 鉄骨製作工均 における施コ	() グレード以上 ・監督職員の承諾する工場	食い違い・仕口のずれの検査方 ・「突合せ継手の食い違い仕 ・ 11. 仮組 仮組を行う範囲	:口のずれの検査・補強マニュアル」による	-4 ① あと施エアン カー	材料等 ・金属系アンカー ・引張耐力	<8.2. kN ・図示による()	事	・ 下地処理 ・ ひむ割れ部改修 範囲 ・ 図示による ()		
管理技術者	種類等 (8.2.8) 種類の記号 適用箇所(主要な部分) 規格	・図示による() 12. 溶接作業を行 う技能資格者 ・図示による()	· (8. 15. 3)	と 施 エ ア ン カ 1	・せん断耐力 ・ アンカー本体の径及び ・図示による(セット方式 ※本体扌	kN 図示による() 里込み長さ)) T込み式改良型		・		
	・ JISIによる ・	技量付加試験 13. 溶接接合 開先の形状 ・図示による(・鋼製エンドタブ の切断する部:	<8. 15. 4><8. 15. 7>	デ エ 事	接合筋の種類、径、長さ・図示による(・性能確認試験 試験方法及び試験数・図示による() •		連続繊維補強材の強度試験 ・引張強度試験 ※JIS A 1191(コンクリート用連続繊維シートの ・ 計略数量	0引張試験方法)による	
4. 高カボルト	・JISによる ・	て直線状に切断する。) ・ 金等は、梁フランジの端から5mm以下を残し 場合は、交差部をアール状に加工する。		せん断耐力 アンカーの種類 ※カ 接着剤の品質	プセル方式回転打撃式・		試験数量 ・図示による()・付着強度試験 ※JIS A 6909 (建築用仕上塗材)による 試験数量		
	・ボルトの緑端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による () 摩擦面の処理方法 ・改修標準仕様書8.14.2(1)による。	・ 切断面の仕上げ ・ 改修標準仕様書8.15.7(1 ・ スカラップの形状	() (h) (b) ②による		※有機系 ・無機 アンカー筋の径及び埋: ・図示による(アンカー筋の種類	込み長さ)・・	2. 仕上げ	・図示による() <td color="</td" rowspan="2"><td><8. 24. 7></td></td>	<td><8. 24. 7></td>	<8. 24. 7>
	・ ・すべり試験の実施 ・すべり係数試験 ・すべり耐力試験 すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(4)による摩擦面の 確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。	14. 入熱 パス間温 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条度の溶接条件 適用箇所) (48. 15. 7)<8. 15. 10)		アンカー筋の新設壁内・図示による(・性能確認試験 試験方法及び試験:・図示による() •	8-7 1. 耐震スリット の方式、 耐 震 幅及び深さ	・完全 ・部分 幅及び深さ		<8. 25. 2>
5. 普通ボルト	〈8. 13. 2〉(7. 2. 3) ボルト及びナットの材料 ・標準仕様書 表7. 2. 3 (JIS附属書品) 又は次による ボルトの規格は、JIS B 1180とする。	 ・図示による() ・柱、梁、ブレースのフランジ 15. 溶接部の試験 平12建告第1464号第二号に関する 	<8. 15. 12>	2. 穿孔	埋込み配管等の探査方法 ・鉄筋探知器(金属探知器 ・はつり出しによる	〈8,12.)より探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しする		・図示による() ・ 設置箇所 ・図示による() ・	<8. 12. 4 >	
	ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は 鋼とする。 ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。 ナットの規格は、JIS B 1181とする。	・「突合せ継手の食い違い仕口の 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査②	ア が	③ 施工確認試験	試験方法 ※引張試験機による引張記 確認強度	〈8.12. 式験	設 の施工前の エ 埋込み配管等	既存撤去部の埋込み配管等の探査方法 鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、面 ・はつりだしによる		
	ナットの種類は、六角ナット-Cとし、材料は鋼とする。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶i し、完全溶込み溶接部の外観	接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただ 検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇 不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13に	4. あと施工アン カー穿孔工法	・図示による(耐震補・ ・図示による(耐震補・ ・ ※改修標準仕様書8.12.1 (2	<8.12.	充填材の挿 <i>り</i> 及び周囲補修 等	、 ・耐火材	(d. 20. 27	
6. 溶融亜鉛めっ	図示による(母屋又は胴縁の取付けに使用するポルトの孔径 ※ねじの呼び径+1.0mm	・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	・耐震改修部位に使用するD)による。 13以上のあと施工アンカーは、ケーシング又は いた低騒音工法を採用する。	¥	・図示による() ・		
	 ボルトの緑端距離、ボルト間隔、ゲージ等・図示による(摩擦面の処理方法・ブラスト処理(表面粗度50 μ mR z 以上)・りん酸塩処理・ 	16. 錆止め塗装	• 塗装範囲							
	・すべり試験の実施 ・すべり係数試験 ・すべり耐力試験 すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.20.5(1)(7)又は(4)による 摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。	塗料の種別 ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗	接改修工事]による 製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の							
		同3 八 以後77 ル T文相する即の空	1-11 (±//)							
			宮城県角田市角田字大坊 4 1 電話 0224-63-0138 FAX 0224-63-4863 角田市産業建設部都市計画課		日調査者氏名	設計者氏名 工 事 名 称 令和 6 年度 (繰) 図 面 名 称	角田市立角田小学校ト	イレ改修工事 Scale	図面 №。 A-05	
							特記仕様書	(0)		

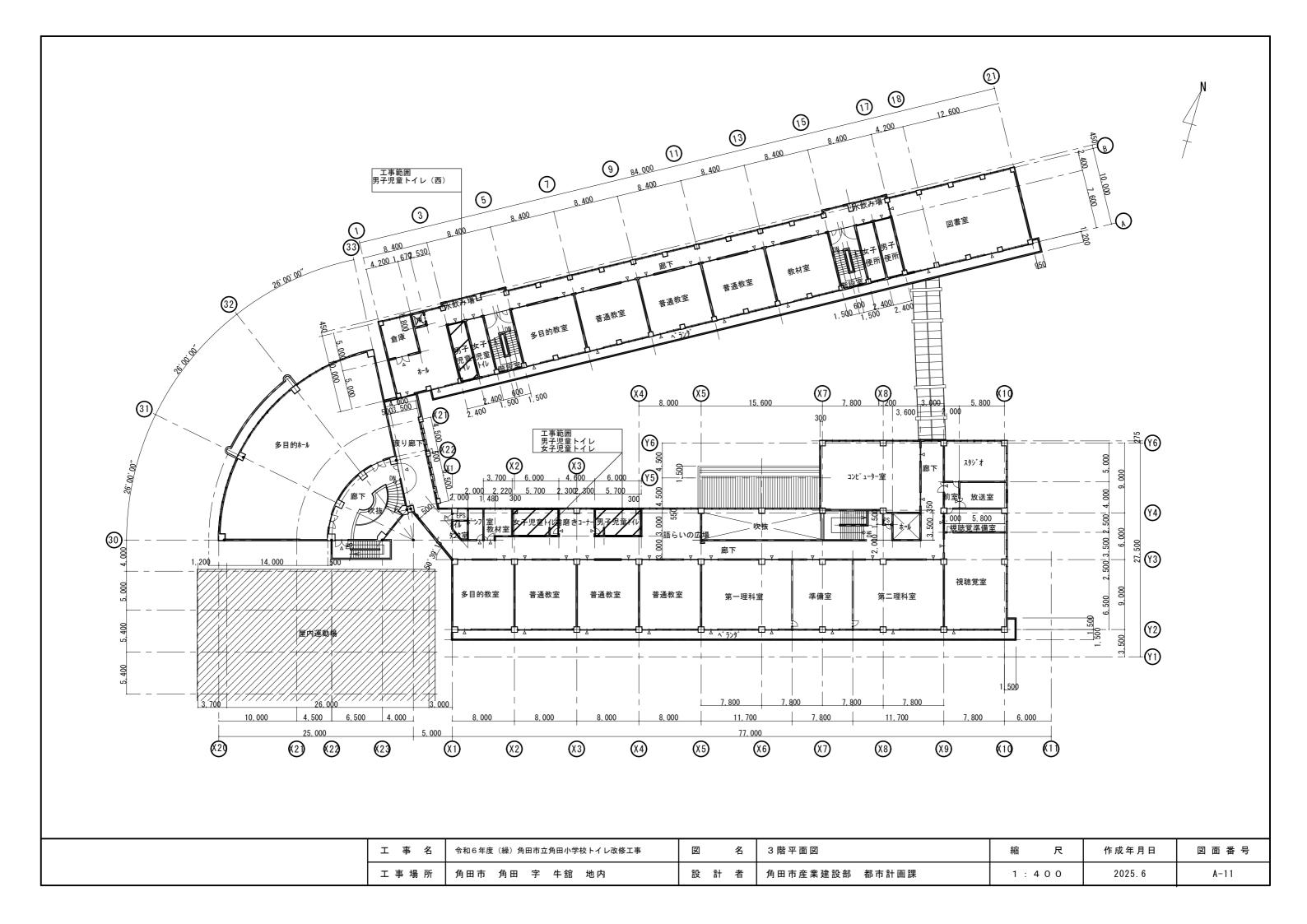
(ケイカル板、石膏ボード)

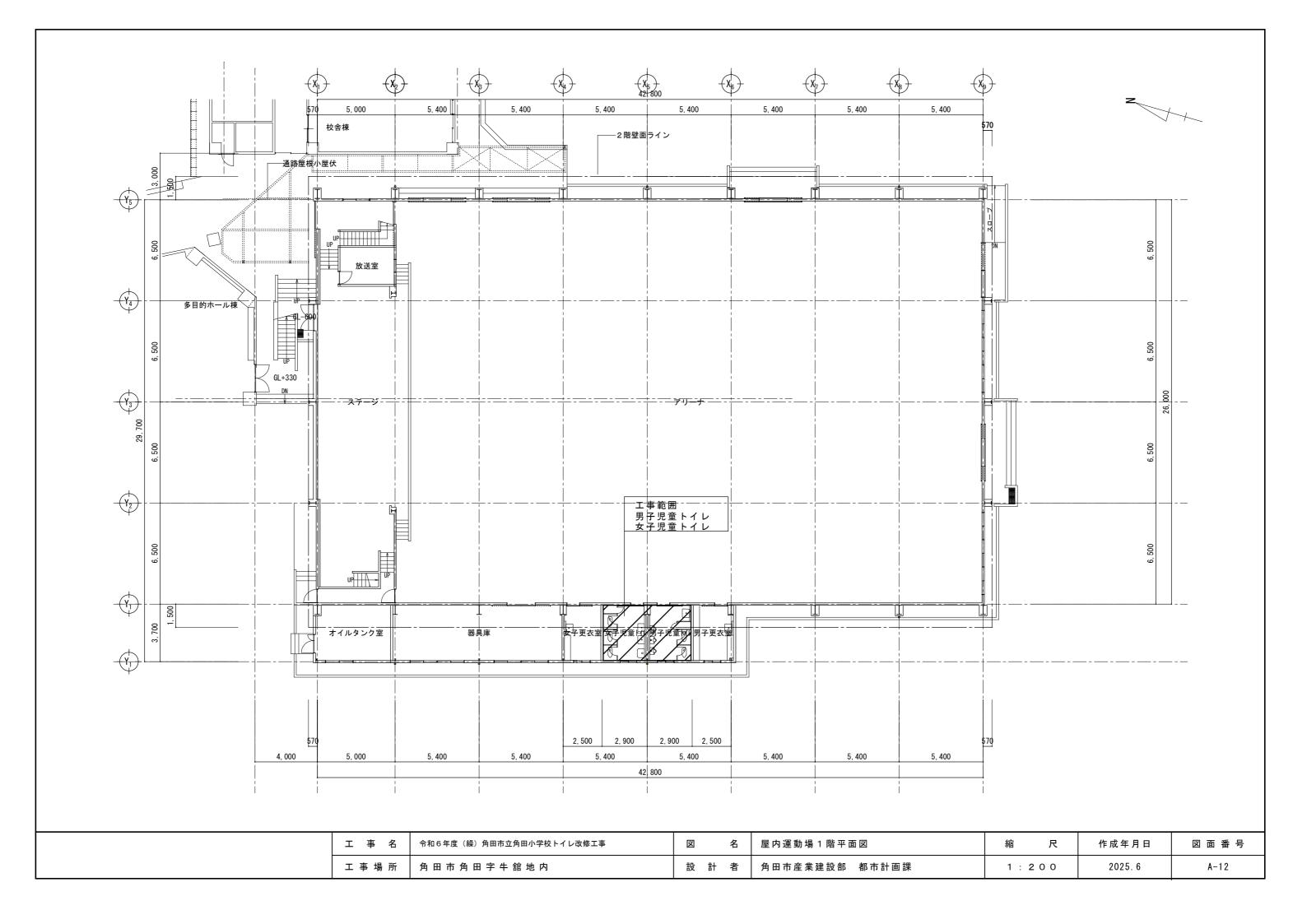
1. フリーアクセス		6. 階段滑り止め	材種 ※ステンレス製	(2	20. 2. 7) 15.	カーテンレール 材	材料による区分 ・アルミニウム及びアルミニウム合金の押じ	(20.2.16) 出し成型材	27. 屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製	
10 1 1	施工箇所 構法 寸法 (mm) 耐震性能 所定荷重 表面仕上材 ・置敷式 ・支柱 調整式 ・500×500 ・0.6G ・1.0G ・0.6G ・3,000N ・5,000N ・5,000N ・9イルカーヘット		・黄銅製押出型材・アルミニウム製押出型材・形状※タイヤ型(タイヤの材質:ゴム	又は合成樹脂合等)		強	※ステンレス製 食さによる区分 ※10-90 ±上げ ※アルマイト		00 W=+++	表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り	
及びその	寸法精度		・タイヤレス型 寸法(幅) ・35mm程度 ・40mm程度	·50mm程度	16		杉状 ※角形 ・ オ種		28. 洗面カウンター	- 材種 - ・メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材) - 人工大理石 奥行き(mm)	
及びその他の工事	※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)~(c)による ・以下による パネルの長さの寸法精度		取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法			ボックス	* 集成材(仕上げ:) ※アルミニウム製 押出し型材(市販品) 標準仕様書表14.2.1による種別		29. 防煙垂れ壁	・約450 ・約600 ・固定式	
事	パネルの平面形状 (角度) の寸法精度 () フリーアクセスフロアの高さの寸法精度	7. 黒板及び ホワイトボード	・黒板 区分	(2	20. 2. 9)	*****	**BC-1種 ・BC-2種 色合い ・標準色 () ・特注f	5 (20. 同注至10至	材質 厚さ(mm) 高さ ※ 網入り磨き板ガラス ※6.8 ※500	
	() 帯電防止性能 ・評価値 (U) ≥ 0.6以上		※焼き付け・ 種類 ※鋼製黒板		n	天井点検口 一	・鋼製(仕上げ:)			・線入り磨き板ガラス ・ ・可動式	
	・評価値 (U) ≧1.2以上 感電防止性能 漏えい抵抗 (R) ≧1×10 ⁶ Ω		・ほうろう黒板 ・ 色			I_	村種 寸法 形式 ※アルミニウム製※450×450(外枠 内枠 内外用・額縁タイプ・額縁タイプ 7月 ※目地タイプ ※目地タイプ		種類 材質 高さ(m ※500	m)
2. 可動間仕切	(20.2.3) 構造形式による種類 構成基材の種類 パネル表面仕上げ (dR/500Hz) 防火性能		※ 緑 ・ホワイトボード	400		床点検口 一		/		・回転降下式 鋼板製又はアルミ製 ※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り
	構造形式による種類 (相)(基本)(1/2 対 元 対 元 対 元 対 元 対 元 対 元 対 元 対 元 対 元 対	8. 鏡	取付け箇所 () 寸法 (mm) ・図示による ・	(20	0. 2. 10)	•	※アルミニウム製 ・450×450 ※一般形 ・ステンレス製 ※600×600 ・密閉形 ・銅製	・屋内外用 ・屋内外用 ・屋内用		降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)	
	・スタッドパネル式 ・パネル式 ・パネル式 ・36	9. 表示	厚さ (mm) ※5 ・ 衝突防止表示	(20). 2. 11) 19.	くつふきマット 一	密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造に 	こパッキンを装着したものとする。	30. 屋外掲示板	照明器具 ・有り ・無し 施錠	
	パネル内に取付ける建具 ・有り (※図示による ・)	0. 47	・設置する (設置場所:※図元 形状・寸法 (・30 ¢ 材質 (※ステンレス製	示による ·) ·)	, 2. 11)	*	材種 受け材 ※塩化ビニル又はゴム製 ※ステンレス鋼 ・硬質アルミニウム(2004) ・硬質アルミニ	(SUS304)		・・ ・・ 製造所 ・	
	・無し パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、 標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。		・設置しない 誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品		20.	流し台ユニット 一	・ステンレス鋼 (SUS304)製 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		31. 収納家具	合板類、MDF 及びパーティクルボードのホル。 ※F☆☆☆☆	ムアルデヒドの放散量
	表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。 パネル材料のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆ ・		室名札、ピクトグラフ、案内板等の印刷等の種別、取付け形式等 (案内用図記号はJIS Z 8210による)	双付箇所	-	対性 W D H ・ 1200 ・ 550 ・ 800 ・ 流し台 ・ 1500 ・ 600 ・ 850	- 備考 市販品 トラップ付き		材質、形状、寸法 ※図示による・	
3. 移動間仕切	(20.2.4) 上	10. タラップ	※図示による 材質及び仕上げ ・SUS304 (スリップ止め加工 ※		0. 2. 12)	-	・1800 ・650 ・600 ・550 ・620 ・コンロ台 ・600 ・670	天板ステンレス製 市販品 バックガード有り			
	・平行方向 ・手動式 ・プッン式 ・鋼板 ・焼付塗装 ・36未満 移動式 ・電動式 ・ルンドル式 ・ 単紙張り ※36以上		- 鋼製 表面処理 溶融亜鉛& (※標準仕様書表14.2.2による利	かっき		-	・つり戸棚 ・1200 ・450 ・500 ・900 ・700	天板ステンレス製 市販品 1	1. 一般事項	試料採取および測定は、厚生労働省の「室内 測定方法」(以下「厚労省の測定方法」という して行う。	
	・二方向 ・部分電動式 移動式 ・	11. 煙突ライニング	適用安全使用温度 ・ 工法		0. 2. 13)	-	・水切り - 1200 ・900 ・600	市販品 ステンレス製 ・1段式 ・ 指	3 2. 測定対象化学 物質	測定対象化学物質は、下記4 1), 2)の区分質及びTVOC又は表の①から⑨の9物質及び	
	パネル表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。 ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び	10 === ()	※鋼製ユニット煙突(煙突用成形 ・				形状 ※図示による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	务 性	3. 測定方法	1) クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から に検出される物質のピーク値を「トルエ	
	変形量となるように補強する ・図示による パネルをランナーに取り付ける部品 ※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの	12. ブラインド	形式 操作方法 操作方法の種類 に	スラットの種類 スラット幅 ポックス・レール 幅 の材種	.	旗竿 — — ※	※アルミニウム合金製 ※テーパー式 ※	操作方法 固定方法 備考 ボハンドル式 ・埋込式 ロープ式 ・ベース式 (度とする。 2) トルエン換算で 2.0μg/m3 未満のピー 3) 上位10ピークについて物質を特定して	
	・ ハンガーレール及びランナー ※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した		・横形 ・手動 ・ _{ナート} ・式 ・操作棒式		図示に よる 22.	旗竿受金物材	M M M X	・バンド式	i	表 測定対象化学物質及び 化学物質名 ①ポルムアルデヒド 10	「室内濃度指針値 室内濃度指針値 00 μg/m3 0.08 ppm
	値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの・・		・電動 - ・縦形 ・手動 ※2本操作コード式 ・1本操作コード式 ・電動 -		図示による		・ステンレス製 (SUS 304) ・	\ \ 		③キシレン 20 ④エチルベンゼン 3,80	$ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$
4. トイレブース	(20. 2. 5)		縦型ブラインドのスラットの材質		23.	車止めさく	形式 材種 ・上下式鎖内蔵式・標準品 ・ステンレン ・スプリング式・	柱径、肉厚(mm) 高さ(mm) ス製・	IJ ≧	⑥パラジクロベンゼン 24 ⑦テトラデカン 33	20 μg/m3 0.05 ppm 40 μg/m3 0.04 ppm 30 μg/m3 0.04 ppm
	→メラミン樹脂系化粧板・ポリエステル樹脂系化粧板・ポリエステル樹脂系化粧板・アルミニウム製・ステンレス製	13. ロール	・アルミスラット 焼付け塗装化・クロススラット 消防法で定め	める防炎性能の表示がある特殊樹脂加		フェンス	フェンスの種類			⑨ノナナール (暫定)・ ⑩フタル酸ジ-n-ブチル	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$
5. 手すり	(・)ドア表示錠 ラバトリーヒンジ 非常時外開き仕様 材料の種類及び仕上げ (20.2.6) ・SUS304 表面処理 ※HL程度	スクリーン		重 その他の材料 幅・高さ 品	24. 品質等		・ビニルを怪様 ・ビニル塗装エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス			®クロルピリホス®ダイアジノン0.1	1 μg/m3 0.00007 ppm 29 μg/m3 0.00002 ppm 33 μg/m3 0.0038 ppm
	・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 ()種) ・アルミニウム 表面処理		・スプリング式 ・ガラス繊維製 ・コード式 ・合成・天然繊維 ・電動式 ・木製	※製造所の仕様・図示に・		喜	・アルミフェンス 高さ ・図示による		4. 測定する室		0 μg/m3 (暫定目標値)
	(※標準仕様書表14.2.1による種別 () 種) 色合い ・標準色 () ・特注色 ()		スクリーンの仕様	1	25.	間知石及びコンクリート	材種 種類	(20.4.2、3) 質量区分 備考		 室名: 2) 9物質及びTVOC濃度を測定する室 	:
	手すりの握り部分 材種 表面仕上げ 直径 (mm) 取付箇所 備考 ・集成材 ・クリアラッカー ・35程度	14. カーテン	消防法で定める防炎性能の表示が	(20.	0. 2. 16)	-	・間知石 ・花こう岩 - ・凝灰岩 - ・コンクリート _			・ 室名: ・ 屋外(周囲の建物から離れた場所	1 か所)
	(材種:) ・ビニル製 ・35程度		形式 開閉操作 ひ: ・シングル・片引き・手引き・ご	たの種類 品質、特殊加工等 つまみひだ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	取付け 箇所 図示に	積	間知ブロック	• В	5. 測定結果等報 告書の提出	次の事項を記載した報告書を2部提出する。 1) 測定結果(アセトアルデヒドについて	
	- 45程度		・ダブル・引分け ・ひも引き・第 ・電動 ・フ		よる 	目	目塗り ・図示による 申縮調整目地			に満たない場合には、「厚労省の測定 湿度50%に、ホルムアルデヒドについ た濃度を報告すること。)	で表」、「定める計算式で20°C, いては25°C、湿度50%に補正し
			生地の仕様 消防法で定める防炎性能の表示が				材種 ・図示による 厚さ			2) 試料採取時の状況(気温・湿度(屋外, 射進入状況,採取年月日・時間,窓の 完成から試料採取までの日数)	開閉状況,機械換気量,工事
			暗幕用カーテンの両端、上部及びる ※300mm以上 ・	名台せの重なり	26.	鋼製書架及び ― 物品棚 ―	・図示による ・ 規格等	JISによる種類	6 Z-0 lib	3) 試料採取方法、測定方法、使用した測4) TVOC濃度の算出に使用したクロマ	トグラムの写し
						1勿百份	· 鋼製書架 ・鋼製物品棚 JIS S 1039 の規格による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種	6. その他	表の化学物質①から⑤のうち、いずれかの 超える場合は、工事目的物の引渡しを受けない TVOCの測定の結果、暫定目標値を超える 汚染物質の発生を低減するための対策につい	ハ。 る場合は、発生原因の究明及び
	<u> </u>	1		宮城県角田市角田字電話 0224-6	3-0138	設計年月日	調査者氏名 設計者氏名	工事名称 令和6年度(繰) 角田	日市立角田小学校トイ	全 葉 / レ改修工事	図面 No
				FAX 0224-6 角田市産業建設部都				図面名称 特 訂	2 仕 様 書 (7)	Scale	A-07

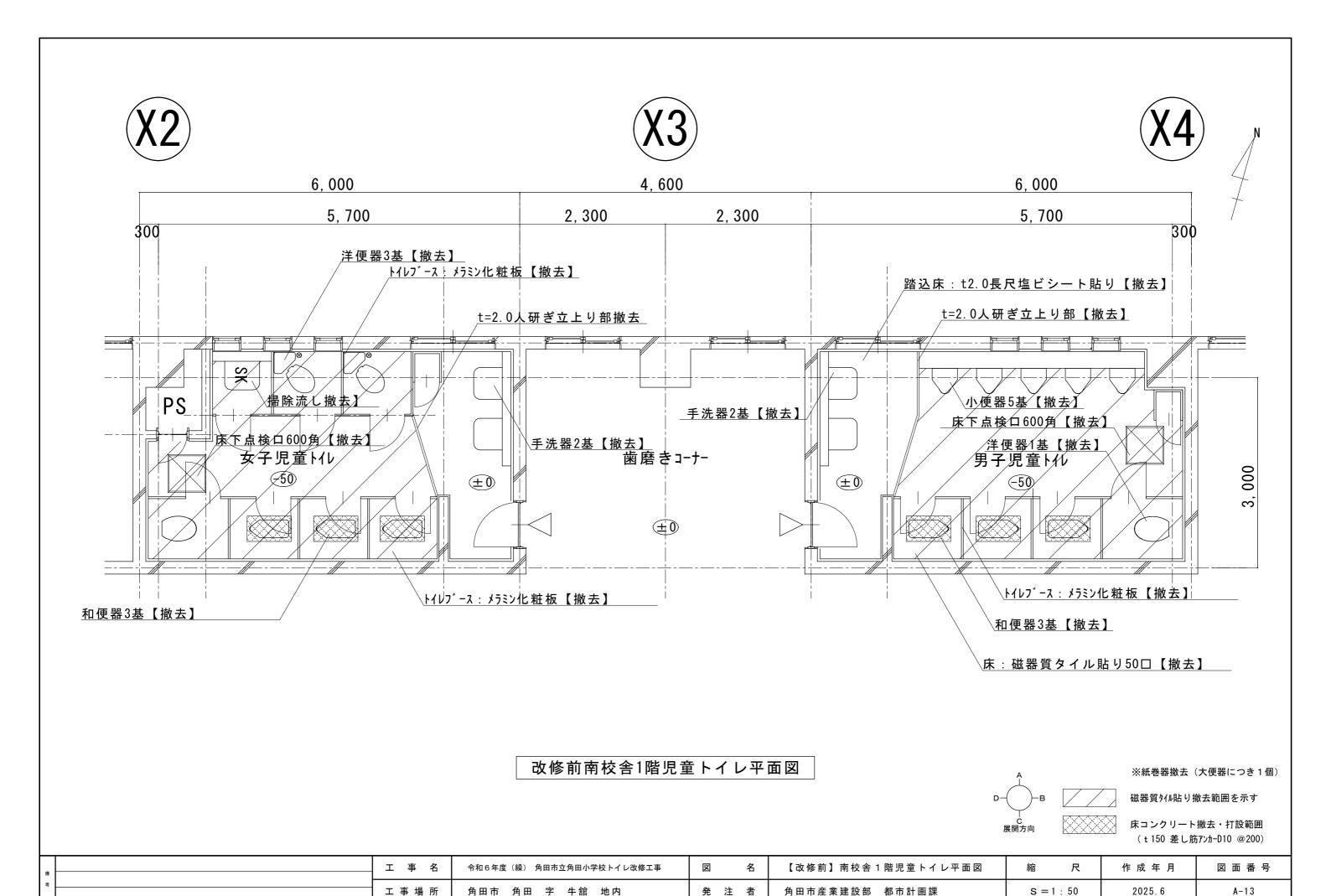




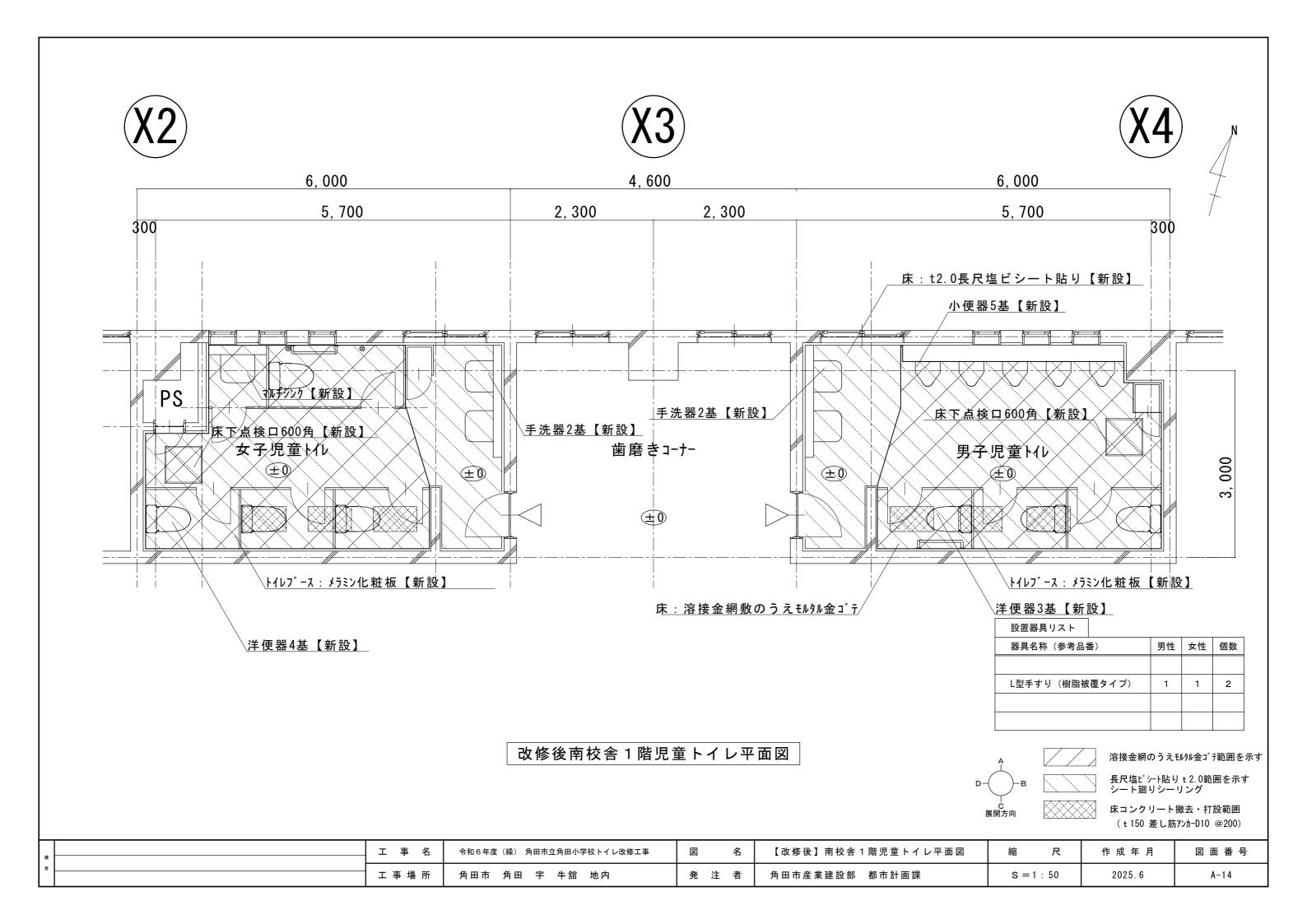


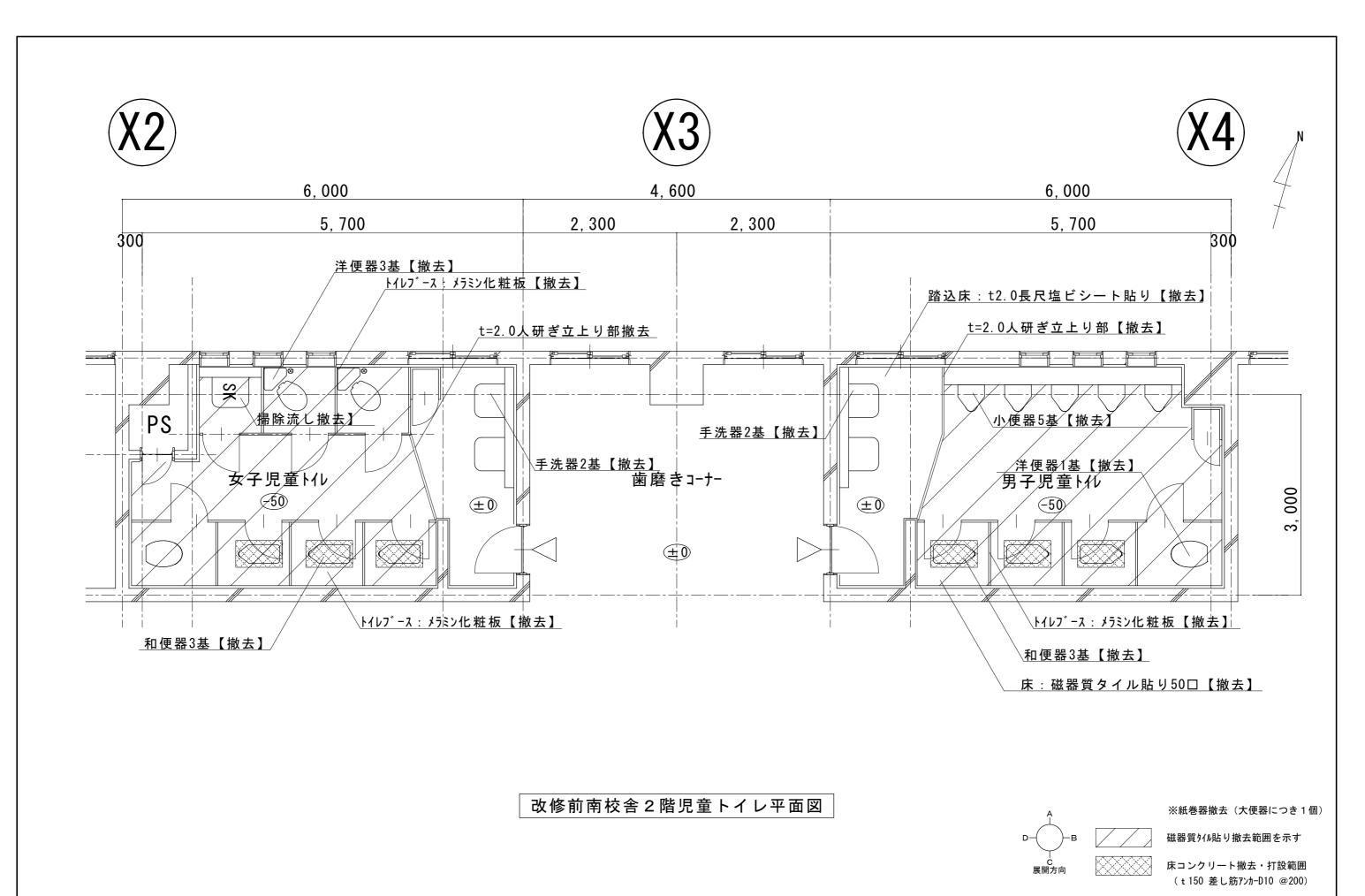




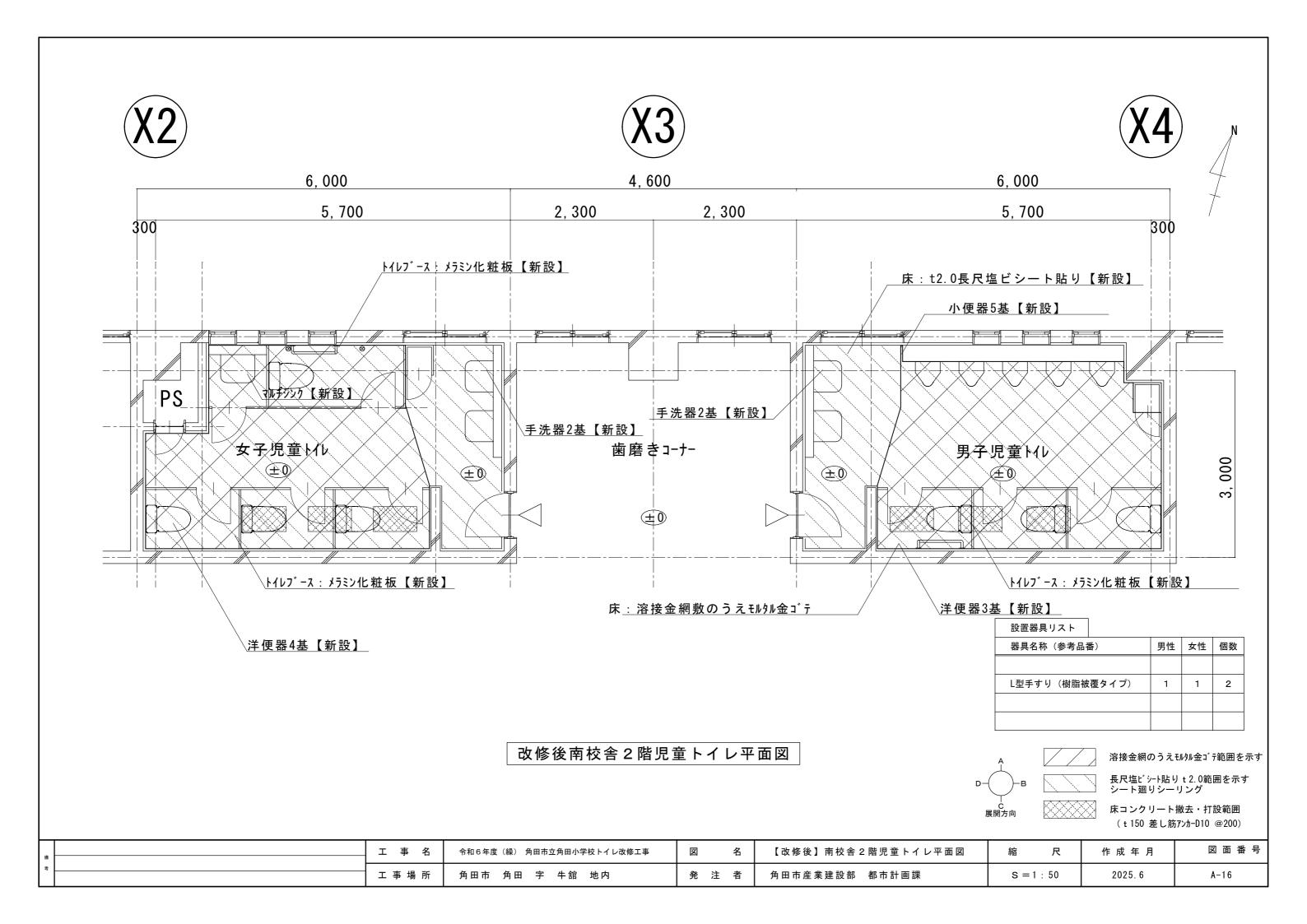


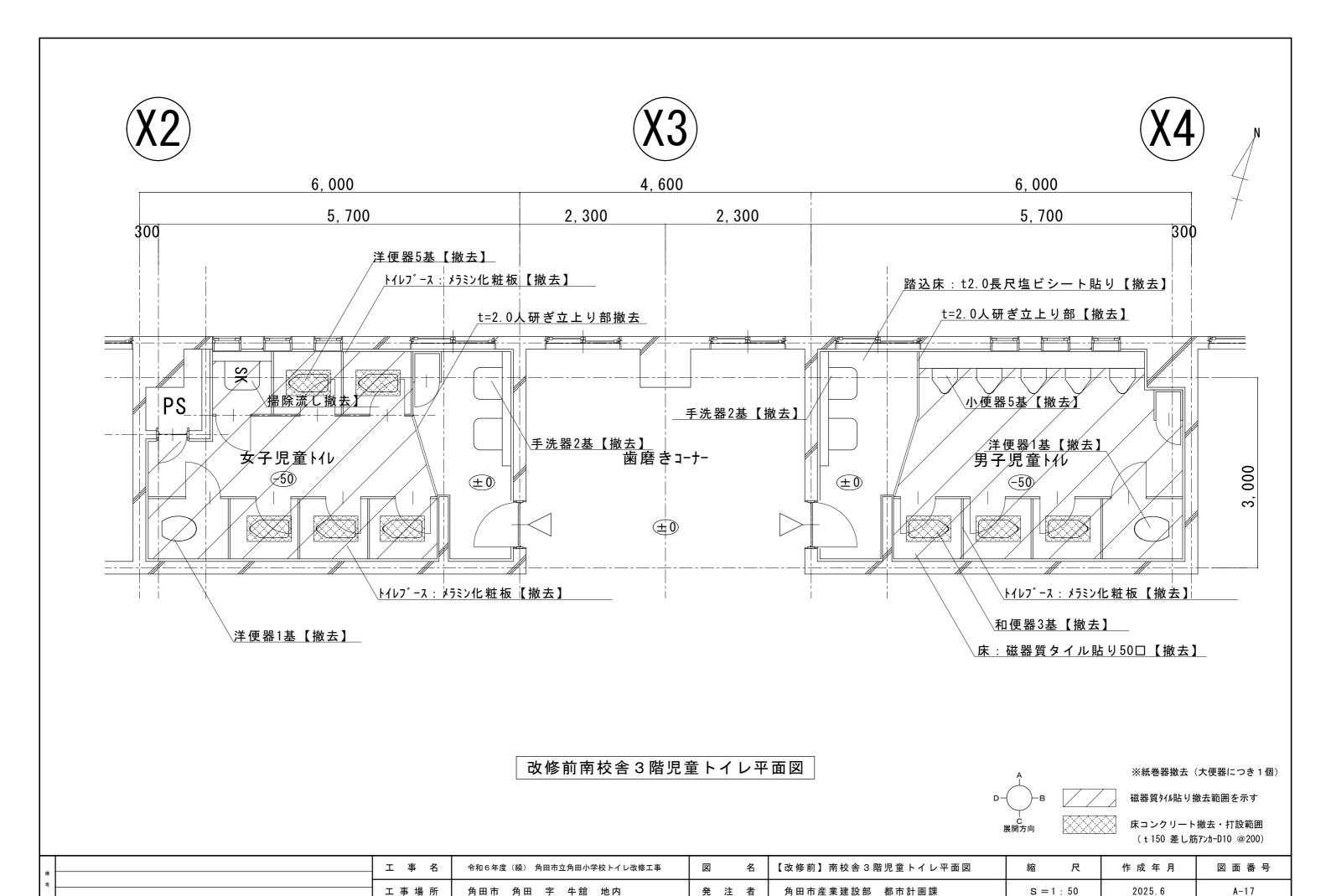
角田市産業建設部 都市計画課



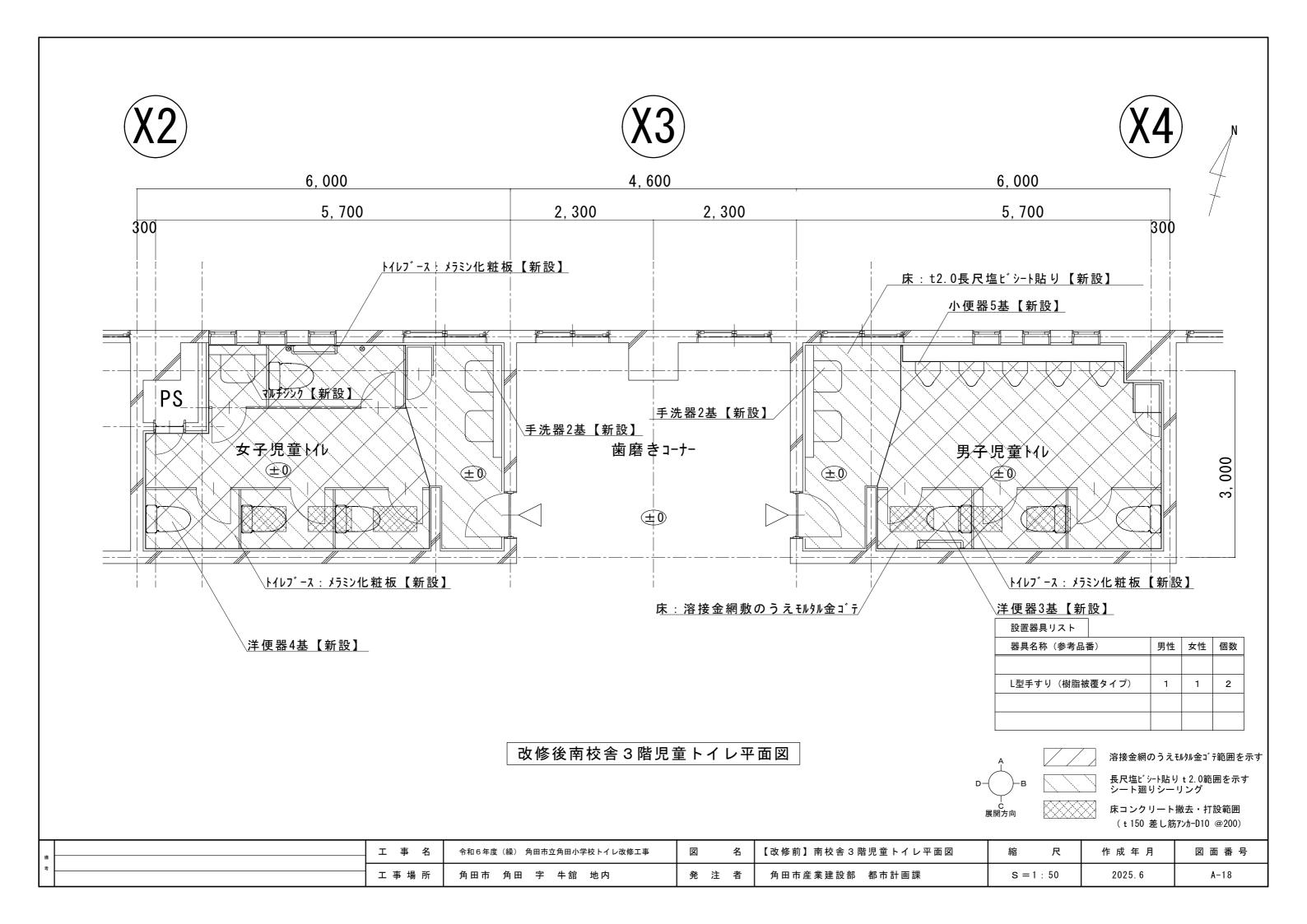


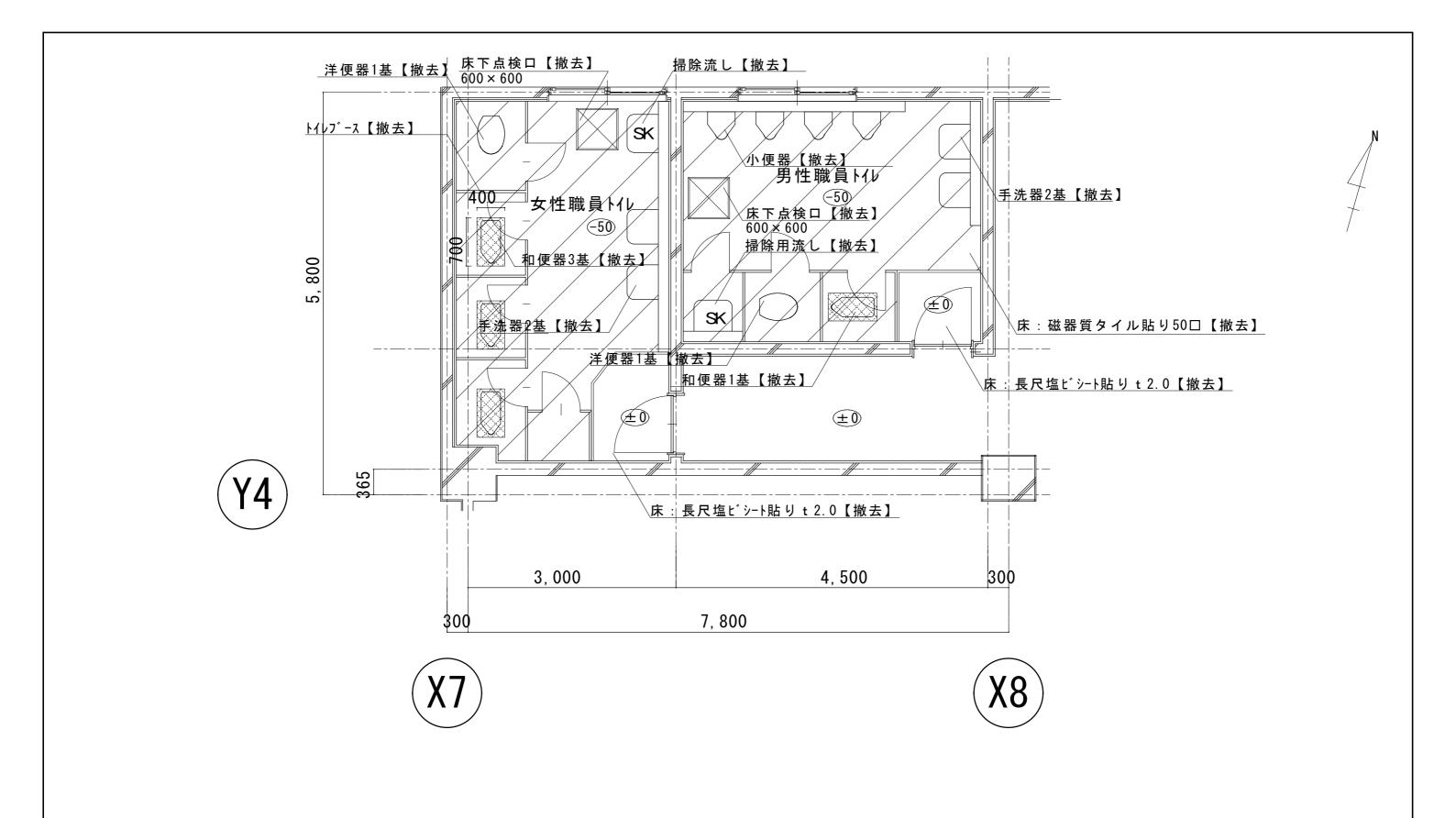
工 事 名 【改修前】南校舎2階児童トイレ平面図 図面番号 令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事 义 名 縮 尺 作成年月 工事場所 発 注 者 S = 1 : 502025.6 A-15 角田市 角田 字 牛舘 地内 角田市産業建設部 都市計画課



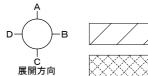


角田市産業建設部 都市計画課





改修前1階職員トイレ平面図

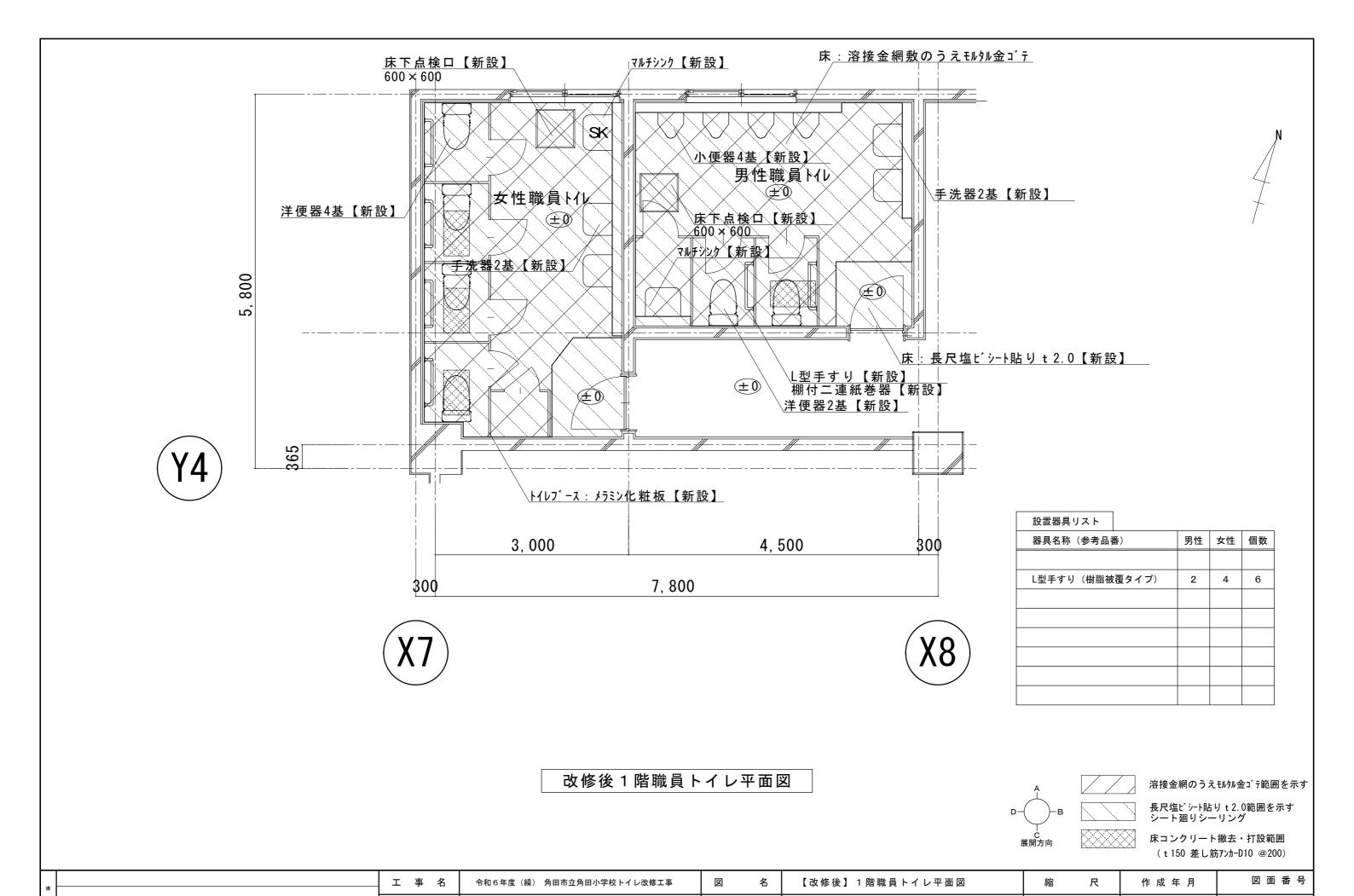


※紙巻器撤去(大便器につき1個)

磁器質タイル貼り撤去範囲を示す

床コンクリート撤去・打設範囲 (t 150 差し筋アンカーD10 @200)

備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】1階職員トイレ平面図	縮尺	作成年月	図面番号
考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-19



発 注 者

角田市産業建設部 都市計画課

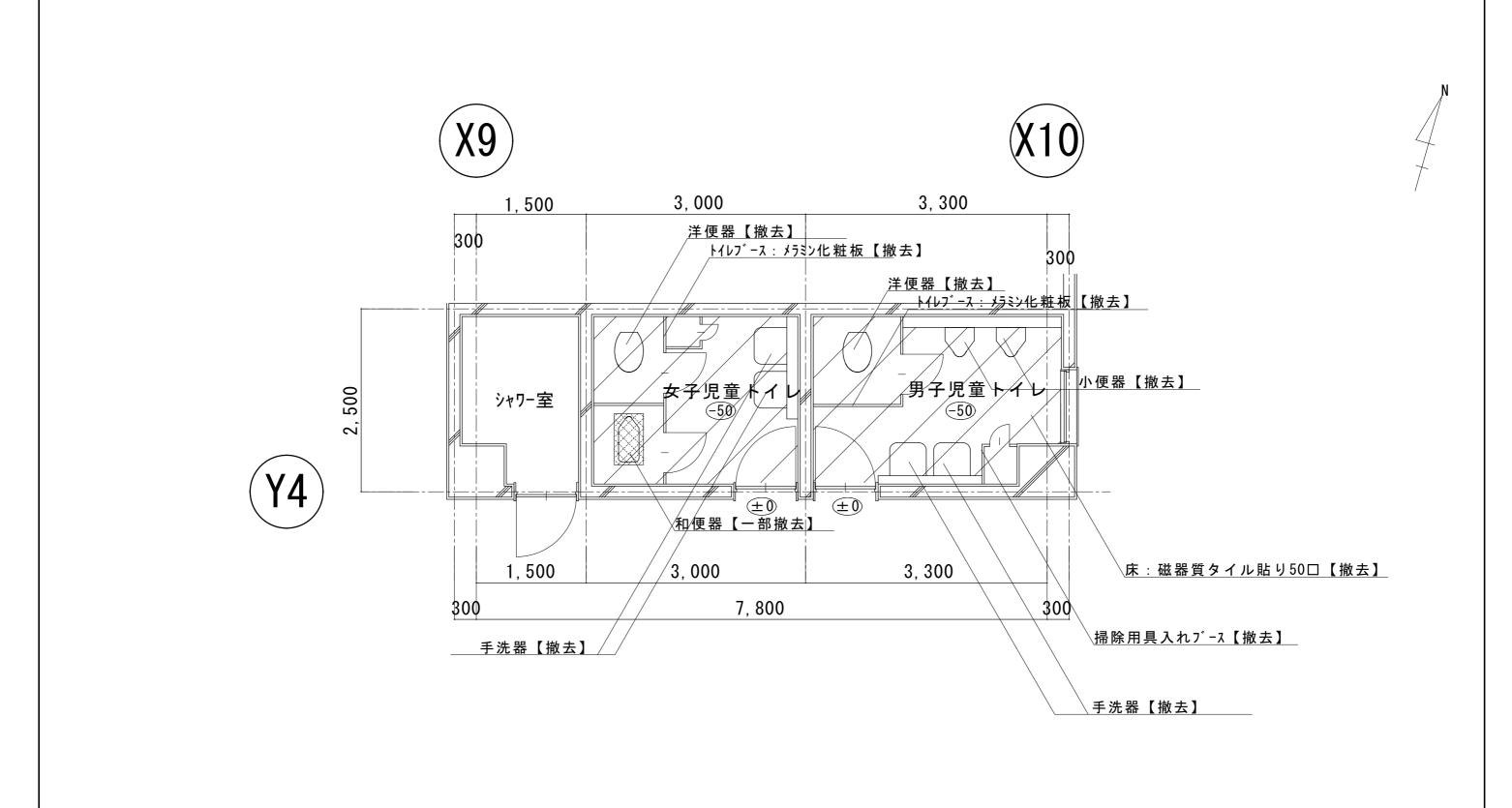
2025.6

A - 20

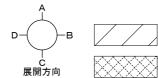
S = 1 : 50

工事場所

角田市 角田 字 牛舘 地内



改修前南校舎2階東側児童トイレ平面図

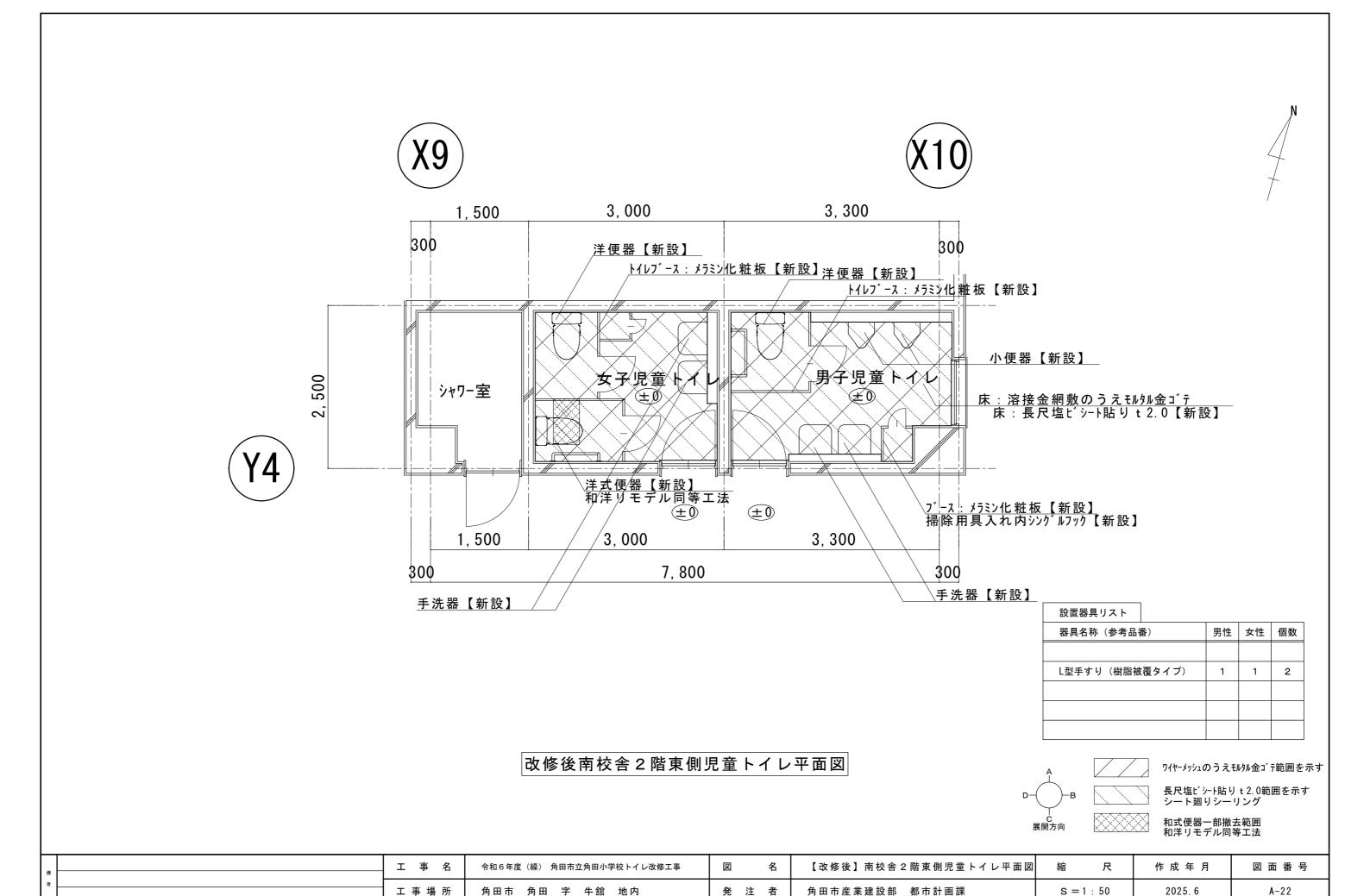


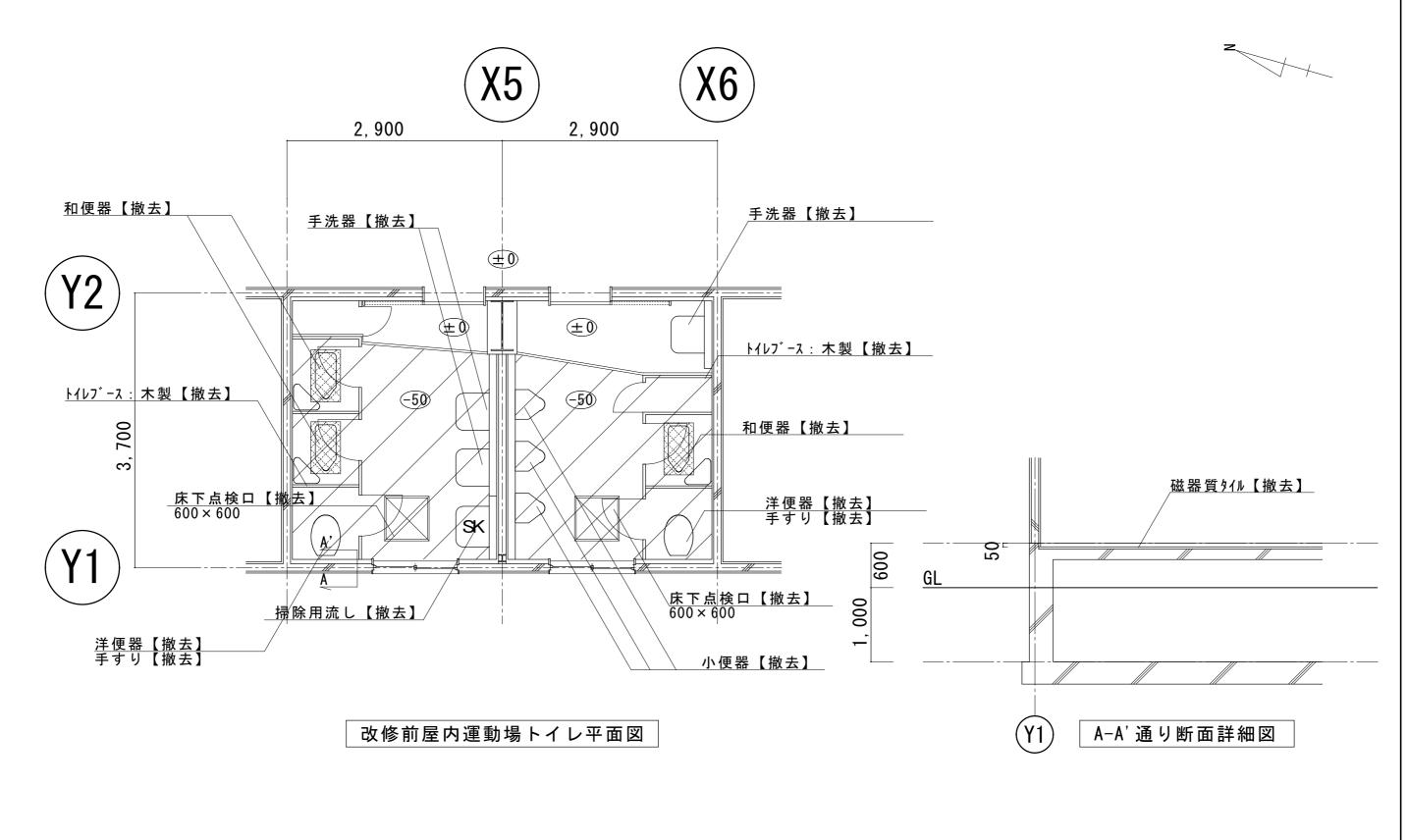
※紙巻器撤去(大便器につき1個)

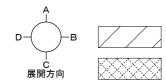
磁器質タイル貼り撤去範囲を示す

和式便器一部撤去範囲 和洋リモデル同等工法

í	備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】南校舎2階東側児童トイレ平面図	縮尺	作成年月	図 面 番 号
-	考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	s = 1 : 50	2025. 6	A-21





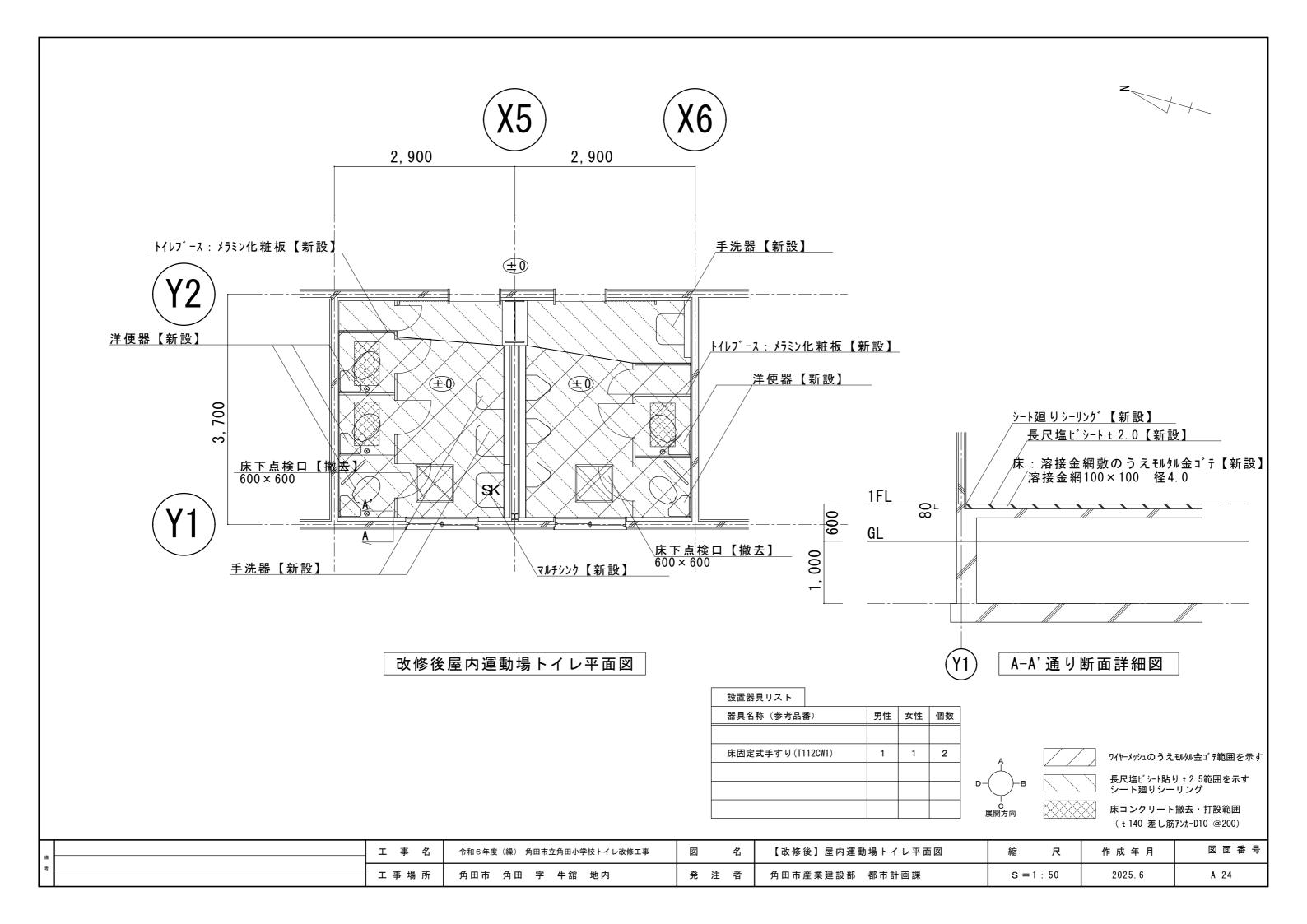


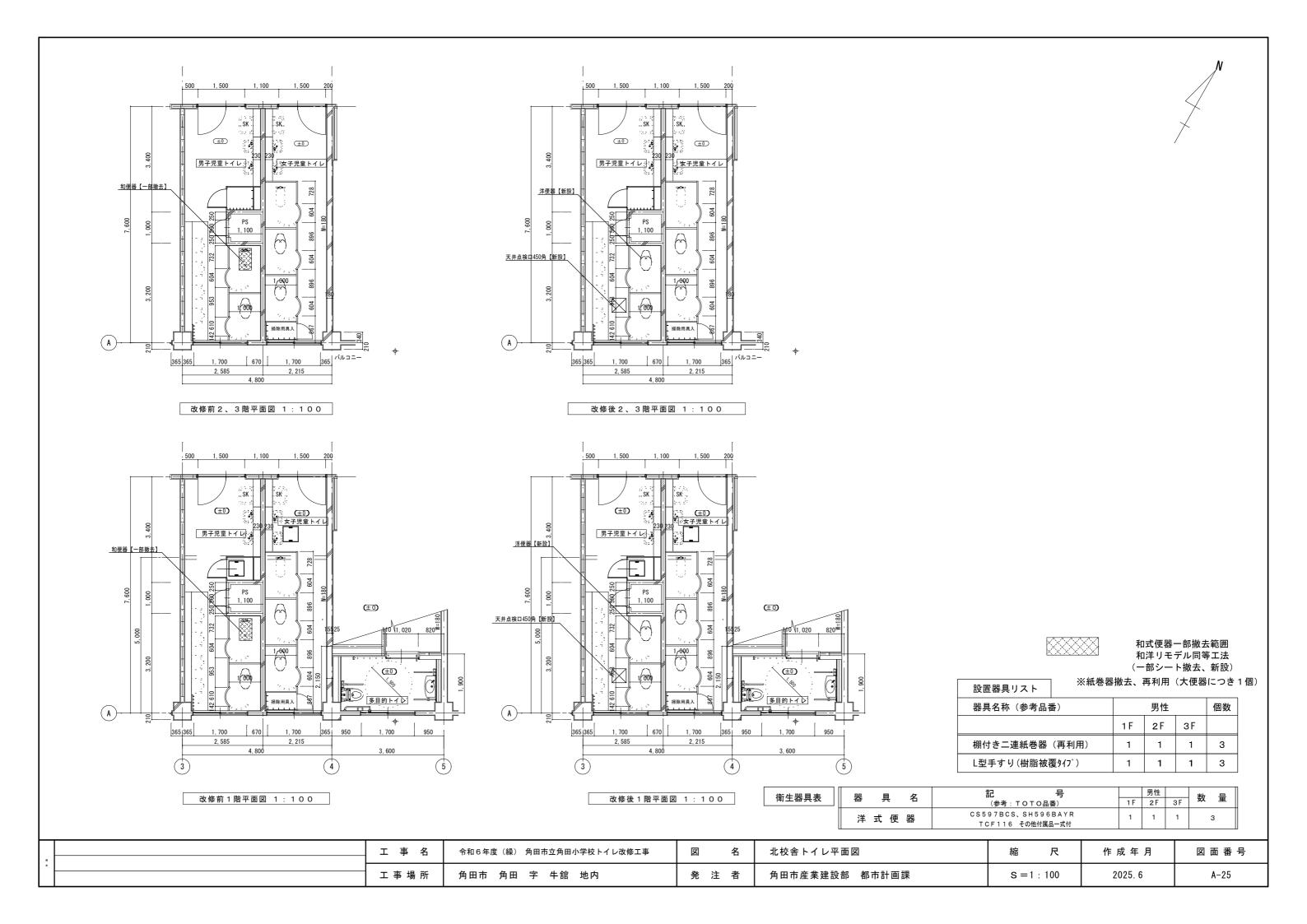
※紙巻器撤去(大便器につき1個)

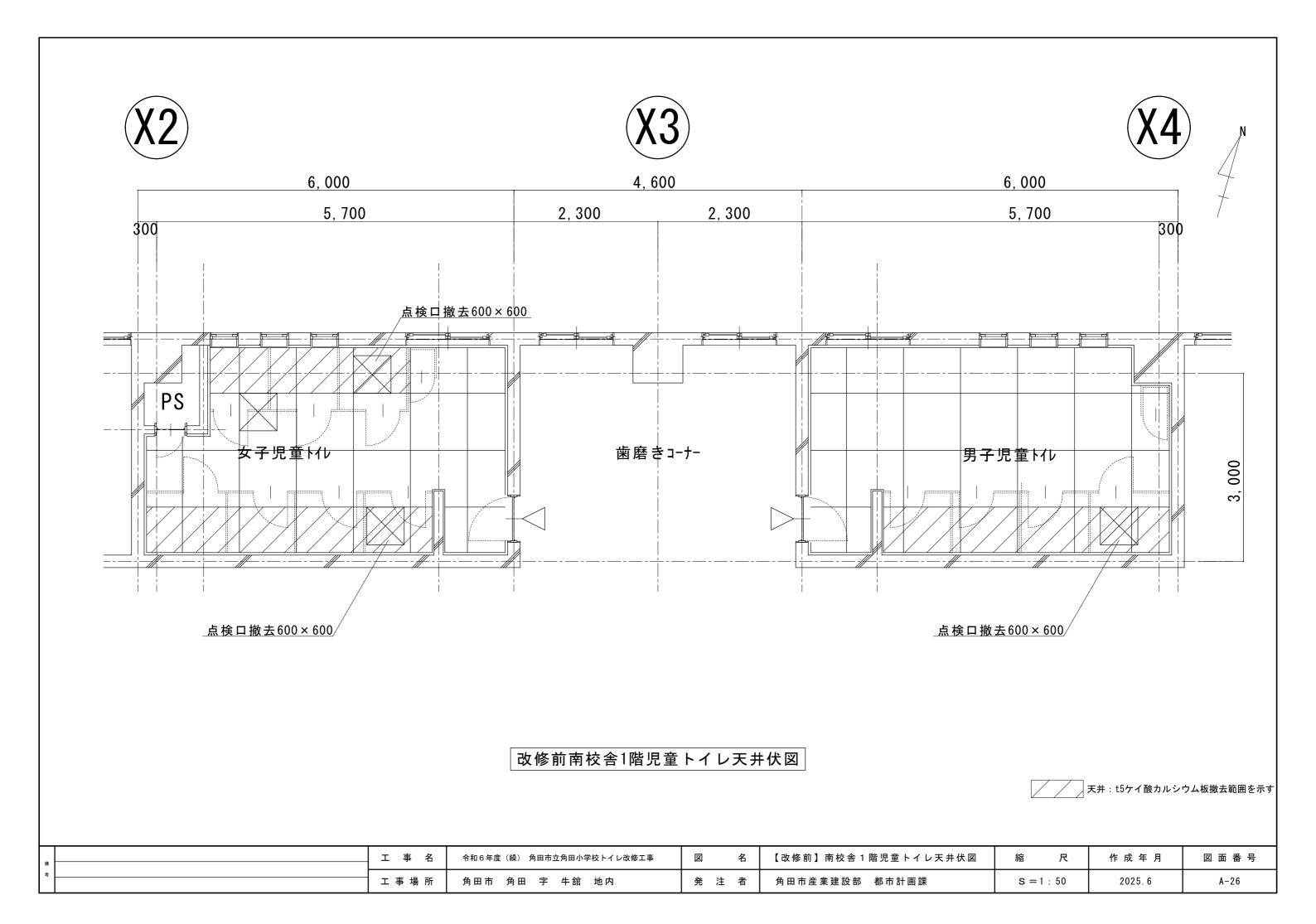
磁器質タイル貼り撤去範囲を示す

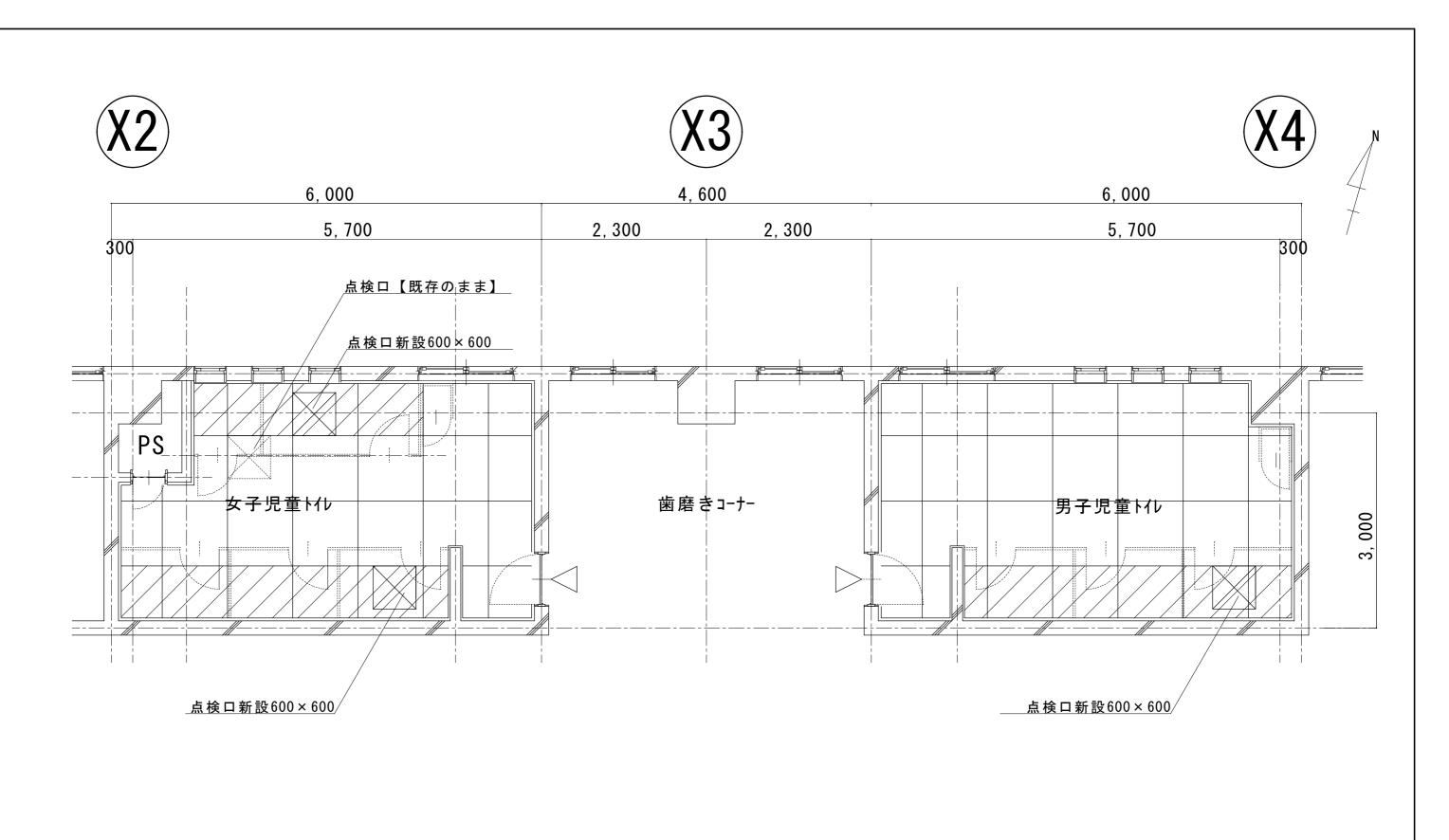
床コンクリート撤去・打設範囲 (t 140 D10 @200タテヨコ)

債	ģ	工 事 名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】屋内運動場トイレ平面図	縮尺	作成年月	図 面 番 号
*	考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025. 6	A-23





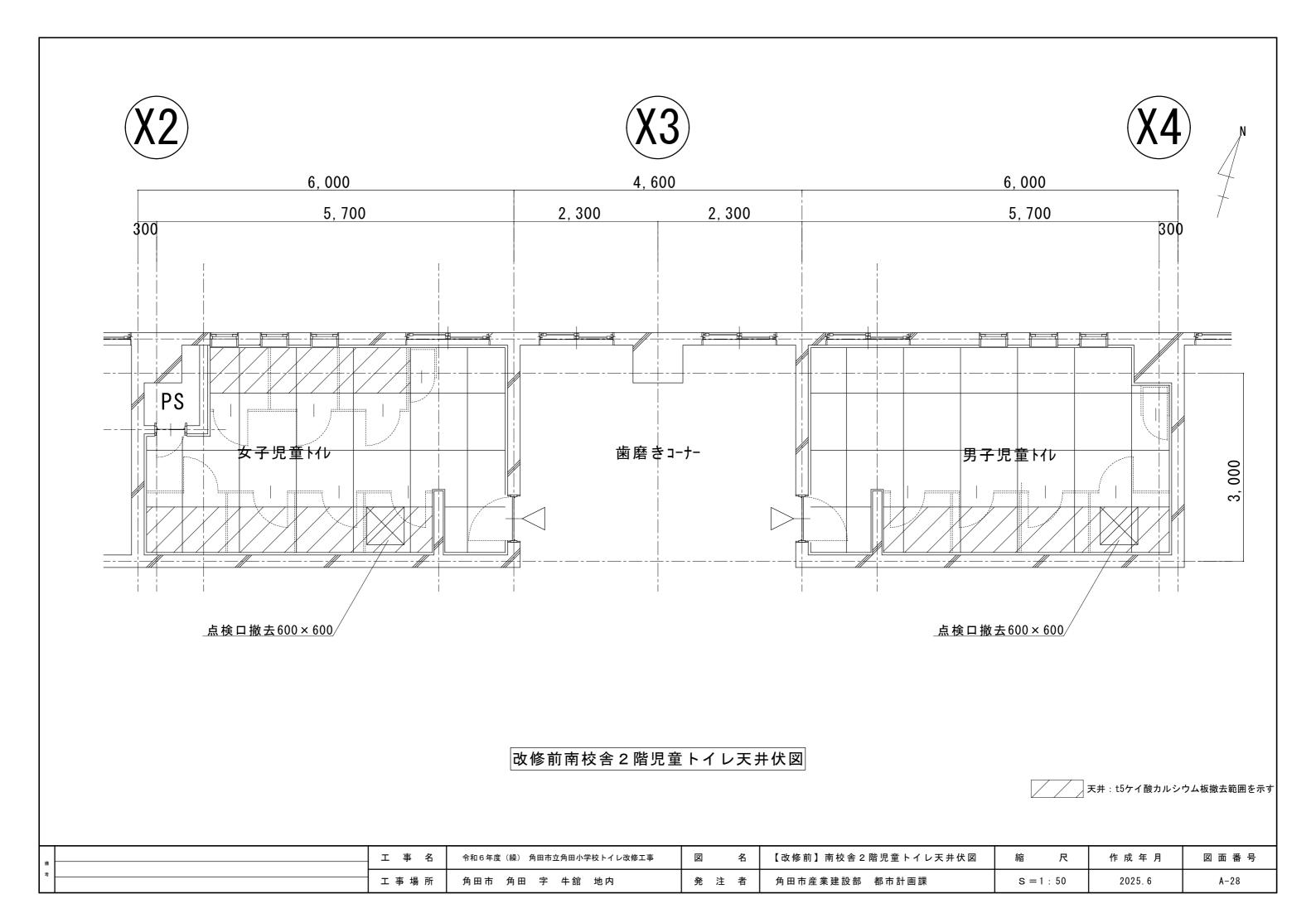


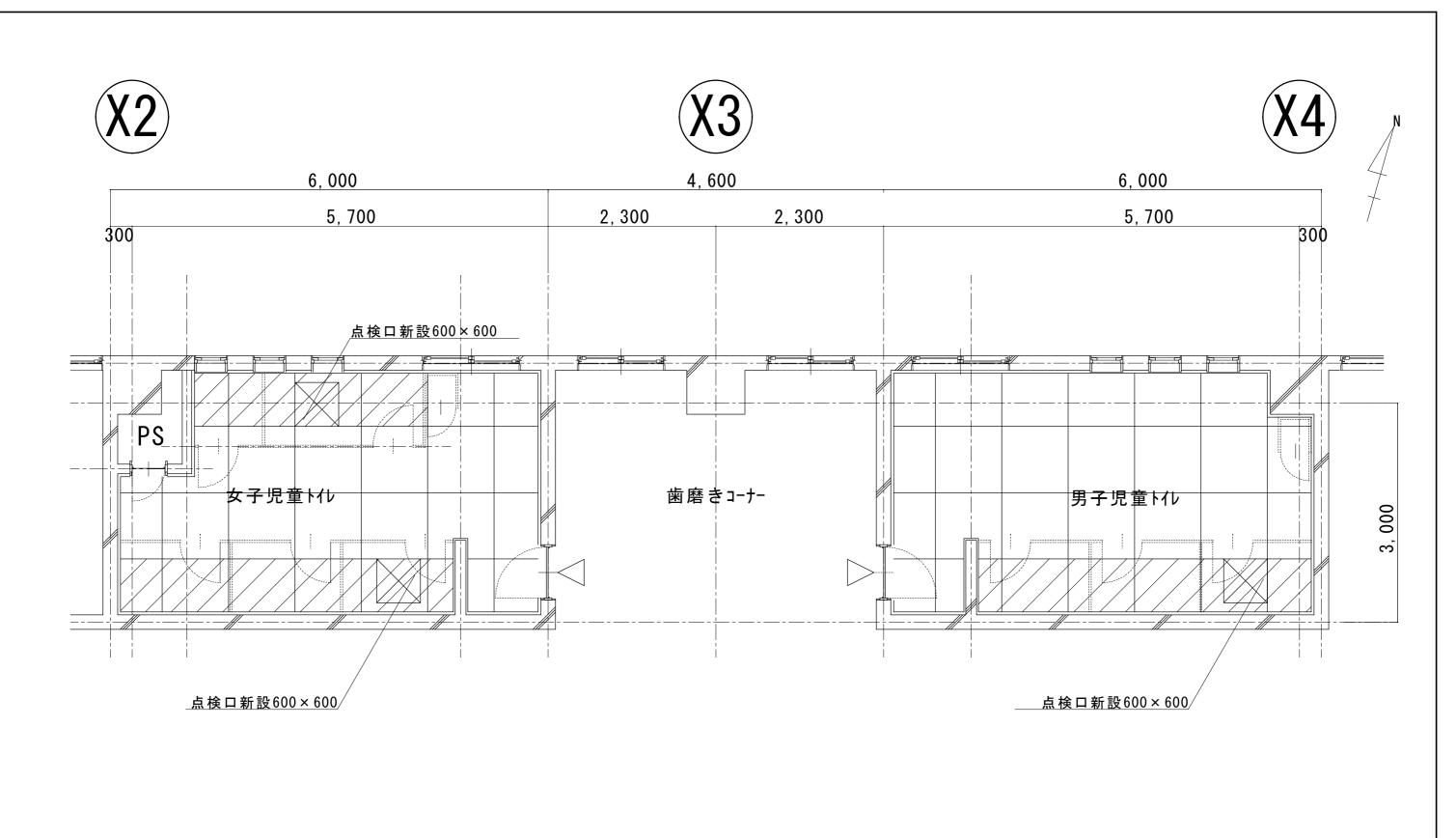


改修後南校舎1階児童トイレ天井伏図

天井:t5ケイ酸カルシウム板新設範囲を示す EP塗A種

備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎1階児童トイレ天井伏図	縮尺	作成年月	図面番号
考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-27





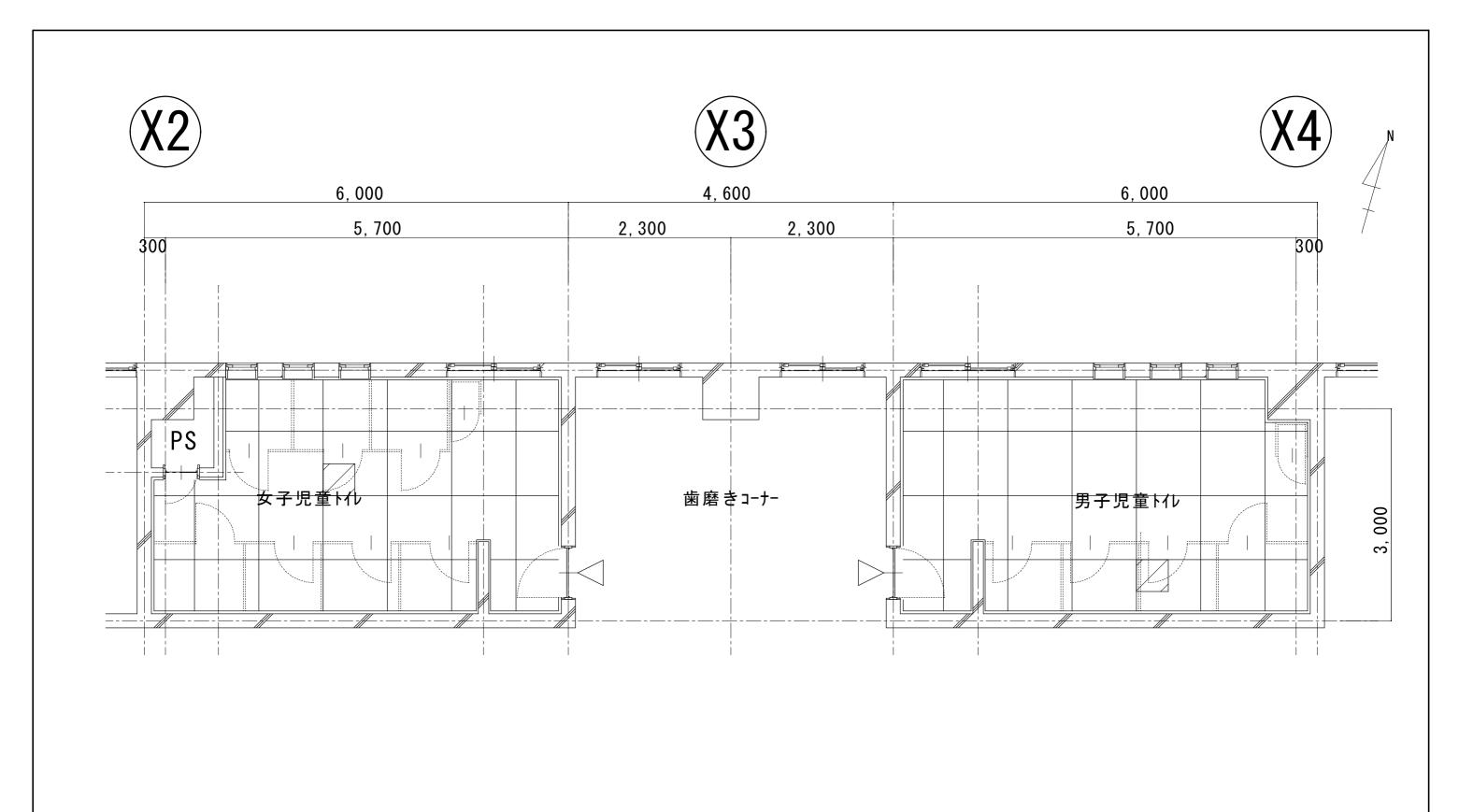
改修後南校舎2階児童トイレ天井伏図

天井:t5ケイ酸カルシウム板新設範囲を示す EP塗A種

※点検口位置は現地確認のうえ決定する。

 エ事名
 令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事
 図名
 【改修後】南校舎2階児童トイレ天井伏図
 縮尺
 作成年月
 図面番号

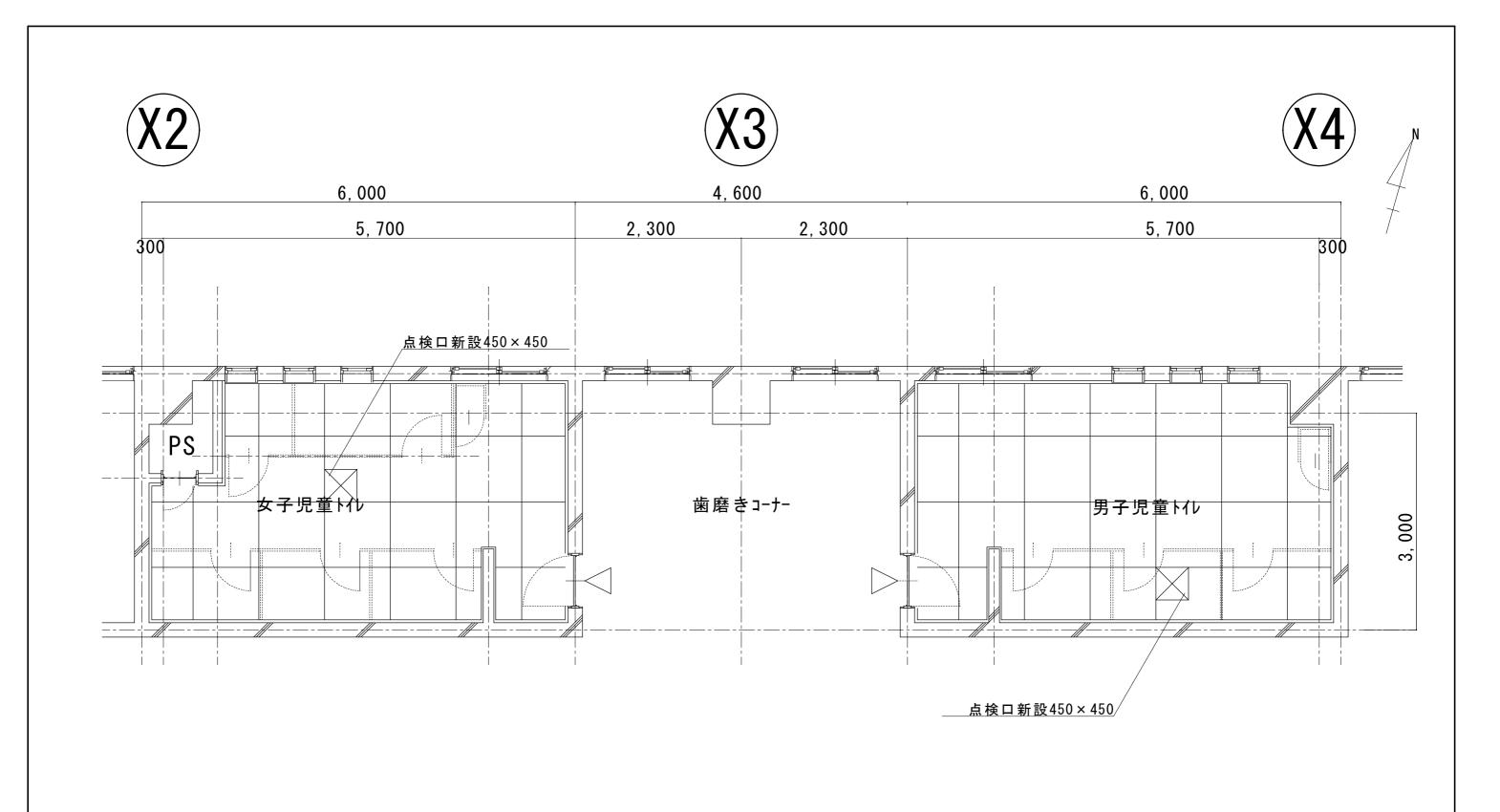
 エ事場所
 角田市角田字牛舘地内
 発注者
 角田市産業建設部都市計画課
 S=1:50
 2025.6
 A-29



改修前南校舎3階児童トイレ天井伏図

天井: t5ケイ酸カルシウム板撤去範囲を示す

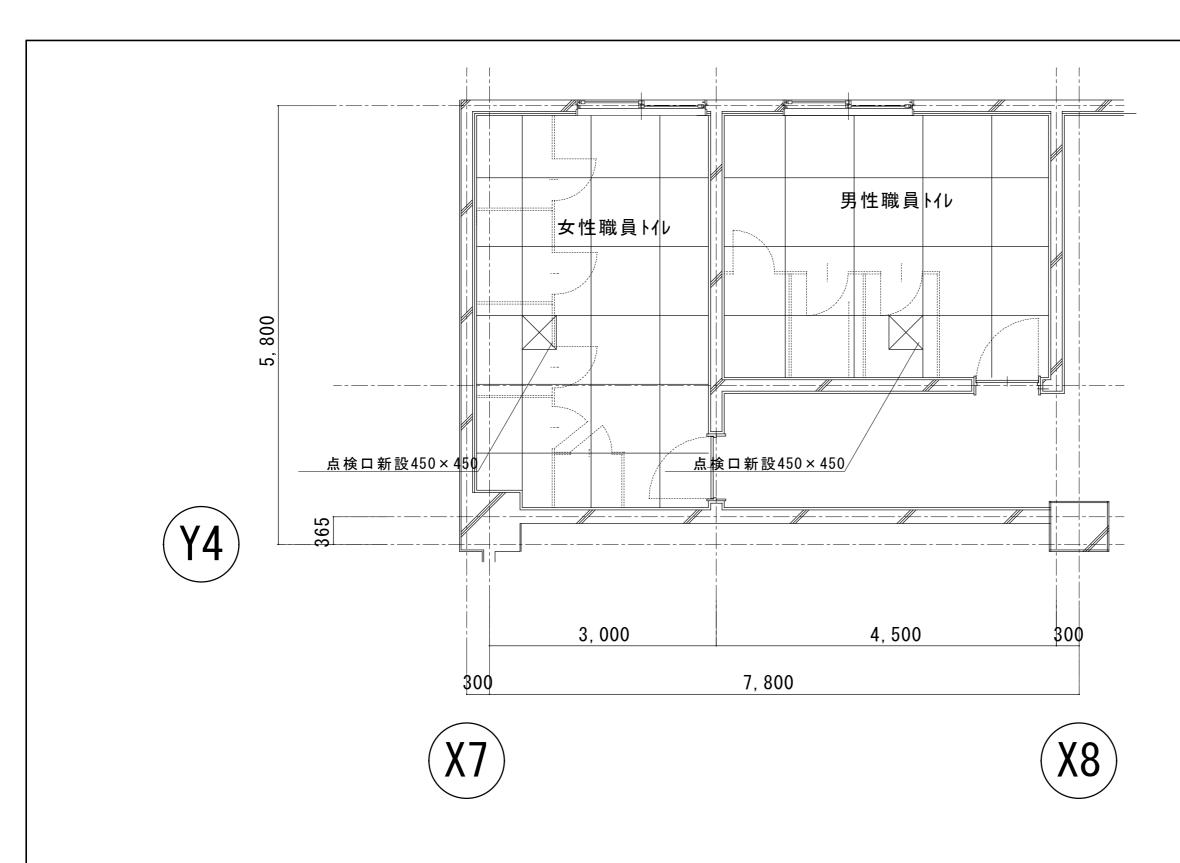
備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図名	【改修前】南校舎3階児童トイレ天井伏図	縮尺	作成年月	図 面 番 号
*	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-30



改修後南校舎3階児童トイレ天井伏図

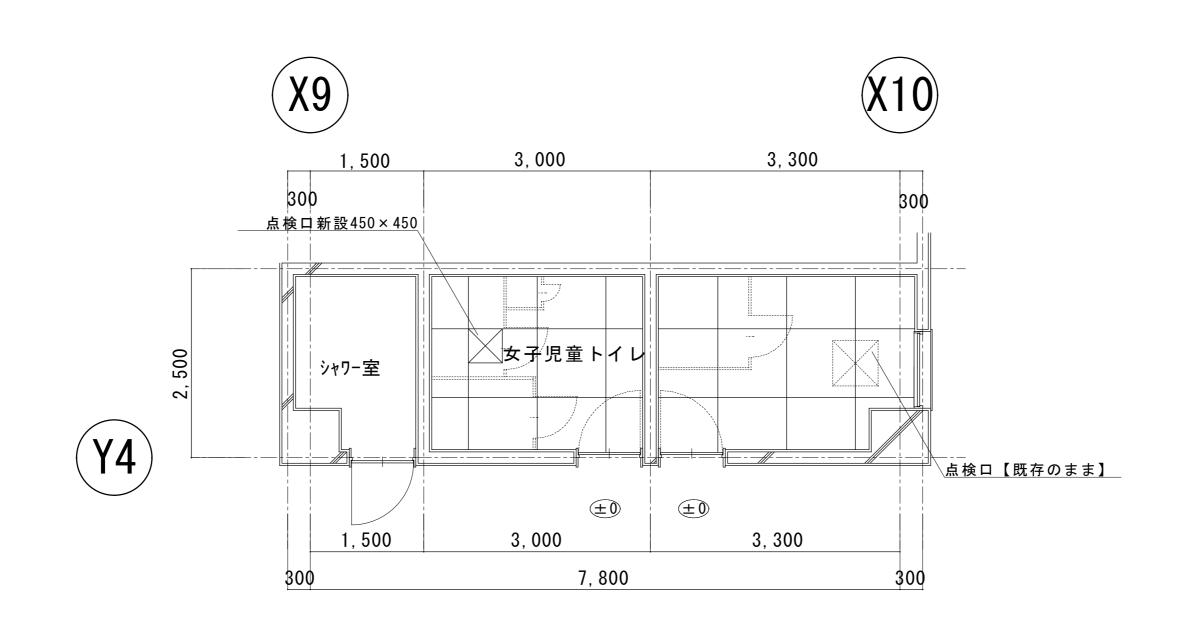
天井: t5ケイ酸カルシウム板新設範囲を示す

備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎3階児童トイレ天井伏図	縮尺	作成年月	図面番号
考	 工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-31



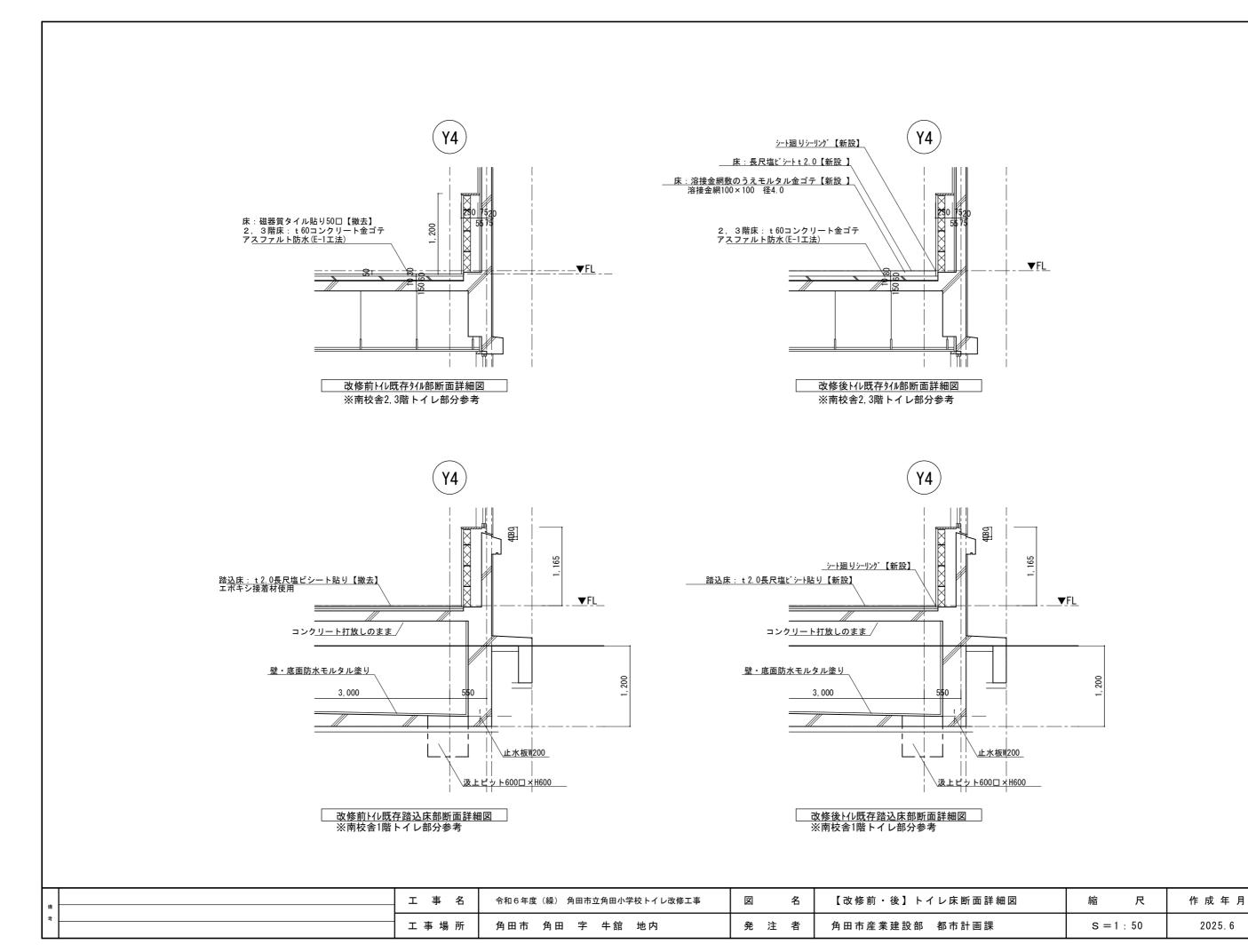


GE CONTRACTOR OF THE CONTRACTO	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図名	【改修後】1階職員トイレ天井伏図	縮尺	作成年月	図面番号	ł
· 书	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	s = 1 : 50	2025.6	A-32	l

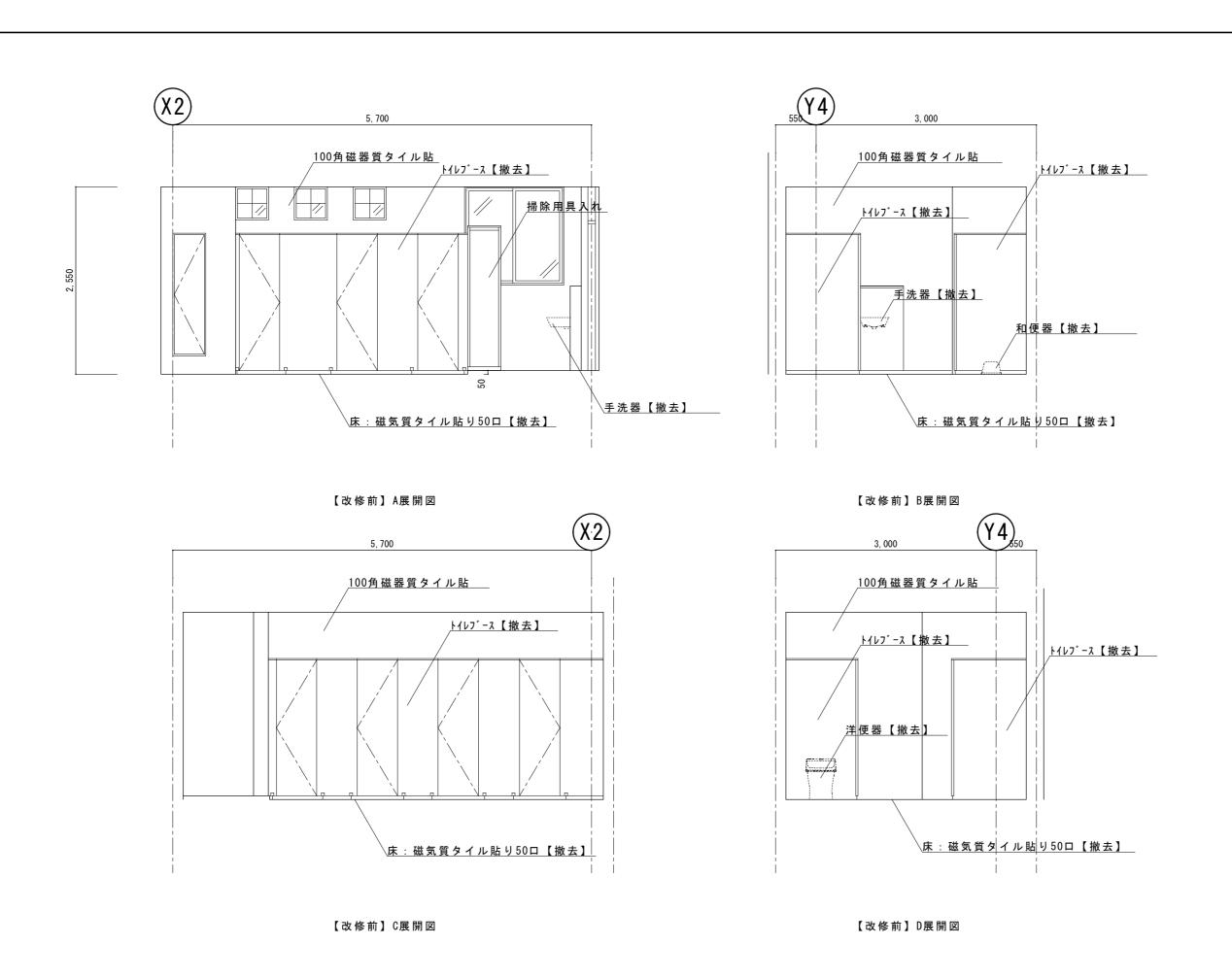


改修後南校舎2階東側児童トイレ天井伏図

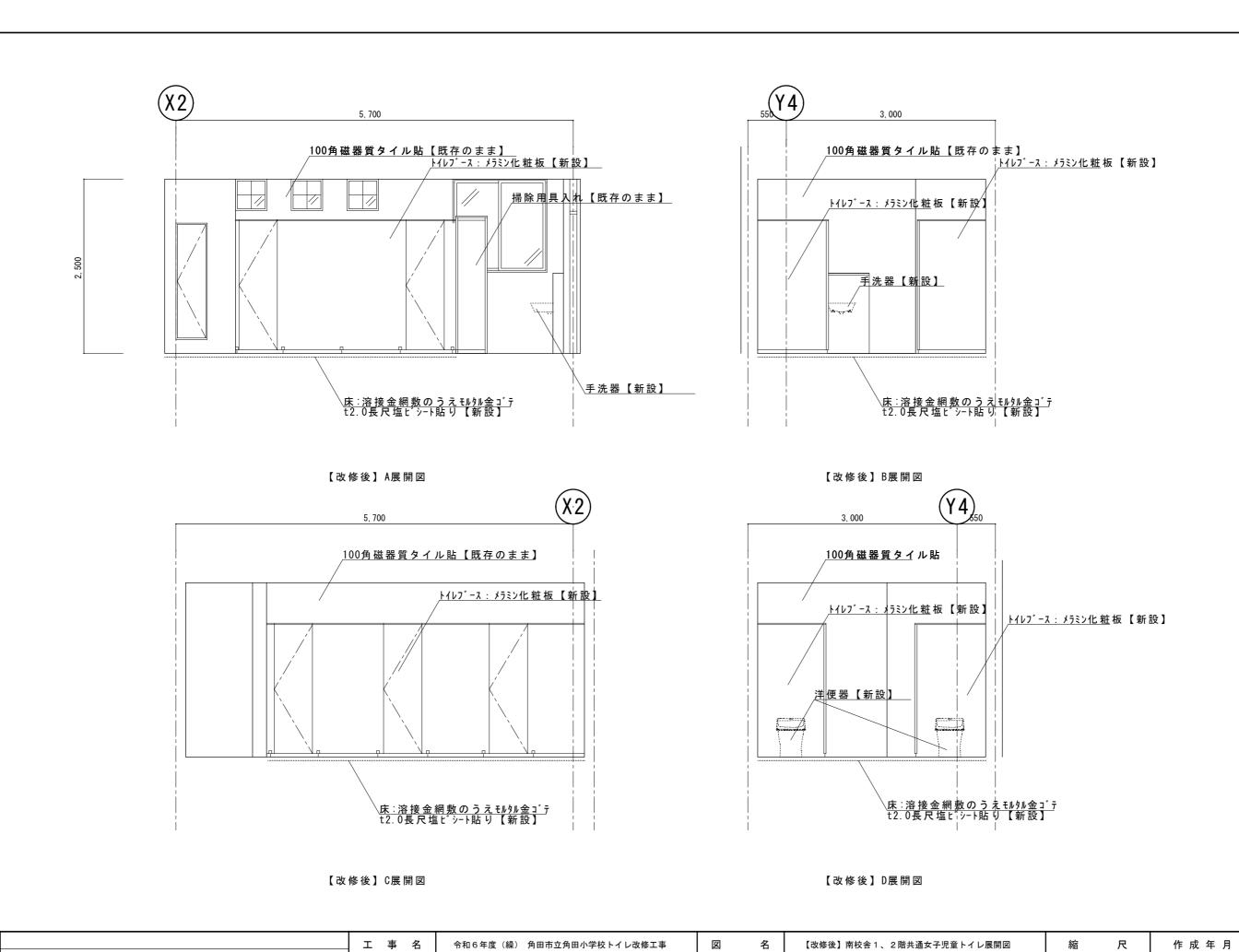
ŧ	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎2階東側児童トイレ天井伏図	縮尺	作成年月	図 面 番 号
#	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025. 6	A-33



図面番号



鎌	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】南校舎1、2階共通女子児童トイレ展開図	縮尺	作成年月	図面番号
考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025. 6	A-35



工事場所

角田市 角田 字 牛舘 地内

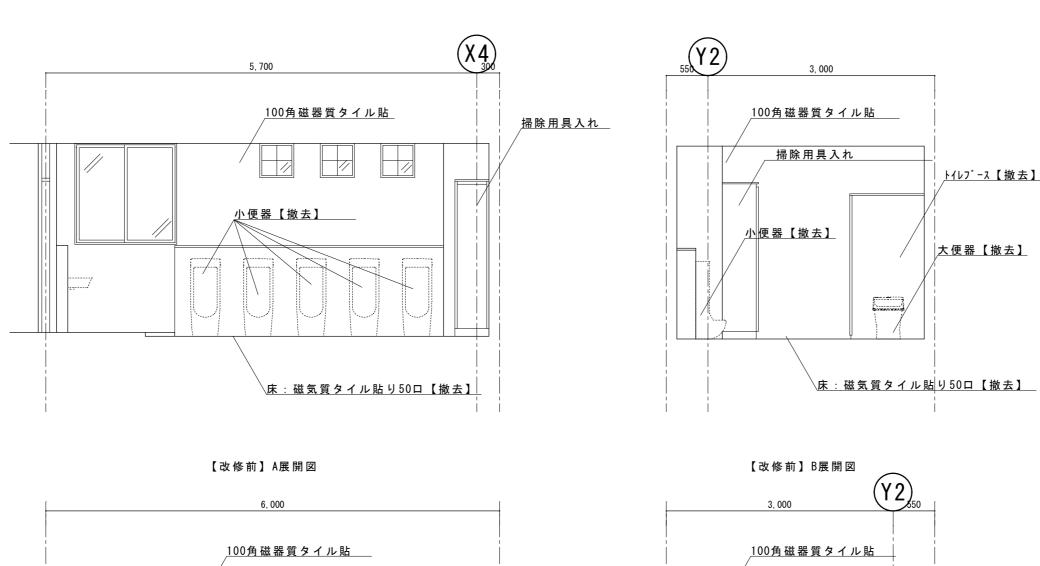
発 注 者

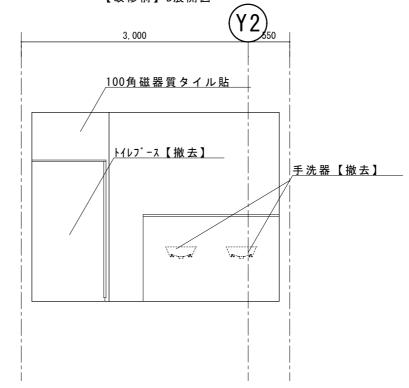
角田市産業建設部 都市計画課

図面番号

S = 1 : 50

2025.6





トイレブース【撤去】

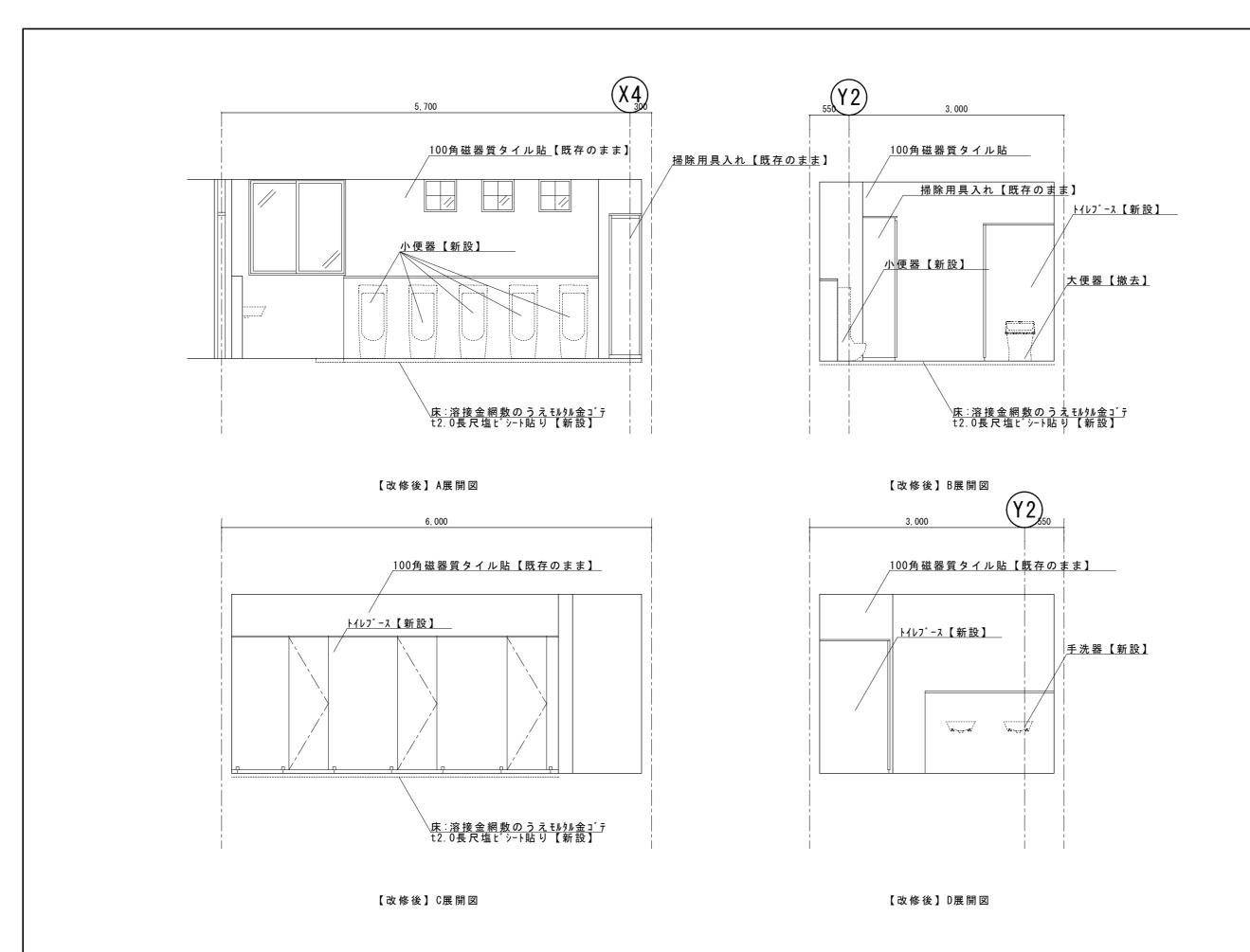
大便器【撤去】

トイレブース【撤去】 床:磁気質タイル貼り50口【撤去】

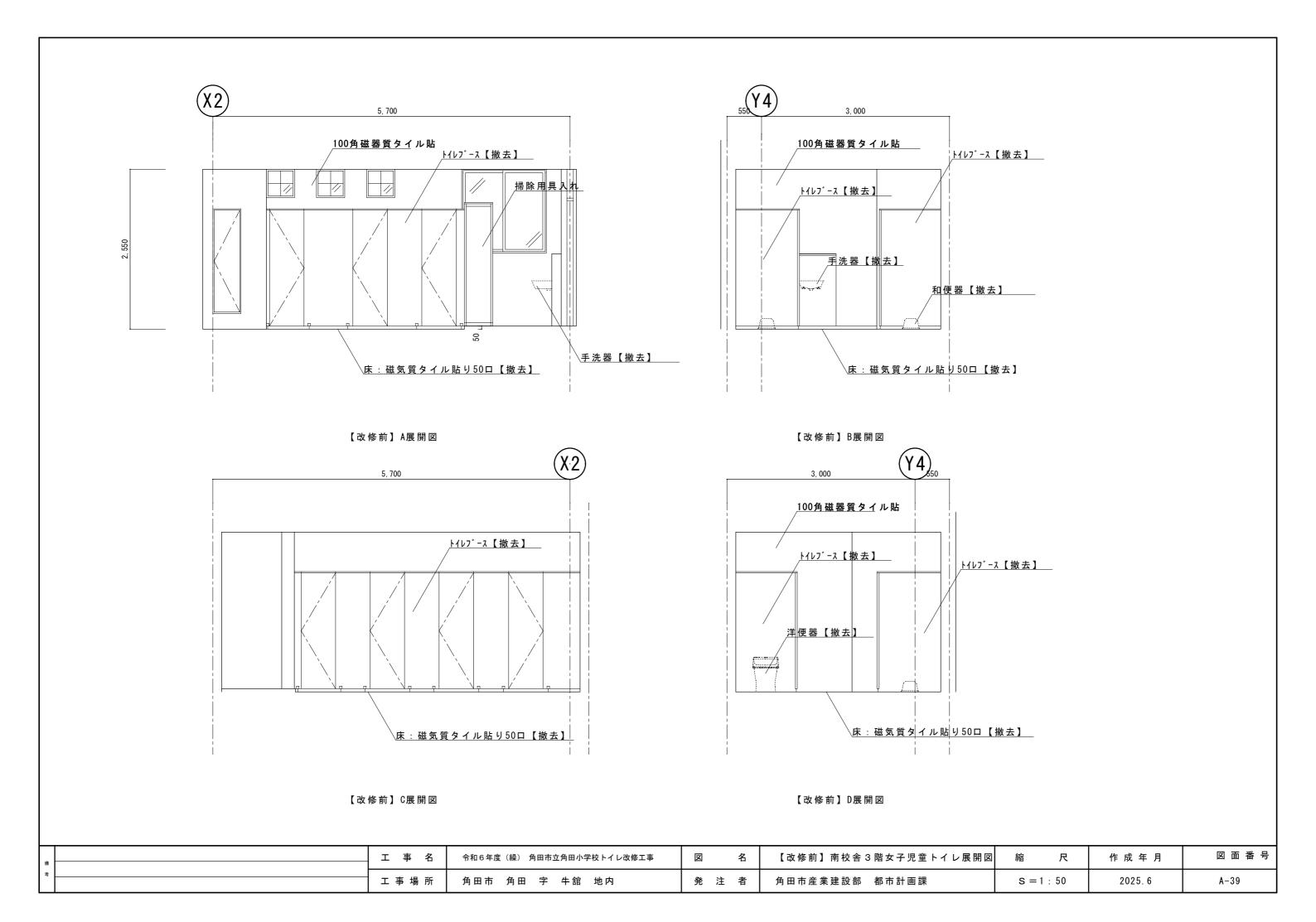
【改修前】C展開図

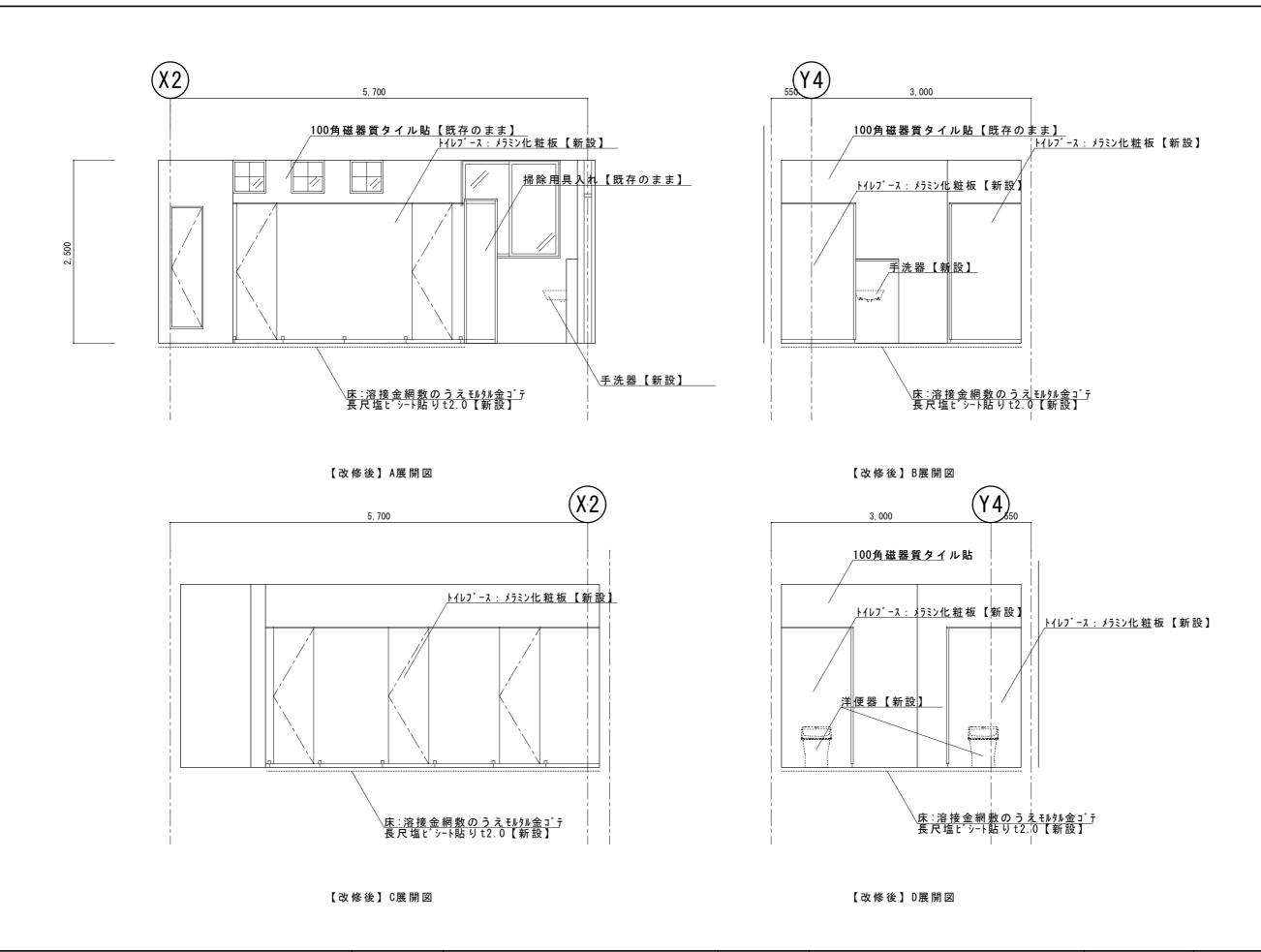
【改修前】D展開図

備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】南校舎1、2階共通男子児童トイレ展開図	縮尺	作成年月	図面番号
考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-37

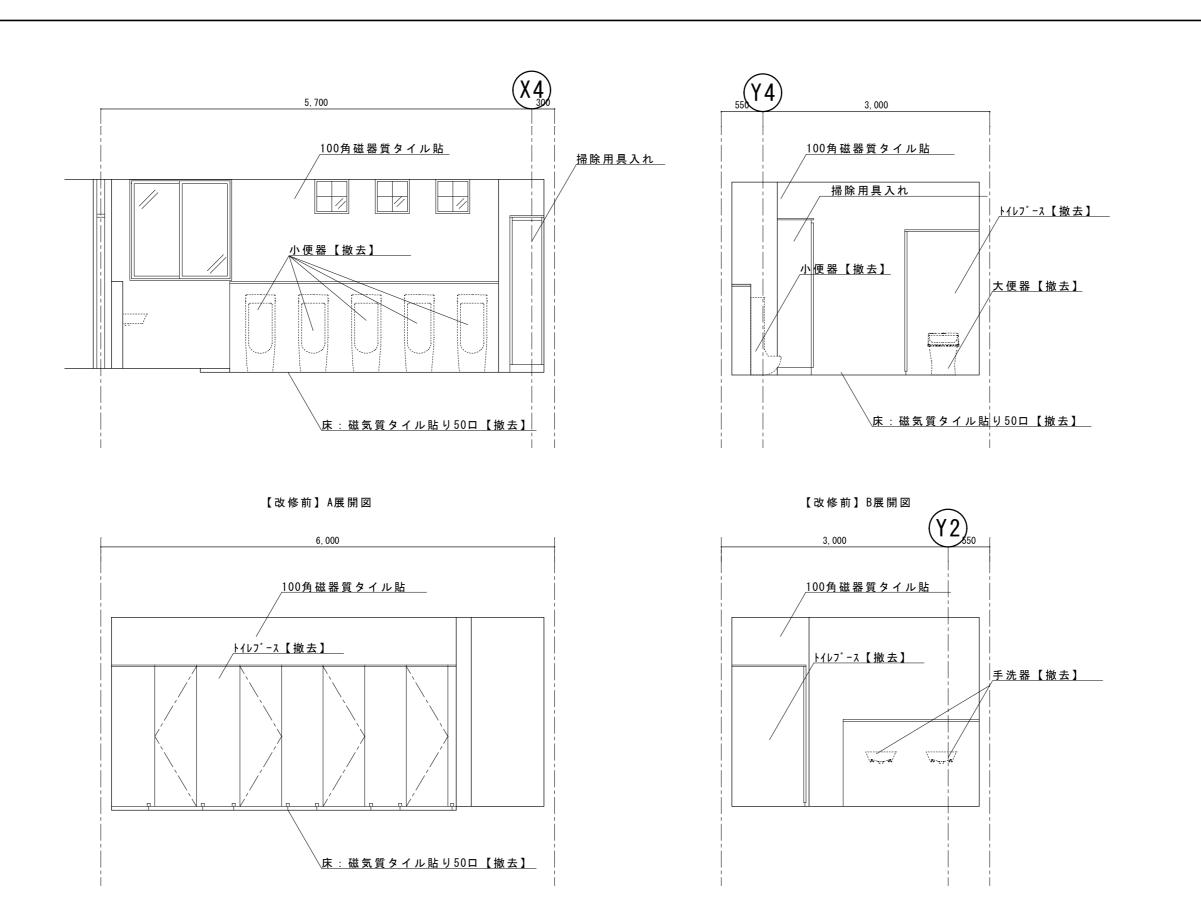


備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図名	【改修後】南校舎1、2階共通男子児童トイレ展開図	縮尺	作成年月	図 面 番 号
考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	A-38





備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎3階女子児童トイレ展開図	縮尺	作成年月	図面番号
考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025. 6	A-40

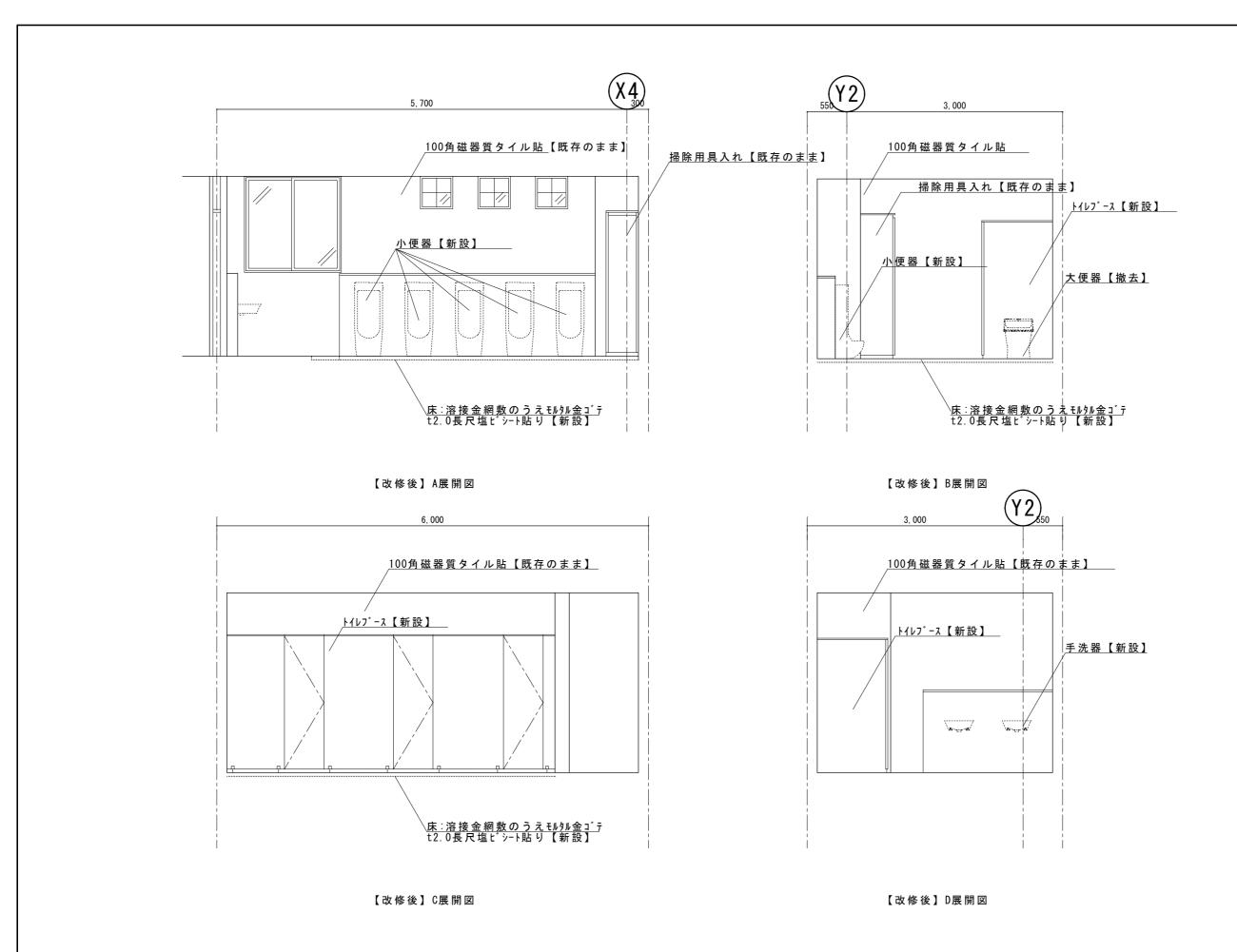


 工事名
 令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事
 図名
 【改修前】南校舎3階男子児童トイレ展開図縮
 R
 作成年月
 図面番号

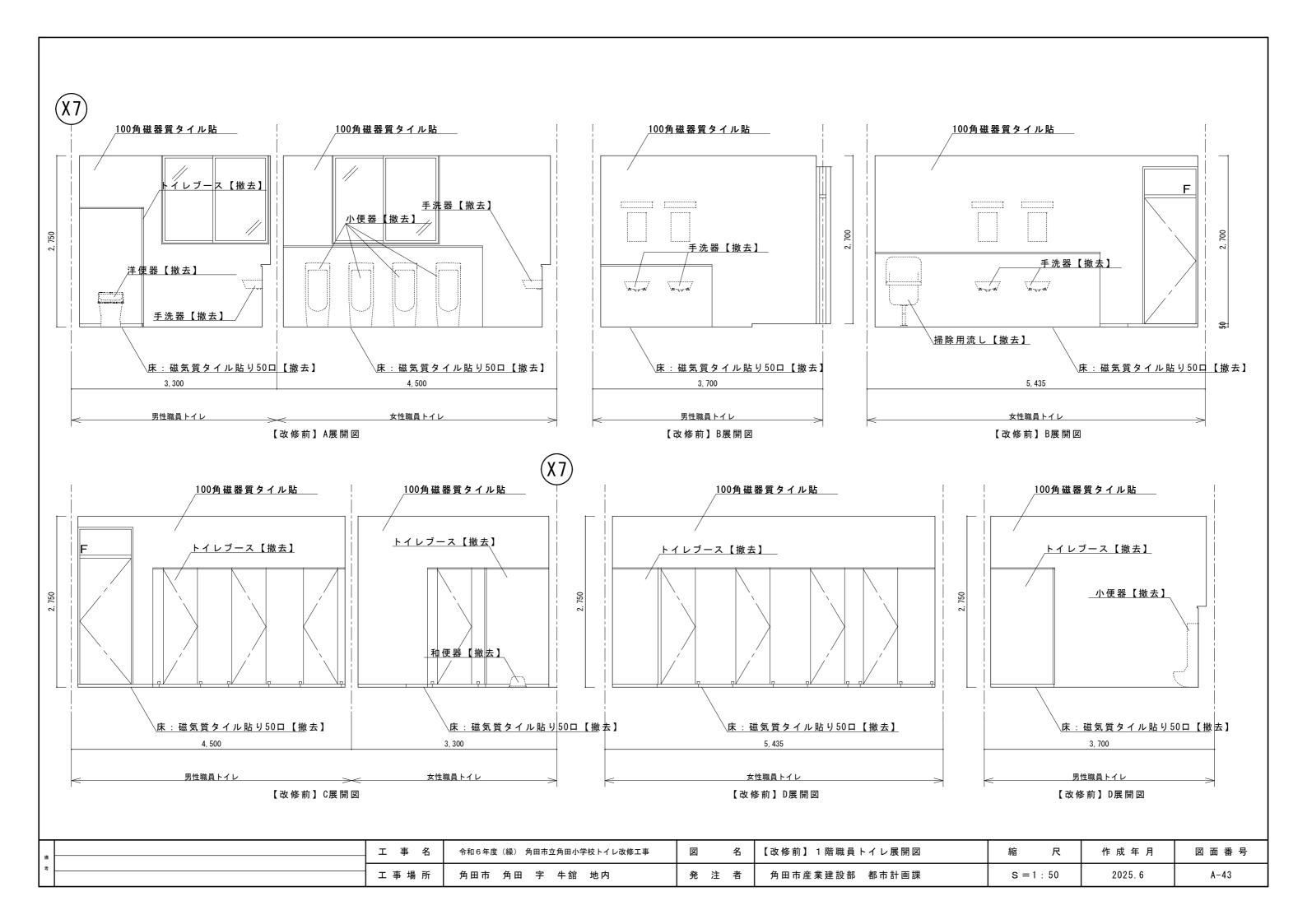
 工事場所
 角田市角田字牛舘地内
 発注者
 角田市産業建設部都市計画課
 S=1:50
 2025.6
 A-41

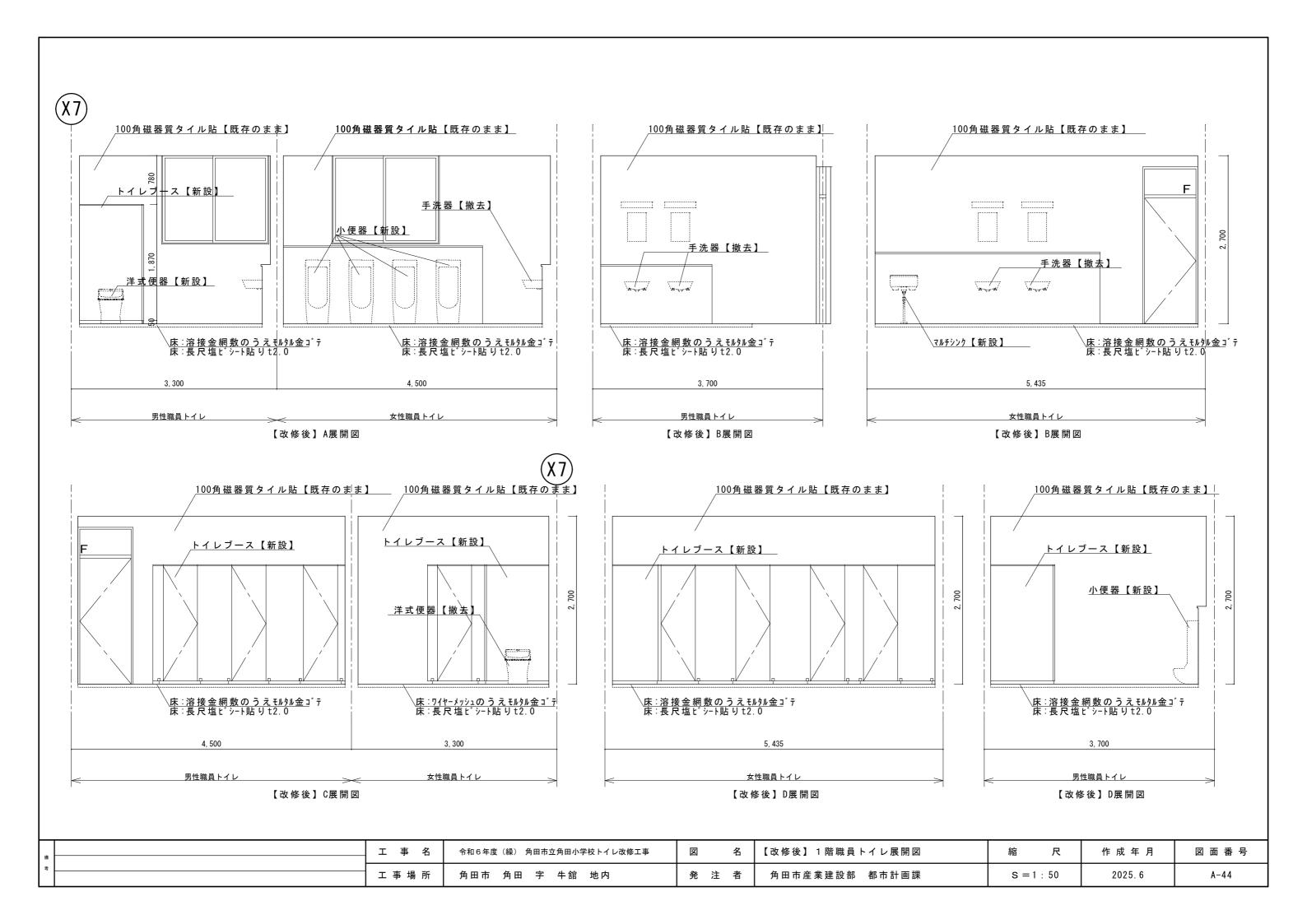
【改修前】D展開図

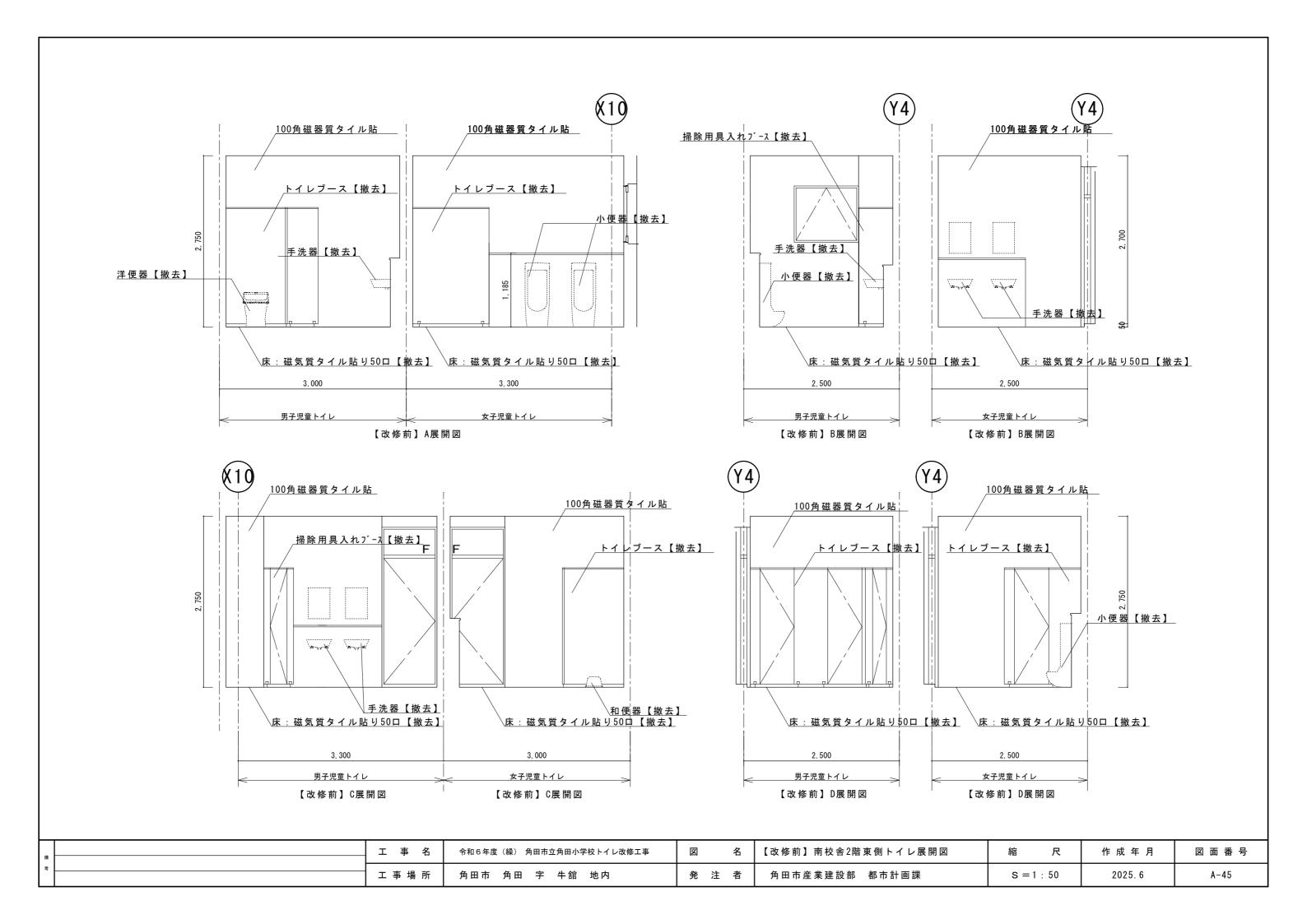
【改修前】C展開図

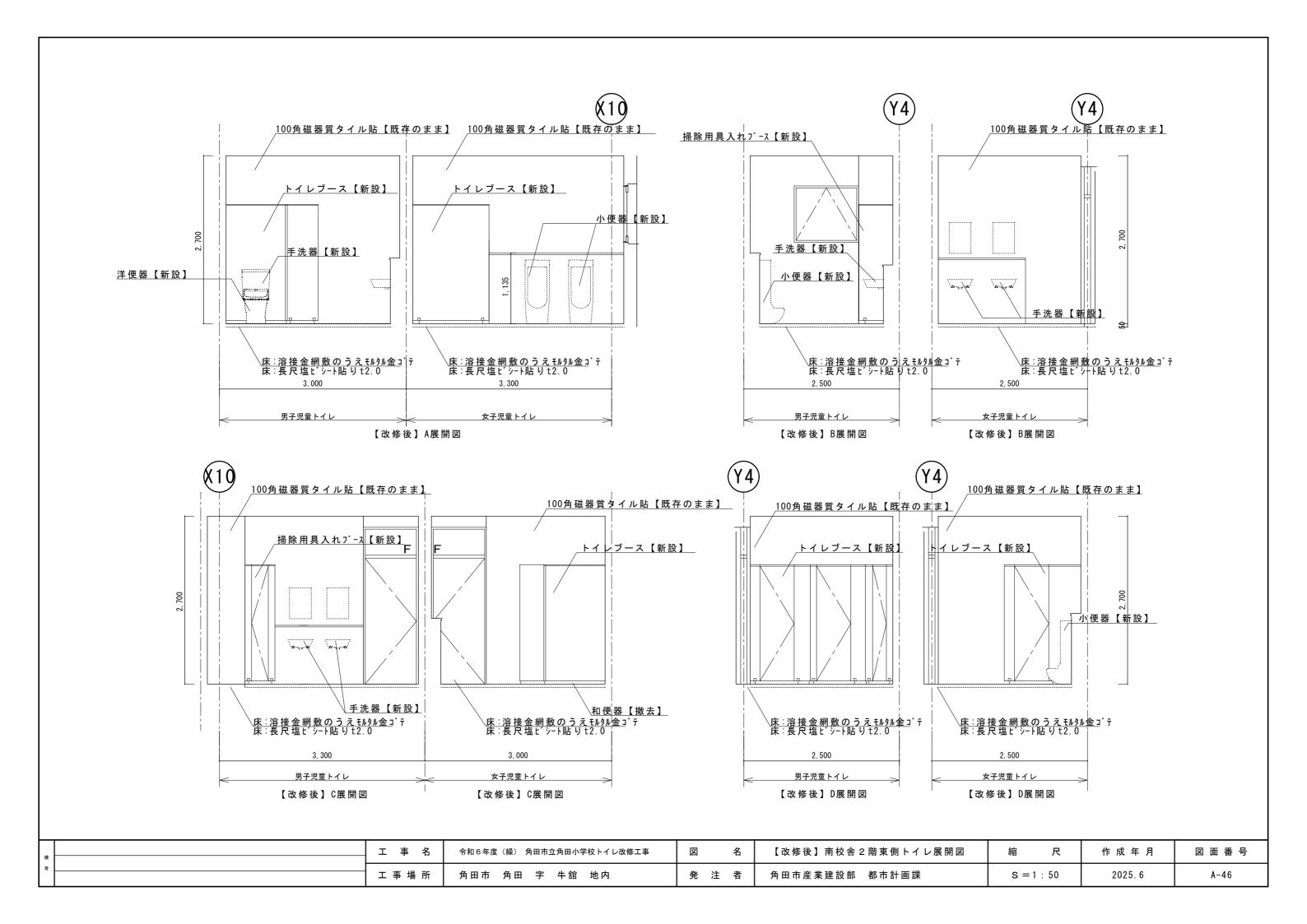


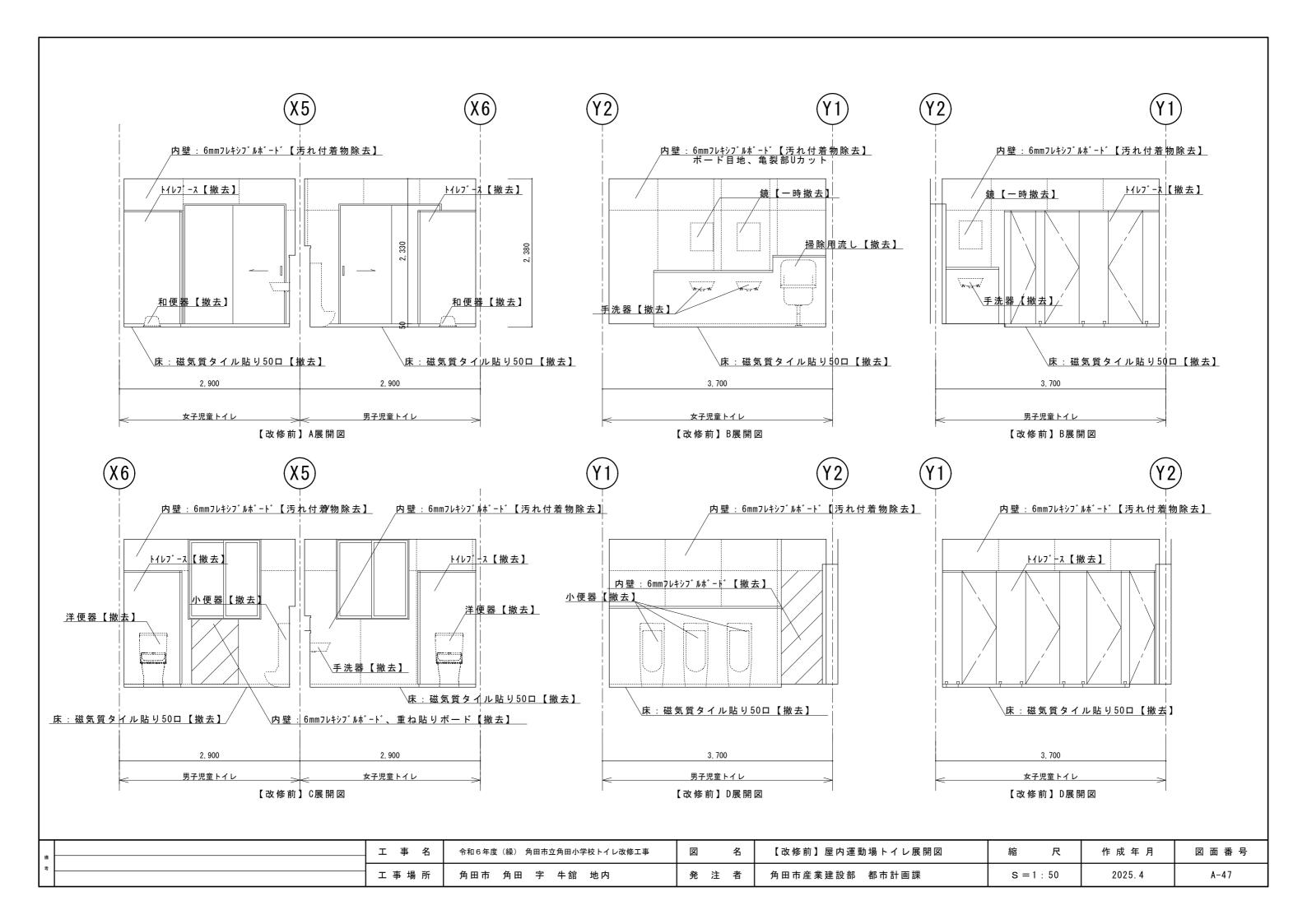
備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎3階男子児童トイレ展開図	縮尺	作成年月	図面番号
考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	s = 1 : 50	2025. 6	A-42

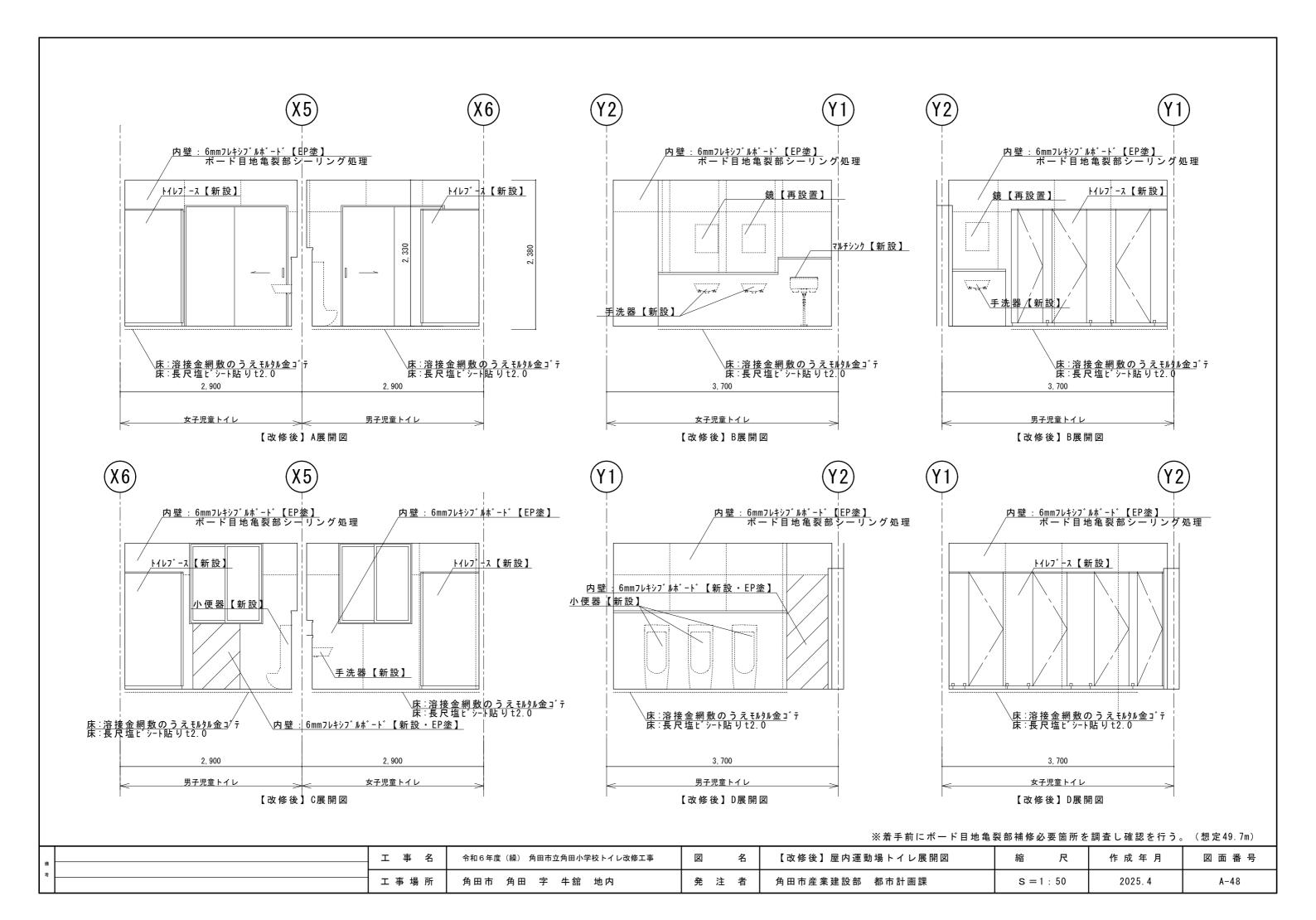




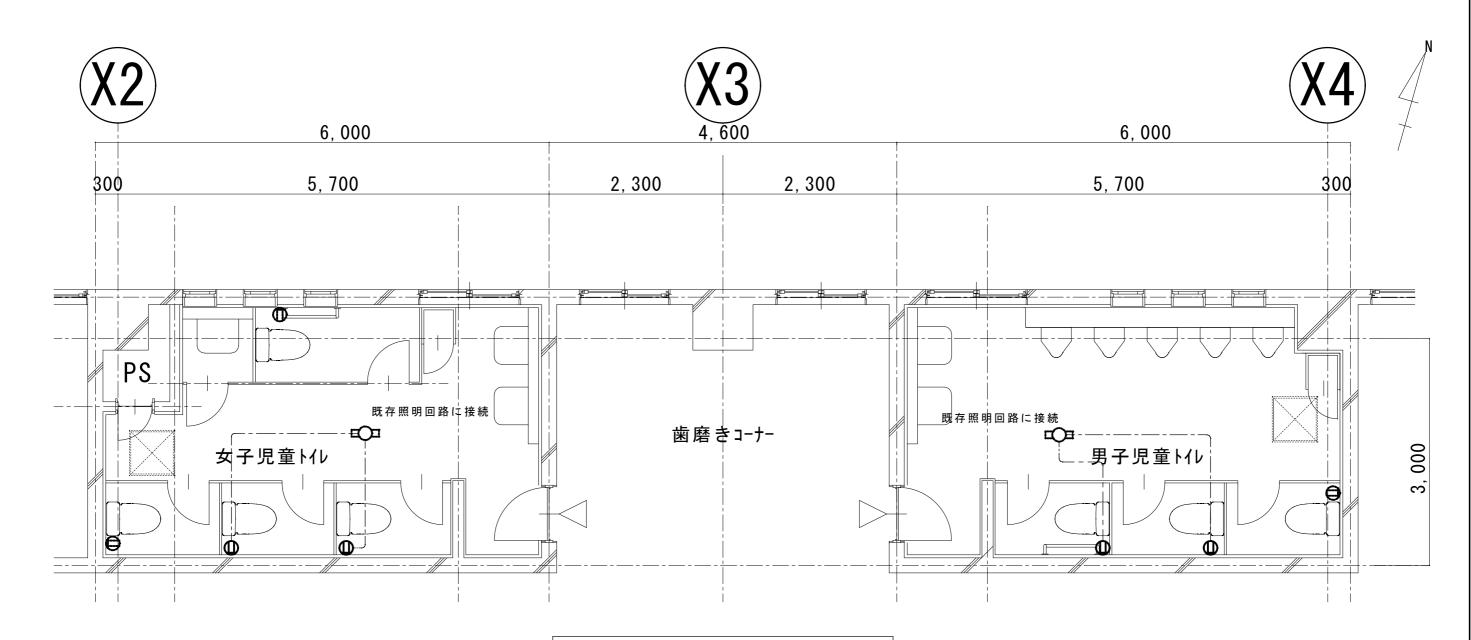






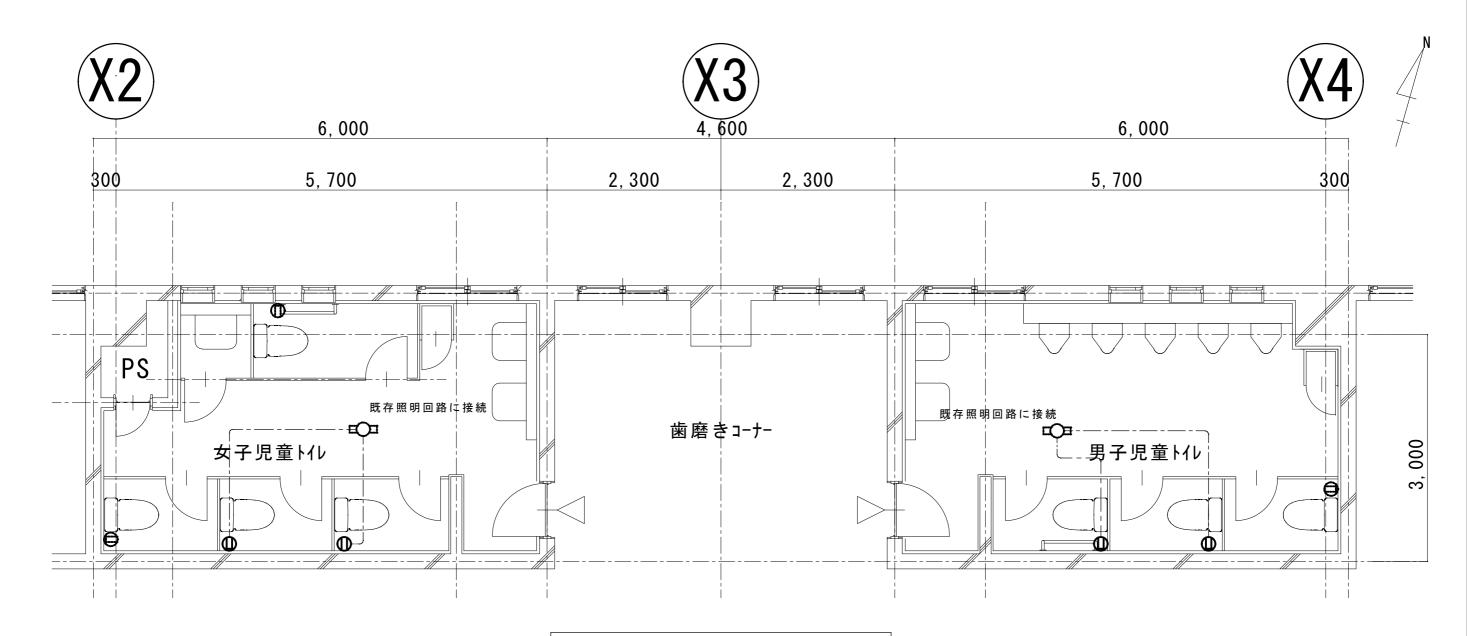


電気設備改修工事特記仕様書【令和7年4月版】	23. 他工事との工事区分	他工事との工事区分は図面に特記なき場合。「各工事の工事区分表」による。	1. 工事範囲	・ 受雷部 ・ 引下げ導線 ・ 接地		1.工事範囲	· 配管 · 配線 · 機器類		
I. 工事概要	24. 保温, 結露防止	外部に面する壁、天井でFP板 (スタイロホーム等) 打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは、保温、結業防止 処理を行う。	金 2. 受雷部	 ・ 実計・ 棟上導体 ・ 笠木 () ・ 引下げ導線 ・ 構造体利用 	別途) など	2. 監視制御対象設備 3. 表示操作盤	 動力設備 ・ 受変電設備 ・ 身 ・ 壁掛形 ・ 自立形 	発電設備 · 火3	災報知設備
1. 工事名 令和6年度(線) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	25. 電線類	本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。	設備 4.接地極	※ 接地極埋設 · 構造体利用 (測定時期	- 回数)		組込み機器・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
2. 工事場所 <u>角田市 角田 字 牛館 地内</u>	- 26. 合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管は、PF管(一重管)とし、温度による分類はタイプー25とする。	5. 測定用補助接地極	· 設置		4. 監視制御装置	構成機器 ・ グラフィックパネル ・内部 ・ 監視操作装置 ・ 信号処理を	照式液晶ディスプレイ 装置 伝送装置	- 操作卓 - 分散処理装置
建物名称 構造階数 延べ面積(ml) 建築面積(ml) による用途区分 備 考	27. 二種金属製可とう管	露出箇所 ・ ビニル被覆あり ・ ビニル被覆なし	1. 工事範囲	- 機器類	4	X.	- 中央処理装置 ・ 補助記憶器 ・ 帳票用印字装置 (・ インクミ	装置 · 記錄装置	
角田市立角田小学校 RC造 3階		いんべい箇所 ビニル被覆あり ビニル被覆なし 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受け	受 2. 電気方式 受 3. 引込ケーブル	- 高圧 三相3線式 6 k V 5 0 H z - 低圧 三相3線式 2 0 0 V · 低圧 - EM-CET38° · EM-C					
	7	け変更してもさしつかえない。	变	EM-CE38°-3C · EM-C	E 6 0* -3 C	1. 工事範囲	· 管路 · 配線 · 機器類		
	29. インサート 30. 呼び線	鋼鉄製とする。なお、床板で保温板打込み部分は、断熱材用インサート(亜鉛めっき製品)を使用する。 長さ1m以上の連線しない電線管には、1.2m以上のビニル被覆鉄線を連線する。	4. 配電盤電	歴史形 ・屋外形 (防塵処理及び結露対 キュートタル式配電盤 ・ 高圧閉鎖配)		2. 電景技式	- 高圧 三相3線式 6kV 50Hz - 低圧 三相3線式 200V		
4. 工事種目 (○回のついたものを適用する。)	別 般 31. フラッシュブレート	図面に特記なき場合。(※ 金属製(ステンレス・新金属も含む) ・ 樹脂製) とする。	設 5. 主遮断装置	※ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器 (PF-S) 定格遮断電流 kA	- 高圧交流遮断器 (CB)		- 低圧 単相3線式 100/200V - 低圧 単相2線式 100V		
(<)電灯設備・動力設備	典 32. フロアブレート・ベー	ス ※ 水平高低調節付(空転防止リング付) ・ 鋼合金製 ・ アルミ合金製	備 6. 高圧機器類	・ 油入式 ・ モールド ・ 手動 ・ 電動 ・電磁		3. 布設方法	※ 地中埋設式 (· FEP · 厚鋼電線管		
- 電熱設備 - 需保設設備 - 受変設機	33. ハンドホール蓋	県章およびチェーン(ステンレス製)付のものとする。	7. 変圧器	・ 単相変圧器 k V A · 三相 (油入式: JIS C4304-2013適合品 乾式: JIS C430		4. 柱上機器	- 高圧負荷開閉器 ※ 一般用 ※ 地格器電 ・ 避雷器 ※ 一般用	耐重塩じ/ 電器付き(※ 方向性 耐塩用	ん用 ・ 無方向性)
·電力貯蔵設備 ・発電設備	事 34. 支持金物. 固定金物	屋外の機器及び配管に使用する支持金物(ボルト類)はステンレス製とし、屋外機器のアンカーボルトのナット には、ナットキャップ(樹脂製)を取り付ける。	8. 進相用コンデンサ	・ 低圧 ・ 高圧 ・ 油入式 ・ ガス式			- 高圧カットアウト. がいしなど ※ 一般用		
- 構內情報透信網設備 - 構內交換設備 - 情報表示設備		また.振動をともなう機器の支持金物のナットは、ダブルナットとする。 施工方法 - 接着系 (※有機系 - 接着剤)	9. リアクトル	· 6% · 13%		5. 高圧ケーブルの 端末処理	屋外側 ※ 一般用 耐塩用 ※ 処理者銘板取付(屋内外共、線名、作業日、氏名	名を表示)	
・ 情報表示及博 ・ 映像・ 音響協備 ・ 拡重設備		1847	10. 自動力率制御装置	油入式 ・ モールド・ メーターリレー形 ・ 静止形		。 6. その他 8.	東北電力 (株) 外線工事基準 (架空線編) に準ずる。		
・誘導支援投機・テレビ共同受信設備	36.接地極の種別・表示等	F 接地極は図面に特記なき場合、下表による。なお、EBの長さは1、500mとする。 ただし、D=10は1、000m、W=30は1、200mとする。	11. 測定用補助接地極	· 設置		7. 外灯設備	・ 定格電圧 V W		
・監視カメラ設備 ・駐車場管制設備 ・防部・入型管理接換		接地機及び短州が月間接地極の埋設欄は不要とする。 複地 を 種類	1. 直流電道装置電	※ 非常用照明器具電源, 受変電設備制御電源供 蓄電池 ・ 鉛蓄電池 (・ HS	用 ・ 受変電設備制御専用 ・ 非常用照明器具専用 CS ・ MSE ・ 長寿命形MSE)	8. 沈下対策 9. 標識シート	地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合に - 高圧ケーブル ・ 低圧ケーブル	ま、沈ト対策を施す。 (,
· 自動火災報知設備 · 中央監視制御設備	∃	- 當保護設備用接地 ELA Q以下 EP×2 - 當保護設備用接地 ELA Q以下 EB(D=14又はW=40)× 連一 組	カ 貯 蔵	・ アルカリ蓄電池(・A H ・/ ・ リ チウムイオン 電池		10. 予備配管	屋外キュービクルから第1ハンドホールまでの予備百		
・構内配電線路 外灯設備を含む ・構内通電線路 タイプション オール・フェー・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン	Ⅎ ┃ ┃	· 共同接地 EA·ED·ELH 10Ω以下 EB(D=14又はW=40)×3連-2組 · 共同接地 EA·EC·ED 10Ω以下 EB(D=14又はW=40)×3連-2組 · A種 EA 10Ω以下 EB(D=14又はW=40)×3連-2組	設 信 2. 交流無停電電源装置	容量 k V A	CS · MSE · 長寿命形MSE ·)	1. 工事節囲	分電盤. 動力盤から建物へのハンドホールまでの予備 ・ 管路 ・ 配線	備配管 (FEP80:22	本)を設ける。
・子レビ電波障害防除 ・子の他工事 別紙仕样書による		· B種 EB Ω以下 EB (D=14又はW=40) × 2 · C種 EC 10Ω以下 EB (D=14又はW=40) × 3連-2組		・ アルカリ蓄電池 (・A H ・ ・ リチウムイオン蓄電池	AMH ·)	2. 用途		火災報知用	
6. 版成工期 ※ なし - あり (工事工用より 日前) II. 特記化検書		・ D種 ED 100Q以下 EB(D=14又はW=40)×1 ・ 構内交換機 (帰極) 用 Et Q以下 EB(D=14又はW=40)×3連- 組	1 工事範囲	· 機器類 ·	And the second s	3. 施工方法	※ 地中埋設式 (· FEP · 厚鋼電線管	· GLI	• 架空線式
1. 一般事項 (1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事	5 .	・本配線盤の保安装置 EA t 10 Ω 以下 EB (D=14又 kW=40) × 3連-2組 ・電話引込口の保安器 EDt 100 Ω 以下 EB (D=14又 kW=40) × 1	2. 形 式	簡易形 ・ キューピクル式 ・ :屋内形 ・ 屋外形	オーブン形・	4. 標識シート	※ 弱電用 ①施工計画書には産業廃棄物処理計画を記載するとと	L 4 I= 40 4 th T th I = 10.	・ 標末にい、その計用と「松声様中
令和4年版)、公共建築改修工事標準仕棟書(電気設備工事編、令和4年版)、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公 建築設備工事標準図(電気設備工事編、令和4年版)」による。	*	· 拡声増幅器 EDa 100Ω以下 EB(D=14又はW=40) × 1 · 防犯装置用 ES Ω以下 EB(D=14又はW=40) × 3連一組	3. 発電機	電気方式 相 線式 50Hz 電圧	V 定格出力 k V A 運転時間 時間	1. 特記事項 ※建物一式のとりこわし	「建設副産物処理表(施工前調査表)」としてあら ② 破去品の一切については、有害物質等の含有又は含	らかじめ監督職員に提出す 含有の可能性の有無につい	すること いて改めて調査を行い、その結果を
(2)機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、機械設備工 特配仕帳書は(/)回、建築工事の特記仕様書は(/)回による。	事の	- ・ 測定用 Eo — EB (D=10又はW=30)×1 ・ 避雷器用(低圧用) ELL 10Ω以下 EB (D=14又はW=40)×3連-2帳	4. 原動機雷	種類 ・ディーゼル ・ ガスター 定格出力 R-W以上 (ービン ・ PS以上)	工事に適用とし、機器 等の改修工事は適用外	「指定様式2-2 建設副産物処理表(撤去品調査 ③上記②により新たな有害物質等の含有又は含有の可 協議するとともに、産業廃棄物処理計画の変更を行	査後)」として監督職員に 可能性がある撤去品を確認	に提出すること 認した場合には、速やかに監督職員と
 特記事項 (1)項目は番号に⊙印の付いたものを適用する。 		 ・ 避需器用(高圧用) ELH 10Ω以下 EB(D=14又はW=40)×3連-2組 ・ 避需器用(モデム用) EMD 100Ω以下 EB(D=14又はW=40)×1 	to to	始動方式 ※ 電気式 ・ 空気式 冷却方式 ・ ラジェータ式 ・ 水冷御			協議するとともに、 性米施業物処理計画の変更を行 (金)撤去品の取扱については、関係法令等に従い適切な 建設副産物処理表(最終)」として監督職員に提出	な処理・処分を行うととも	もに、その結果を「指定様式2-3
(2) 特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ⊙印と⊗印の付いた場合は、共に適用するものとする。		- 構造体接地 建築構造体利用 (通信用も含む)	5. 燃料	種類 ・ 軽油 ・ 灯油 ・ 燃料小出槽 L	A重抽		•		
章 項 目 特 記 事 項 (1) 適用基準等 ※ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号)	37. 総合調整	各機器の個別運転後に総合調整を行い、報告書を提出すること。 ・受変電設備 免電設備 照明装置 構内交換設備	6. 太陽光発電装置	主貯油槽 ・ なし ・ あり (・ 太陽電池アレイ公称出力 kW	別途 ・本1事:)	表 2 「機器取付高さ」 図面	iに特記なき場合は下表による。ただし、これによりがた	たい場合は監督員と協議	する。
※ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱(最新版) ※ 常絲工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁常繕部監修 令和5年版)	38. 塗装工事	下記部位に使用する外面的っき電線管の露出配管には塗装を施す。		パワーコンディショナ 相 線式 定格電 自立運転 ・ 有 ・ 無		名称	力 設 備 測点 取付高(mn) 名	通 信 8 称	設 備 測 点 取付高 (mm)
及び工事写真機影ガイドブック〈電気設備工事編〉 (国土交通省大臣官房庁営輔部監修 令和5年版) (2) 機 材 等 ※ 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これら	<u> </u>	※ 屋外 ※ 居室 ・	7. 系統連系	蓄電池 ・ 有 (定格容量 kW ・ 有 ・ 無	h) • #	取5月用計畫 司込開閉器 力 分電盤	床上~中心 1,800~2,200 電 集合係		地上~引込点 天井下~上端 200 床上~下端 300
ー 同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に審意し、探	39. 山留め	切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、 山窗めを行うものとする。	1 工事範囲		(全部 ・ 端子盤以降)	共 通		" (EPSなど) E アウトレット(ー 般) E	床上~中心 1,500 床上~中心 300
性有機化合物の酸剤による健康への影響に配慮する。 ※ 使用する材料のホルムアルデヒド性様は、日本産業規格及び日本農林規格のF☆☆☆★規格品、壁装材料協 規格適品品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。	40. 舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(建築工事編)22章(舗装工事)及び建築工事監理	2. 電話交換機 構 内	形式 ・ ボタン電話装置 ・ デジー 回線数 局線 / 回線 内線		スイッチ (一般) (和室)	床上~中心 1,300 時 壁掛形 1,200 計 子時計	// (和 室) 形親時計 : 計	150~200 床上~中心 1.500(上端2,000以下) " 2,300
③ 機材の品質・性能証明 本工事着手前に機器製作図を提出し、監督職員の承諾を受ける。	5 41. はつり	指針(下巻)22章(舗装工事)による。	交換 3.電話機への配線 設	電話機1台につき、下記のものを見込む。 ・ EM-TIEFO. 65-8C (・ 2	0 m ·)	電 コンセント(一般) (和室)	" 300 ・ 壁掛形 " 150~ 200 拡 壁付フ	形スピーカ アッテネータ	" 2,300 " 1,300
また、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」((一社)公共建築協会)によって所要の品質・性能を有すことの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監管職員に提出するものとする。	42. 再使用機器	既存コンクリート床、壁などの配管貫通は、原則としてダイヤモンドカッターによる。 再使用する機器は、現場内で清掃、絶縁抵抗測定のうえ、取り付ける。	18	・ EM-EBTO. 4-2P ・ ワイヤープロテクタ (樹脂製	0 m ·) 外形士法約 2 0 × 8) 1.5 m	# (台 上) # (ファン用) # (暦 草)	床上~下端 ファン下端 ・ 〃	インターホン(ー 般) [" (身体障害者) アウトレット(ー 般)	" 1.300
4 保 険 本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し 写しを監督職員に提出する。	43. 撤去後の補修等	機器撤去後の天井、壁及び床等の補修は、既存仕上げと同等とする。なお、施工に際し、既存設備及び施設に損傷	4. ローテンションアウト レット (亀甲形)	- ※ 一般電話用 個 (・ 納入する ※ 銅合金製 ・ アルミ製	・ 取り付ける)	" (車庫) " (機械室)	" 1,300 信 信 機器4	" (和 室) 収容箱 3	" 300 " 150~200 天井下~上端 200 床上~中心 300
5. 雇 用 本工事は、公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努める。 (6) 施工計画書・施工図等 エ事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。		を及ぼした場合は、原状に復旧する。	5. 保安器用接地	※ 本工事 · 別途工事		パ (土 間) ブラケット(一 般) 灯 パ (頚 場)	# 800~1,300 備 直列コ 床上~中心 2,100~2,300 響 表示室	" (和 室)	" 200
工事の施工に先立ち、工種別施工要領書及び施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。 事	44. アスベスト	アスペストについては、労働安全衛生法(石綿障害予防規則)・廃棄物処理法等に削り、事前調査を実施し、調査結果を整理のうえ、監督職員へ報告すること アスペスト使用状況()	1. 工事範囲及び施工方法	項 目 配管配線	囲 施 工 方 法 機器類 合成樹脂管配線 金属管配線 ケーブル配線	パ (鏡 上) 避難口誘導灯	鏡上端~中心 150 報 壁付き 床上~下端 1,500以上 ・ ベル,	発信機・ガザー、チャイム	床上~中心 2.300 " 1.300 " 2.300
丁事の着手、施工及び完成において、官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上、受が選滞なく処理する。なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。	注者 45) 有害物質の取り扱い) へへへにはおめた。 PCB (変圧器・コンデンサ・安定器等)、鉛・カドミウム(鉛画電池・小形二次電池等)、水銀、放射性物質 (イオン化式感知器等)の有害物質の含有を搬出前に確認し、監督器員に報告書を提出するとともに、その処理方		- 構内情報通信網 - 情報表示 - 映像・音響		廊下通路誘導灯	床上~上端 1,000以下 表 壁付料	押しボタン(一般) 月 〃 (身体障害者玄関)	床上~中心 1.300 " 900
項 ② 施工条件 別添の施工条件明示書による。 (9) エ事の一時中止 工事誘負契約書第20条の規定により工事の一時中止の透知を受けた場合は、工事の続行に備え中止期間中にお	.,	(14 プルス認知会等)の有言物質の自存を微血剤に確認し、医自機質に報告者を提出することもに、その知性が 法を監督職員と協議し、関係法令に基づき適正に取り扱うこと。	通	拡声		動 壁掛形制御盤 開閉器箱	床上~中心 1,500(上端2,000以下) 受信核 1,500		床上~中心 800~1,500 " 800~1,500
(タ) エキップーのサエ エキ現場の管理計画書を提出すること、本計画書には、中止時点における工事の出来高、搬入材料及び建設機械 等の調書、中止期間中の体制及び工事現場の維持管理に関することを記載すること。	76 選具 2. 電気方式	- 配管 (·) 配線 - 分電盤類 - 機器類 - 幹線 単相3線式 100/200V 50Hz	信	・テレビ共同受信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		カ 電磁開閉器用ボタン 非常ボタン(便所用)	" 1,300 火機器単 床上~中心 400、900 災発信を " 1,300 報表示	機	" 800~1,500 " 800~1,500 # 5 h x d x 2,100
(I) 工事実積情報の登録 (CORING) - 競負額が500万円以上の場合は、工事実積情報を登録する。 受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を、監		- 分岐 単相3線式 100/200V - 分岐 単相2線式 100V		・ 監視パクラ ・ 駐車場管制設備 ・ 防烈・ 入退室管理		者 廊下表示灯(復旧ボタン作	機) " 1,100 知 ベル付) " 1,300 器 液化石	石油ガス用検知器 ほ	床上~中心 2,100 "2,300 床上~上端 250 天井~上端 150
職員に提出のこと。 (1) 事故報告 施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、「事故報告書」を別に指示する親日ま			情 2. 構內情報通信網設備	ボックス ・ 合成樹脂製 ・ 金属製 種類 ・ 10BASE-T ・ 100	BASE-TX · 1000BASE-T	用 身障表示ランプ スイッチ	" 1,500 都市力 " 1,100	ガス用検知器 (軽質) スパーパー (重質) ほ	天井~上端 150 床上~上端 250
監督職員に提出する。	プロス 3. 施工方法 灯	分岐 電灯 - 合成樹脂管配線 - 金属管配線 - ケーブル配線 - その他 () コンセント - 合成樹脂管配線 - 金属管配線 - ケーブル配線 - その他 () 屋外露出 - 合成樹脂管配線 - 金属管配線 - ケーブル配線	報 3. 情報表示設備	・ 和時計 回線 (※ 壁掛形 ・ 電子オチャイ	自立形) ム組込 - プログラムタイマ組込)	表 1 「完成書類」 引き渡し	時には下記の書類を提出する。		
(2) 電気保安技術者 電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。	 設	ボックス - 合成樹脂製 - 金属製	4. 映像・音響設備	· 増幅器 W · VTR (· DVD · B)	D . S-VHS .)	名称			完成書類 部数
(13) 工事用電力、水、他 本工事に必要な工事用電力、水などの費用は引渡まですべて受注者の負担とする。 (14) 工事用仮設物 構内につくることが ※ できる ・ できない	4. 照明器具	LED ・ 一体型 ・ ダウンライト ・ その他	備 5. 拡声設備	プロジェクタ (※ 前面投射式 ・ 背i 音響設備 (・ CD ・一般放送用 ・ 非常放送養用	南投射式) −ディオレコーダー ・)		2 (令和7年4月1日版) 1 部 6 管理 ((令和7年4月1日版) ①工事制 (2)機器等	概要書	: チューブ式ファイル 1部
(5) 監督職員事務所 ※ 設けない ・ 設ける (号・・・建築工事)	196		6. 誘導支援設備	・ 増幅器 W (※ 卓上形 ・ インターホン ・ トイレ等呼出装置	・ キャビネットラック形) ・ 音声誘導装置		▲ 1 版 及 7 € ▲ 3 版 = つ 折 り ④保守 !	別取扱説明書 に関する案内書	
16. 足場. さん橋類 別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。 本工事で設置する。 なお、枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月改訂	,		7. テレビ共同受信設備	・ テレビアンテナ (・ AU ー ・ C: ・ 地上波アンテナマスト (※ 壁面取付形	SBSA- CSA-)		5 緊急	·連絡先一覧表 5写直	
によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。	5. 防災用照明器具	非常用照明器具 (※ 電池内蔵形 ・ 電源別置形) 誘導灯 (※ LED誘導灯 ・ 誘導機識)		 BSアンテナマスト(・壁面取付形・電界強度測定及び受信調査(※全チャン) 	• 自立形)		F形式 1枚 ①施工3	:写真 A 4版 (着手)	: チューブ式ファイル 1部 前、施工状況、完成の各写真)
17. 工事表示板 ※ 設置する 設置枚数 1枚 営種工事における工事及びコスト表示要領(平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定)により設置する	6. 照度測定	照度測定は、原則、本工事範囲全て行うものとするが、これにより難い場合は監督職員との協議による。	8. テレビ電波障害 防除設備	・ 事前調査 ・ 機器類		4 機器完成図 A ①機器別完成図	4版:製本 1部		: ベーパーファイル 1 部 成届に添付
・ 設置しない	7. ハイテンション アウトレット	※ 網合金製 ・ アルミ製 ※ 飛び出し形 ・ 外部固定形	9. 監視カメラ設備	・ 白黒方式 ※ カラー方式 ・ 伝送方式 (・ アナログ ・ ネ	ットワーク)	②機材材質証明書 ③機材検査成績書			
18. 工事用通路 ※ 指定しない ・指定する (図示) 19. 発生材の処理等 発生材の処理	8. 予備配管	埋込形分電盤からの立上リ予備配管は、予備の配線用遮断器が4個以下の場合は(PF22)を1本、5個以上の	10. 駐車場管制設備		・ ルーブコイル式) カーゲート ・ カードリーダー	④工場試験成績書⑤工場立会検査成績書⑥現場据付試験成績書	8 工事 ①施工 ②施工	計画書	: チューブ式ファイル 1部
- 引渡しを要するもの (- 特別管理産業廃棄物 (- PCB使用機器 -		場合は(PF22)を2本以上、天井裏まで立上げる。 梁下に配管・配線スペースのない梁には、1スパンにVE(36)2本を予備スリーブとして埋込む。	11. 防犯・入退室管理投債			⑦総合試運転成績書	③承諾1 ④協議1	書・確認書	
受入施設名・所在地: - 現場において再利用を図るもの (- 再採頭化を図るもの (- 再採頭化を図るもの			1. 工事範囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器類		5 取扱説明書 A ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書	⑥工事;	で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
種 類 受 入 施 設 名 所在地 (km) 備 考	1. 工事範囲	· 配管 · 配線 · 制御盤類	2. 火災颗知装置		アドレス)	③緊急連絡先一覧 ④各種保証書	⑧廃棄特	を物管理票の写し で 中への届出書	
	2. 電気方式	- 幹線 三相3線式 200V 50Hz - 分岐 三相3線式 200V	*	- 複合盤 型 級 回線 (火報 副受信機 型 級 回線	回線、自動閉鎖 回線、ガス漏れ 回線) ・露出形) ・ 屋内消火栓箱に組込み			に関する承諾	
・その他安定型廃棄物(3. 施工方法	登線	災	· 機能収容箱 ・ 専用形(・ 埋込形 ・ 感知器類 型用 総数 個 (・ 無血形) ・ 座内消火柱相に相込み 自動試験機能付)				
受入施設名・所在地: ・その他管理型廃棄物 (受入施設名・所在地:	動	屋外露出 ・ 合成樹脂管配線 ・ 全属管配線 ・ ケーブル配線 ポックス ・ 全属製	報 3. 非常警報装置		非常放送装置				
PCBを含有する機器等については飛散、流出がないように適切な場所に保管し、工事完了後監督職員に引き渡 20. 残土処理 ※ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所に連積 ・ 構外搬出	7 T = WE	※ 壁掛彩(電源装置 ※ 内蔵 · 別置) ·	知 4. 自動閉鎖装置	・ 連動制御器 ・ 自動閉鎖装置 (・ 防火戸用 ・ 感知器	防煙ダンパ用 ・ 防火シャッター用)				
20. 水エルマ	投 5. 電磁開閉器用押釦 (速方操作用)	※ 埋込連用形配線器具	設 5. ガス漏れ火災警報装置	t ・ 受信機 回線 (・ 都市ガス用 ・)	液化石油ガス規〕				
とおりとする。なお、() 内の叙述は助展文符の機器の場合に適用する。 設計用標準震度 特定の施設 一般の施設	版の 備 6.機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする。	18	- 単独 (· 壁掛形 · 自立形) - 検知器 - 併設 · 連動	・ 火災受信機などとの複合整	parts agreed a service	-2117		
設直場所	7. 電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。		- 定格電圧 (・ AC100V - ガス検知出力信号(・ 有電圧出力方:	- DC24V) 式 - 無電圧接点方式)	参考図として記載	機器の品質・グレードを規定する目的で機器の寸法形状や している。		
一階及び地下層 1.0 (1.0) 0.6 (1.0) 0.6 (1.0) 0.4 (0.6) 重要機器類	3. 進相用コンデンサ 9. 電気自動車用充電装		6. 消火器類	· 消火器 種別 · 数量 · 消火器収納箱 仕様 · 材質 ·	本 数量 面	これらのものに ものを使用するも	こついては、その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ	れ以上の	
・ 配電盤 ・ 発電装置 ・ UPS装置 ・ 直流電源装置 ・ 交換機 ・ 受信機(自立型) ・ 中央監視装置 ・ 情報通信ラック		- 普通充電装置 電圧 相 ∨ - 屋外型 - 屋内型 - 急速充電装置 直流電圧 ∨	宮城県角田市角田字大坊41	TOTAL STREET, SEED TO THE TOTAL STREET, SEED TOTAL STREET, SEED TO THE TOTAL STREET, SEED TO THE TOTAL STREET, SEED TOTAL STREET, SEED TO THE TOTAL STREET, SEED TOTAL STREET, SEED TO THE TOTAL STREET, SEED TO THE TOTAL STREET, SEED TO THE TOTAL STREET, SEED TOTAL STREET, SEED TO THE TOTAL STREET, SEED	工事名称			全 葉	図面番号
重量が100k以下の軽量な機器 (標準仕様者の適用を受けるものは除く) においても、耐震を考慮し、据付行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。	等を 1. 電気方式	始線 相 線式 ∨ 50Hz	電話 0224-63-0138		令和 6 年度(繰) 角田市立	角田小学校トイレ	改修工事]	E 04
22. 風圧加重	熱飲	分岐 相 線式 ٧	FAX 0224-63-4863 宮城県産業建設部	都市計画課	図面名 称 電気設備改修工事特記仕様書				E-01
	1年 2. 施工場所及び面積	· (m') · (m i)						1	



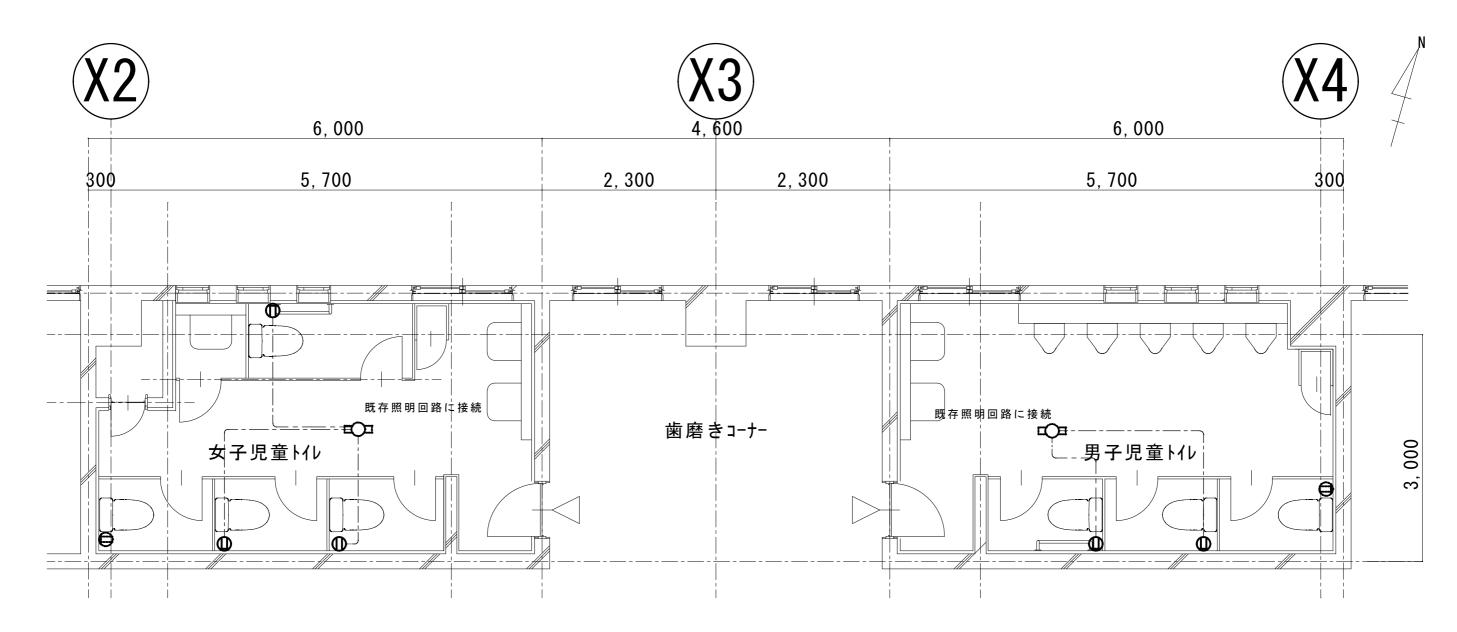
改修後南校舎1階トイレ電気設備図

備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎1階児童トイレ電気設備図	縮尺	作成年月	図面番号
考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	s = 1 : 50	2025.6	E-02



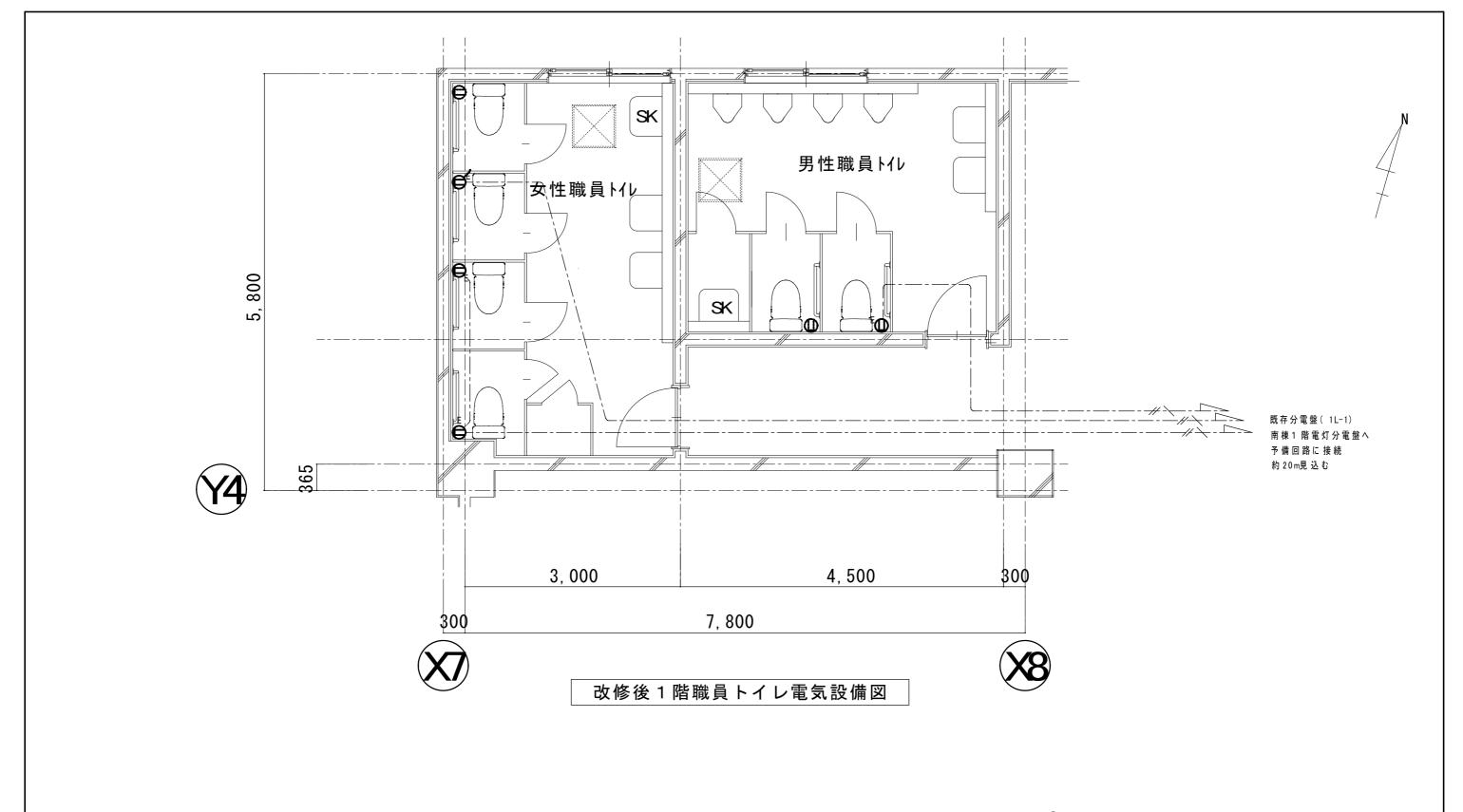
改修後南校舎2階トイレ電気設備図

備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎2階児童トイレ電気設備図	縮尺	作成年月	図面番号
考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	E-03



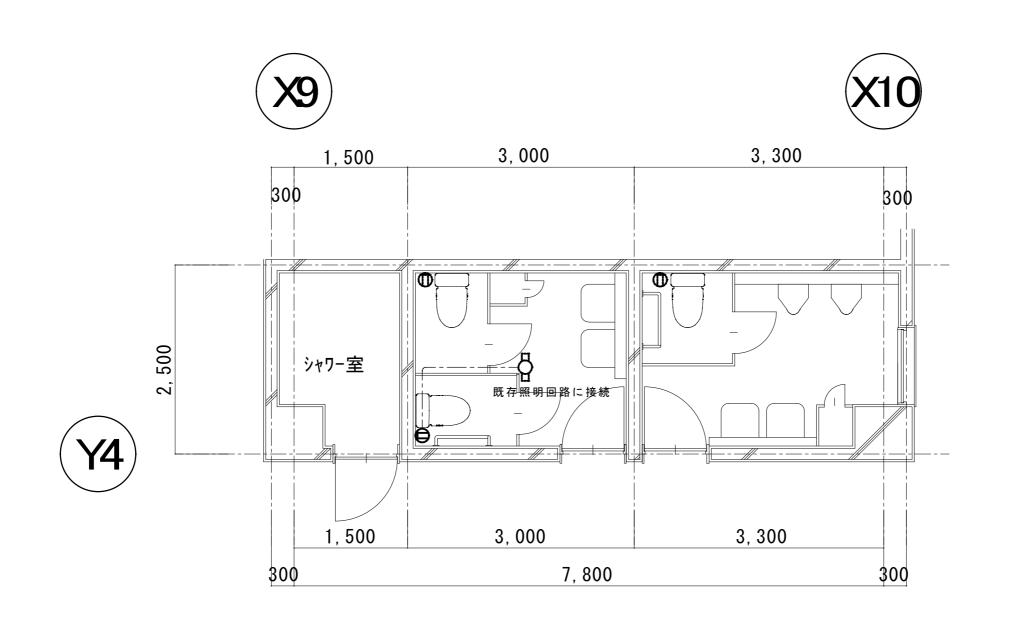
改修後南校舎3階トイレ電気設備図

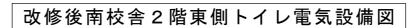
備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎3階児童トイレ電気設備図	縮尺	作成年月	図 面 番 号
考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	s = 1 : 50	2025. 6	E-04



● 2P15Ax1接地端子付コンセント(メタルモールボックス付)--/→- EM-EEF2.0-30天井コロガシ配線(メタルモールA型立下げ)

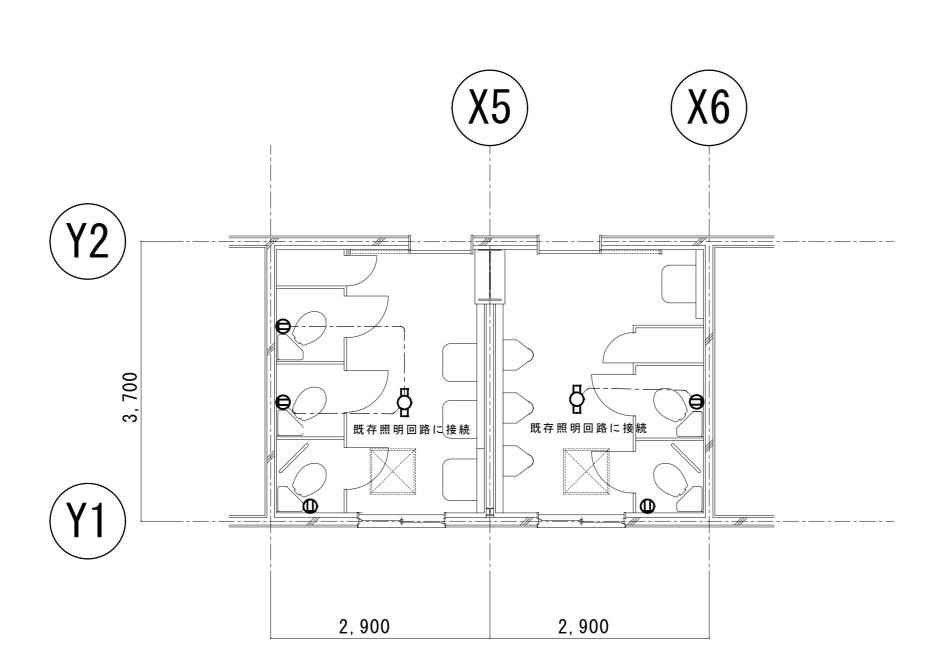
領	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】1階職員トイレ電気設備図	縮尺	作成年月	図 面 番 号
*	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	s = 1 : 50	2025.6	E-05





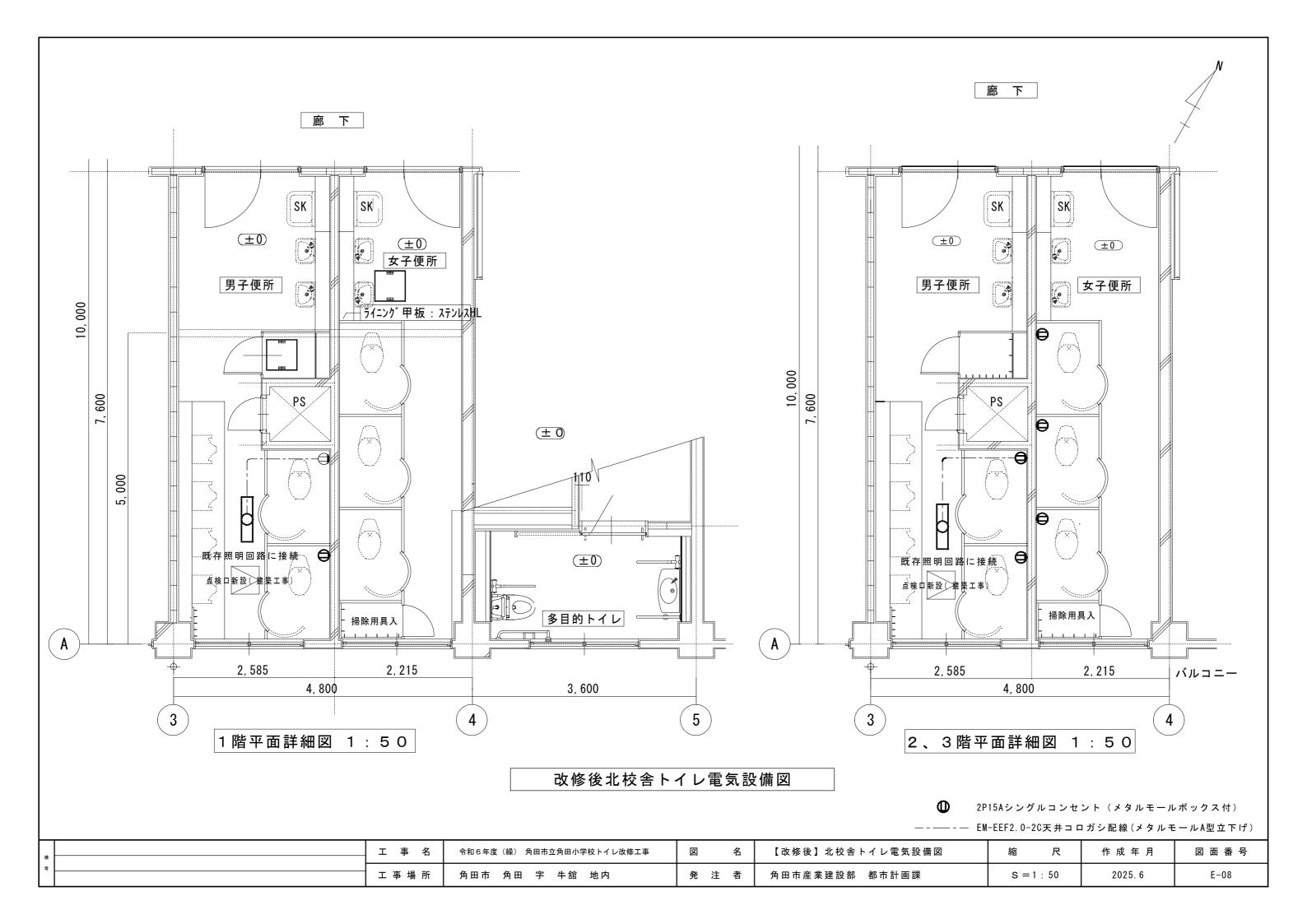
Ф 2P15Aシングルコンセント(メタルモールボックス付)-- - - EM-EEF2.0-2C天井コロガシ配線(メタルモールA型立下げ)

備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図名	【改修後】南校舎2階東側トイレ電気設備図	縮尺	作成年月	図面番号
考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	s = 1 : 50	2025.6	E-06

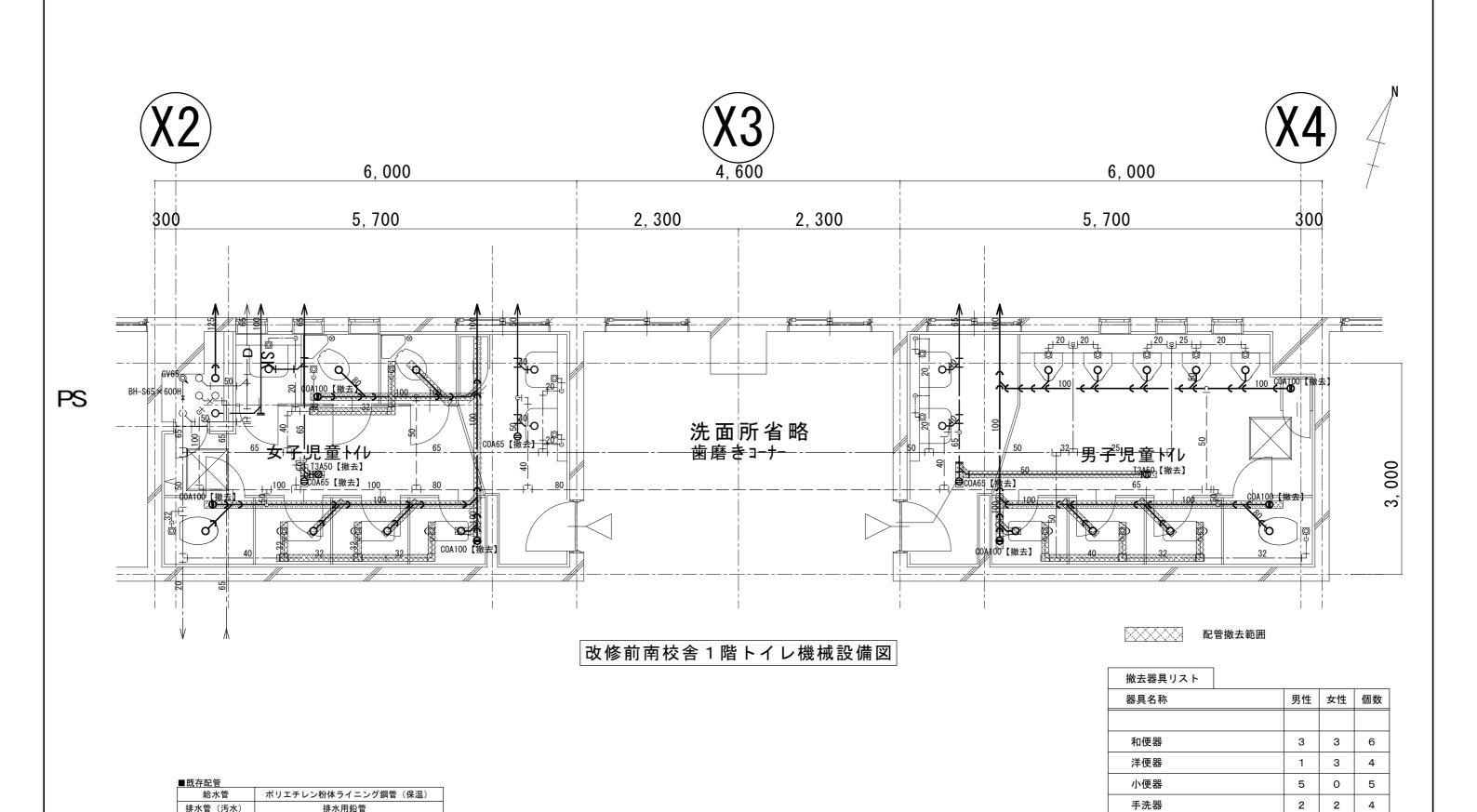


改修後屋内運動場トイレ電気設備図

備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図名	【改修後】屋内運動場トイレ電気設備図	縮尺	作成年月	図面番号
考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	s = 1 : 50	2025.6	E-07



The content of the		1 1		N 1			
The content of the	機械設備改修工事特記代	様 書【令和7年4月版】	※ 本工事において下記の項目の総合は運転調整等を行い、報告書を提出する。 ・ 別途 総合は運転調整等の項目	$ \setminus $		2. 排水桝	
The state of the			 ・ 風量調整 ・ 室内外空気の温湿度測定 		(6) 空間用排水管 ※ 配管用炭素銅鋼管 (白) ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管		(2)ふた - 鋳鉄製 (・ M H A ・ M H B ・ T 8 A)
The content of the			末端水栓の水質測定浄化槽放流水質の測定			排	
Part			・ 機器の絶縁抵抗の測定 ・ 機器の絶縁抵抗の測定	11. 开 類		*	
The content of the		19. 容量等の表示	(1)機器類の能力、容量等は指示された数値以上とする。	12. 銅管用伸縮管継手			・ 市町村別基準 (・ 有 ・ 無)
The content will be content with the content will be content wit			機器、配管、ダクト等は耐震を考慮し堅固に据え付け、取付け又は支持を行う。	13. 温度計			
The content of the		, 10.6.10 加班丘万 選 写	耐震措置の計算及び施工方法は、次に揚げる事項以外すべて建築設備耐震設計・施工指針(国土交通省国土技術政策		空気調和機、温風暖房機まわりの給気ダクト、湿気ダクト及び外気ダクト ・ 冷温水ヘッダー (柱) 及び冷温水ヘッダーの各退り管		
The content of the			設計用標準水平震度(Ks)		・パーケージ形空気調和機の冷却水及び温水の出入口	⑤ 試 験	
March Marc		 	投置場所 特定の施設	空 14. 瞬間流量計		6 故迹负担会等	
The content of the			上層階、屋上及び塔屋 2.0(2.0) 1.5(2.0) 1.5(2.0) 1.0(1.5)	気	を付属する。		
			+ mmm 1. 3 (1. 5) 1. 0 (1. 5) 1. 0 (1. 5) 0. 6 (1. 0) -階及び地下層 1. 0 (1. 0) 0. 6 (1. 0) 0. 6 (1. 0) 0. 4 (0. 6)	類			
		屋 外	重要水槽(飲料用) 一般水槽 重要水槽(飲料用) 一般水槽 上層階、屋上及び塔屋 2.0 1.5 1.5 1.0	⁴¹ 15. オイルタンク 設	(2) 遠隔油用指示計 ※ 取付ける ・ 取付けない	1. 配管材料	 ステンレス朝管 (SUS304) ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ 鋼管 ・ 被覆鋼管 保温付被覆鋼管
March Marc	- 空気調和設備		一階及び地下層、中層階	備		給 2. 弁 額	
The content of the	・換気設備		(3) 本工事の施設は (○ 一般の施設 ・ 特定の施設) とする。	16. 稜算油量計	図示の箇所に取付ける(熱源機器等)。	湯	
	自動制御設備		(5) 100kg以下の軽量な機器(標準仕様書の適用を受けるものは除く)においても耐震を考慮し、据付又	17. 注油口及び指示ポックス		備	
	○給水設備		(6) 昇降機のつり合おもりブロックの脱落防止は、十分な強度を有する方法で固定し、水平鉛直方向の地震力				
The content of the		Ø ######	に対して、つり合おもりが枠から脱落しないようにした構造とすること。	18. 消音内貼り			
	・消火設備		本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。なお、電気設備工事編標準仕様書第6編		(2) 内貼りチャンパー類の寸法表示は、外形寸法とする。 (3) 吹出口に接続するチャンパーの消音内貼りは別園による。	*:*****	(a) 40 (a) (b) 1 (d) 5 (d)
The content of the	ガス設備		通信・情報設備工事による。	19. 保温	(1)建物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁までとし(空気抜き弁も含む)、仕様は冷温水管の項による。	医医科科	 配管用炭素銅銅管(白) 外面被覆銅管(SGP-VS)
The content of the		23. 溶接部の非破壊検査	対象配管系統 ・ 冷温水 ・ 冷却水 ・ 消火 (水用) ・ 油 ・ ガス				
The column		24. (\$29)			(4)排気ダクトの外壁開放部より1m程度保温する。 (チャンパーボックスを含む)	消	ポリエチレン被覆鋼管(STPG-370PS)
The content of the		25. 支持及び固定			屋内露出部 ・ 保温化粧ケース (樹脂製) ・ 外装なし ・	火	
The column		部分:)				2. 屋内消火栓種別	・ 易操作性 1 号消火栓 ・ 2 号消火栓 ・ 広範囲型 2 号消火栓
The content of the	7. 設備概要 () 印のついたものは、主要方式を示す)	26. 支持金物・固定金具		20 雷気丁事の範囲		3. 消火栓開閉弁	· JIS10K · JIS20K
The content of the	次年 網 和 士 才 第	-	(2)振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。		(2)防煙ダンパと連動制御器迄の配管配線及び連動制御盤から煙感知器迄の配線配管は	備 4. 保 温	
March Marc	- 全 ^元 全 ^元 全 ^元 ティー ファンコイルユニット、ダクト併用方式	27. 埋戻し土・盛土					(2) 充水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する
March Marc	 温風暖房 ・ 全空気方式 ・ ファンコンベクター、ダクト併用方式 			21. 塗装			
The content of the		まで用でして	地中埋設標及び埋設用テープは、下記により屋外埋設部分に布設する。なお、地中埋設標の設置場所は図示による ほか、屋外埋設管の分体及び曲がり朝に設置する	- 進担事項		5. 消火器類	
Column C		 数示用アープ max max	(1)給水管 ・ 地中埋設標 ・ 埋設用表示テープ		. 5 . 6 . 7 . 8 . 9 . 18 . 19 . 21	85 . ——!-	
March Marc	排水方式 建物内の汚水及び雑排水(① 分流式 ・ 合流式)	N	(3)油 管・地中埋設標・埋設用表示テーブ	1 1		型 1. 厨房機審頭 房 機	
The content of the	放流先 汚 水 (② 下水道直放流 ・ 浄化槽)		(4)消火管・・ 地中埋設標・・ 埋設用表示テープ			器	
The column	雑排水 (⑥ 下水道直放流 ・ 浄化槽 ・ 倒溝 ・	- 別途桝) 井 ② 保 温		19		sil	
The content of the	消火設備方式 ・ 屋内消火栓 (・ 湿式 ・ 乾式) ・ 連結送水管 ・		・ ダクトの保温の外装は下記による。内装は (・ ロックウール ・ グラスウール)	5. 厨房用排気フード 備		1、配管材料	(1)一般 (2)地中埋設部
The content of the	 粉末消火 連結散水 フード等用簡易自動法 	直火 ・消火器	内 各階機械室 ・ アルミガラスクロス ・				※ 配管用炭素銅鋼管(白) ※ ポリエチレン被覆鋼管
Part		液化石湖ガス	居室・廊下など カラー亜鉛鉄板	6. 多湿箇所の排気がか	次の系統のダクトのシールは、標準図(施工45、46)のNシール+Aシール+Bシールとし、水抜き値を設ける。		ガス用ポリエチレン管
Part Part And	1. 一般事項 (1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて「国土交通省大臣官房官庁	宇営繕部監修の公共建築工事標準仕様書	屋内隠ぺい, PS内 ○ アルミガラスクロス)	n n	
Part	(機械設備工事編、令和4年版),公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編,	令和4年版)」(以下「標準仕様書」	()	排 1. ダクト	・ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製 (1.6mm以上)	2. 都市ガス	(1)ガスメーター 親メータ はガス事業者の設置。 子メーターは本工事
The content of the	う。)による。	項	屋 倉庫・書庫 ・ アルミガラスクロス ・	_		z	
The content of the	(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれ 電気設備工事の工事仕様書は(/) 図、建築工事の工事仕様書は(/) 図に	れぞれの工事仕様書を適用する。なお、 こよる。		10		3. 液化石油ガス	
The content of the	 特記事項 (1)項目は番号にQ印の付いたものを適用する。 		四 居室・廊下など ・ 合成樹脂製カバー ・	#		設	(3)集合装置 ・ 標準図(施工72)による 本組)
Column C	(2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付い ○印と髪即の付いた場合は、共に適用するものとする。		屋外露出、多湿箇所 ・ ステンレス鋼板 ・ 着色アスファルトプライマー			4	(4)転倒防止等 ・ 標準図 (施工73) [・(a) (b)] ・ ポルト、チェーン等はSUS製とする。
Companies Comp	章 項 目 特記事			自 1. 中央監視制御	中央監視制御装置の構成機能は別抵による。	 4. ガス漏れ警報器	
Part	○ 宮城県建設工事元請・下請適正化要綱(最新版)			4 4			
Part				設備		5. 埋設深さ	
Column C	※ 太丁事に体明する絶対策は、設計開業に規定するよの、またはこ						
Part	一般 材 等 同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。			①. 大便器洗浄弁	○ 洗浄タンク方式 ・ 洗浄弁方式 (不凍結節水弁付)	6. その他	配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。 供給事業者名 ()
Distance	性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。	32. 山留め	切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合	衛 2. 便器洗浄用タンク	※ 手洗なし ・ 手洗付	7,7,7	772 (- 72 MC2
Company Comp	規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホル			&	個別感知方式とする。(・・小便器一体型・・小便器分離型)		
Company Comp				具			
		の見れる。 定される製作図、試験成績表等を含む。 ⑤ 再使用品の清掃	再使用する機器類は現場内で可能な洗剤による水洗等の清掃を行う。	•		備 5. 工場検査予定	※ あり ・ なし
Part	④. 保 険 本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡しま	期日まで、火災保険及びその他の保険に付し、 ② 火気の使用		~			
1				7. 大便器耐火カバー	設ける(ビット内を除く)		建設副産物処理表 (施工前調査表) 」としてあらかじめ監督総員に提出すること
Description of the control of the	5. 雇 用 本工事は、公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努めること。			1 5+2	(1)超メーケー ※ 法田 。 質如 ((理湖 4 _ カ _ ・ 字 ・ 年)	解 工事に適用とし、	2搬去品の一切については、有害物質等の含有又は含有の可能性の有無について改めて調査を行い、その結果を「指定様式 2-2 建設割産物処理支(機夫品調査後)」として監督職員に提出すること
# 1. 1 - 1				1. 重示器		事	週用か ③上記②により新たな有害物質等の含有又は含有の可能性がある物去品を確認した場合には、速やかに監督職員と協議するとともに、産業廃棄物処理計劃の変更を行い、監督職員の確認を場た上で処理・如分すること
				2. 量水器桝			④撤去品の取扱いについては、関係法令等に従い適切な処理・処分を行うとともに、その結果を「指定様式2-3
Description of the control of the			PULL-PERM ()				延収制性物料埋衣(取 収/」としく監督職員に使出すること
Part	⑦ 工事実績情報の登録 請負額が500万円以上の場合け T車実績情報を発料する	33. / ^ ^ ^ F		③. 配管材料	(1)一般用 (3)屋外土中用		
Part		手続きを行い、工事カルテの受領証を監督職員 ⑫ あと施エアンカー			 塩ピライニング銀管(・VA・VB) 塩ピライニング銀管(VD) 		
Section Continue	に提出のこと。				 ポリ粉体鋼管 (・PA ○PB)・ ポリ粉体鋼管 (PD)	表 1 「完成書類」 本	工事終了後下記の書類を提出すること。
□ Name		の必要な届出手続等を遅滞なく行う。			· " (HIVP)		
### Authority 10 10 10 10 10 10 10 1	-	ま :		給	ステンレス鋼管(SUS316)水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管		
1 日本の日本		及びアンカーボルト				1 完成調書	(令和7年4月1日版) ①工事概要書
************************************				1.1		2 完成図(縮小)	②機器完成図
○ 大き (中央の で) を持ち、 (中の で) (中央の で) (中央の で) (中央の で)		せる。(資格証の写しを提出する)	※ 認定製品使用対象外工事だが、利用の促進に努めること。	水 4. 不凍水栓柱	化粧ケーシング (・ アルミ合金製 ・ 合成樹脂製)	- 2000mm (48/11)	A 1版及びA 3版二つ折り ④保守に関する案内書
***	配管(配管工事)・ 建築板金(ダクト製作及び取付け)	○ 熟絶縁施工 (保温工事)43. 施工条件		5 ± #	(1)水溶査経動の ※ 、「「Q▽付」いっのい ・ 水溶素単純の傾向にしま い		
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日			省エネ法の特定機器の対象となる機器はJIS C 4034-30:2011のJE3 (プレミアム効率) に相当する機器を導入すること。	設 2. 开 城	(2)その他の部分 ※ JIS又はJV5K ・ JIS又はJV10K		PDF形式 1 枚 ①施工写真 A 4 版: チューブ式ファイル
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日				1			(着手前. 施工状況. 完成の各写真)
□ 日本の日本	枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン	(厚生労働省平成21年4月改訂)」による 仮 1. 工事用電力、水、その		6. 給水栓	(1)屋内(※ 一般水栓 ・ 耐寒水栓) (2)屋外(※ 耐寒水栓 ・ 一般水栓) 湿油な 台所 西藤田水がけ为はオナオス - 対策ながけ いねれるの 200万 ロ しナス	①機器別完成図	
□ 数数		т		#		③機材検査成績書	
# 2. 1 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (事 2. 養生		7. 埋設深さ			
日本日本の			- 養生万法()	8.48 22		⑥現場据付試験成績書	書 ③承諾書・確認書
1. 単上版程					(2)屋外露出配管 (弁フランジを含む) は、標準仕様書第2編 (表2.3.6 e2・(ハ)) とし		⑤打合せ護事録
□	建設発生土を場外へ搬出する場合 1建設発生土現場管理者(複数可))を選任し、施工計画書に記載し、提出する。 カ	- 版 系 駅 コンヒューター至系駅 温度 (DB) 温度 (RH) 温度 (DB) 温度 (RH) 温度 (DB) 温度 (RH) 温度 (DB) 温度 (RH)			①保守に関する案内書	⑦安全に関する書類
○ 和来の必要	作成し、1週間毎の集計表を監督職員に提出する。 4建設発生土は5	運取発生土搬出等管理表を、搬出を行う日毎に 受入地において、搬出先土量を伝票により管理	32.4℃(12時) 60.296(12時) 2.6℃ 4.594 ℃ 4.594	9. 埋設弁開閉用ハンドル	本工事に ※ 含む (水道事業者管理用以外の弁操作用) ・ 含まない	②機器別取扱説明書	⑧廃棄物管理票の写し
(2) 地域取扱機能は、・ 末子章 ・ 治生年)	① 発生材の処理 (1)建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当 ・ なし	L · 89 ()	32.0 C(14時) 37.8%(14時) 31.8°C(16時)	10. 水道加入金等			9 工事に関する承諾 確認書
#は認力 120 でで行い、整理機長を乗り入の上海の政策を終える事のスースの子が、管理機関を指揮する人の人の人の関係を受け上の表情を表現を表現しています。 「大き 機関 東京 単正) おより はまました。 大主 機関 東京 単正) から 大き 機関 東京 は 中国 といっています。 「大き 人の人の人の関係を表現を表現を表現します。 「大き 人の人の人の関係を表現しません。 大き 機関 東京 は 中国 といっています。 「大き 人の人の人の人の関係を表現しません。 大き 機関 東京 は 中国 といっています。 「大き 人の人の人の人の関係を表現しません。 大き 機関 東京 は 中国 といっています。 「大き 人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の人の	(2) 冷媒回収費用は(・ 本工事 ・ 別途工事)	環の実施の確保等に関する法律(フロン回収	李季 -2.0℃ 69.2% 22℃ 40% ℃ % 24℃ 45%				Francisco
無に近くマリマナの人では上級の商品を含む、日本のの企業を持ちられる。 製造物の企業を持ちられる。 製造物の企業を持ちられる。 製造物の企業を持ちられる。 製造物の企業を持ちられる。 製造物の企業を持ちられる。 また、 あり (破壊法)」に従って行い、監督職員に第一種フロン類回収業者登録通	知書の写し、フロン類回収証明書を提出する。 和 2. ばい煙濃度計					
(連接性 4 0 の) 可能 と参すものに、接触に重要を取り付き点。 (3) 可能 と参すもの (4) 東京地に「長年後のの間裏が開発して会手 9 の前機を含むままし、新規関いの間を対する。 (3) 国外大学の表質 (4) 日本の表質	法に従ってリサイクル (フロン類の回収を含む) を行い、監督職員に、		※ 煙道径300mm以下は鋼板厚3.2mm,300mmを超えるものは4.5mmとする。 図示による。				
(4) 無数形は、「無異物の環境な場所である。 (4) 無数形は、一角素を担いて、						注射:機能なが2.7二/全 点	本際について
(ク) 特別管理を無実験的 (ク) ※ なし、 あり ((4) 廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令	大道立		→ U. 配置材料	 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) 	本図面中で、機器	界又はシステムの品質・グレードを規定する目的で、対象品の寸法形状、
(自 日 中 中)				*	 鉛管 排水用塩ビライニング鋼管 硬質ポリ塩化ビニル管(VU) 	これらのものにつ	1版等を参考図として記載している。 DLVでは、その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用
・ コングリート ・ コングリート 20 投放から成る建設受材 { ・ オ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ イ	(イ) 特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設	·	(1)内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。				
・ アスファルドコンクリート (設			
(ウ) その他性生力の最大度の自産業廃業物 () (1) 復帰方式 ※ 連続式 (電気式 (定施入力DC2 4 V. O. 7 A以下)		,		備			
・ 木 (す場の原理型の産業機整物 ※ デスペストについて、 労働を発生法 (毛線線書等の規則)・廃棄物処理法等に削り、事前調素を実施し、 損害結果を 表記別サイクル法 ・ 対象工事 ・ 対象工) た様が…/					
建設リサイクル法 ・ 対象工事	+ / - HO - O - THE - O - O - O - O - O - O - O - O - O -	,	(2)復帰動作 ※ 順送り		台所流し等の床上露出部分の排水管は、硬質ボリ塩化ビニル管でもよい。		
- 分象工事 - 分象工事 - 未析が決定した業者は、分別解体等省金で定める様式第1号別表1~3のうち当該工事に該当する別表及び 工程表を作成し、契約結婚前に、契約結婚前に、契約結婚前に、契約指数音等に説明書を提出するものとする。また、特定建設資材廃棄物の 再資配の場で売が戻りたときは、建設リサイクル法第18款に基づいて書面により報告すること。 - 本社・歴史の場であったと、建設リサイクル法第18款に基づいて書面により報告すること。		10. 配管材料					全 葉 図面 No
第4が決定した妻前は、分別解体等者ので定めら様式第1号のうち当覧工事に指摘する別表及び 工程表を作成し、契約指摘書等に説明書を当成明書を言い説明書を書い説明書を書い説明書を書い説明書を表示し、存定建設資材積度幣の 再資配の等が実了したときは、建設リッサイクルは書き、 ・ 数字用元素銅響管(黒) ・	 対象工事 					日市立角田小学校	・トイレ改修工事
再資産化等が完てたときは、建設リサイクル法第18条に基づいて書面により報告すること。			(還水管) ※ 圧力配管用炭素銅鋼管 (Sch 40)		電話 0224-03-0138 ▮		
- 対象外工事 「坂塚以順収砂エザ!で加止は将官	再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づ					- -	
	· 対象外丁事			JL	西枫宗性未延改卲卻印訂凹試 │	- IA E	



備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】南校舎1階児童トイレ機械設備図	縮尺	作成年月	図面番号
考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	s = 1 : 50	2025. 6	M-02

掃除用流し

標記板(陶製)

紙巻器

0

4

8

6

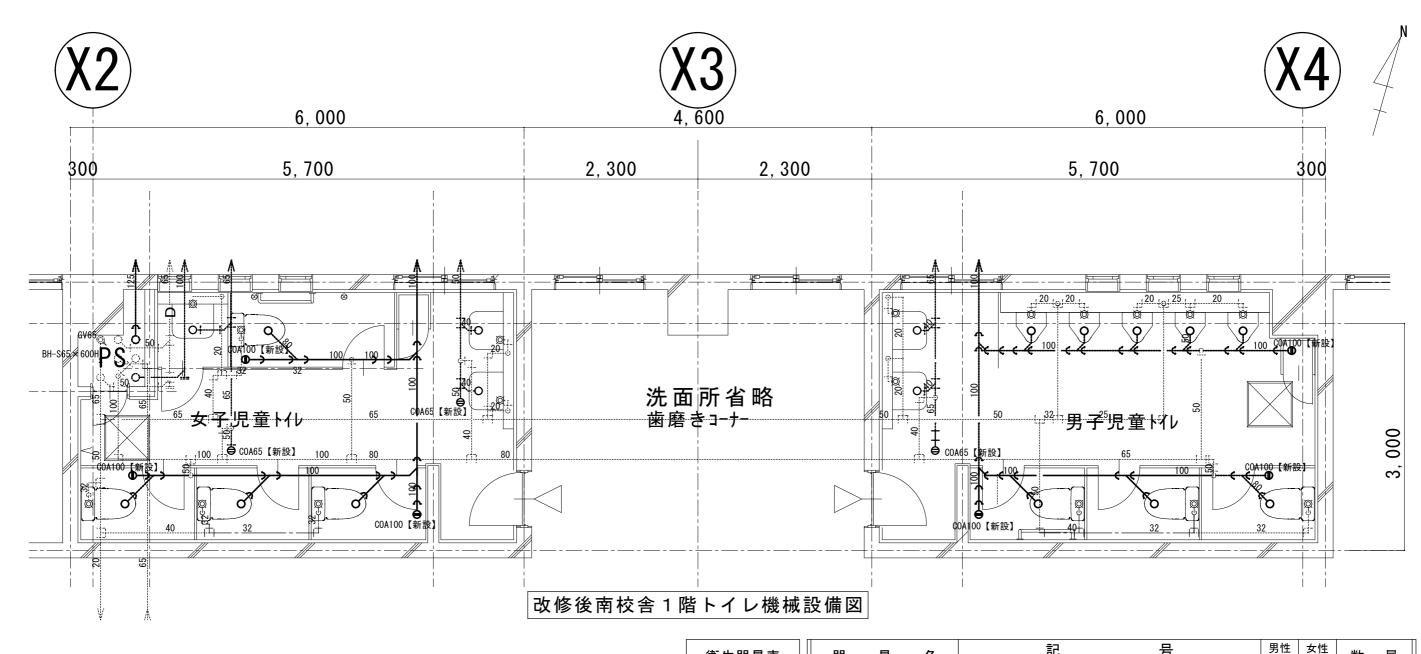
12 20

10

排水管 (汚水)

排水管 (雑排水)

排水用鉛管 排水用鉛管



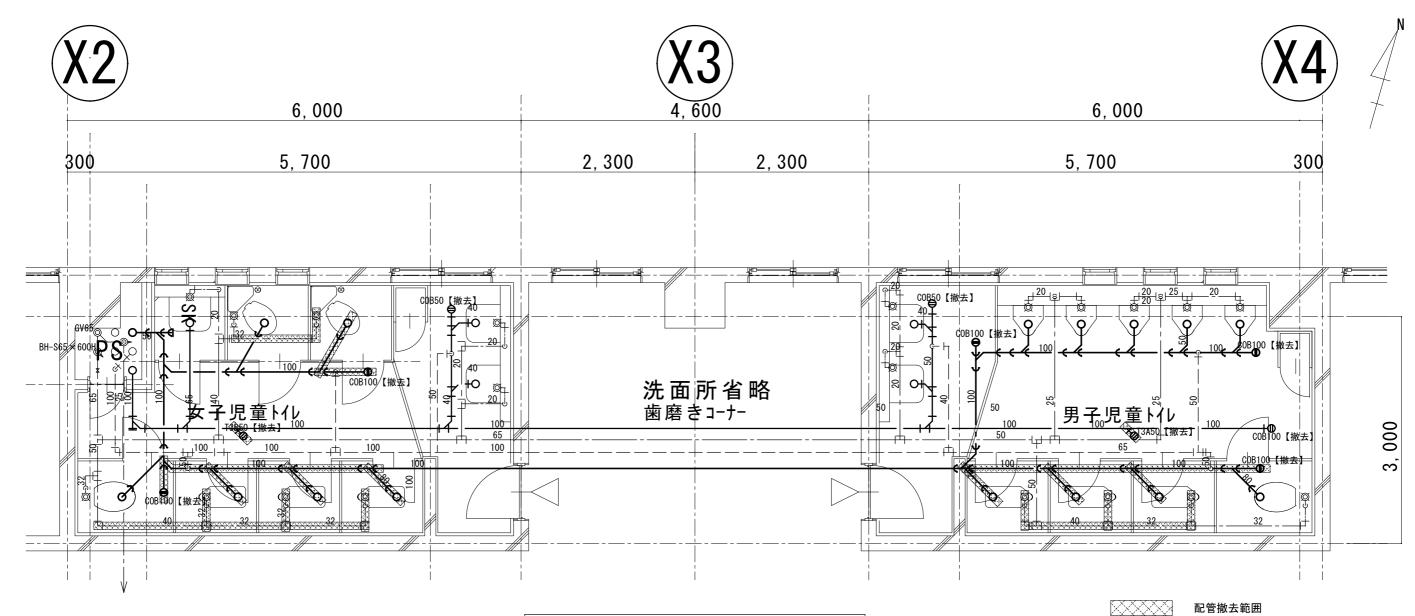
衛生器具表

器 具 名	記 号 (参考: TOTO品番)	男性 便所	女性 便所	数量
洋 式 便 器	CS597BCS、SH596BAYR TCF116 その他付属品一式付	3	4	7
小 便 器	UFH508CR(フラッシュバルブ)その他付属品一式付	5	0	5
マルチシンク	SK510D その他付属品一式付	0	1	1
手 洗 器	L210C(自閉式水洗) その他付属品一式	2	2	4
棚付二連紙巻器	Y H 7 O 2	3	4	7
標記板(再利用)	-	8	6	1 4

■改修配管

給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管(保温)
排水管(汚水)	耐火二層管VP
排水管(雑排水)	耐火二層管VP

備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎1階児童トイレ機械設備図	縮尺	作成年月	図面番号
考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	s = 1 : 50	2025. 6	M-03



改修前南校舎2階トイレ機械設備図

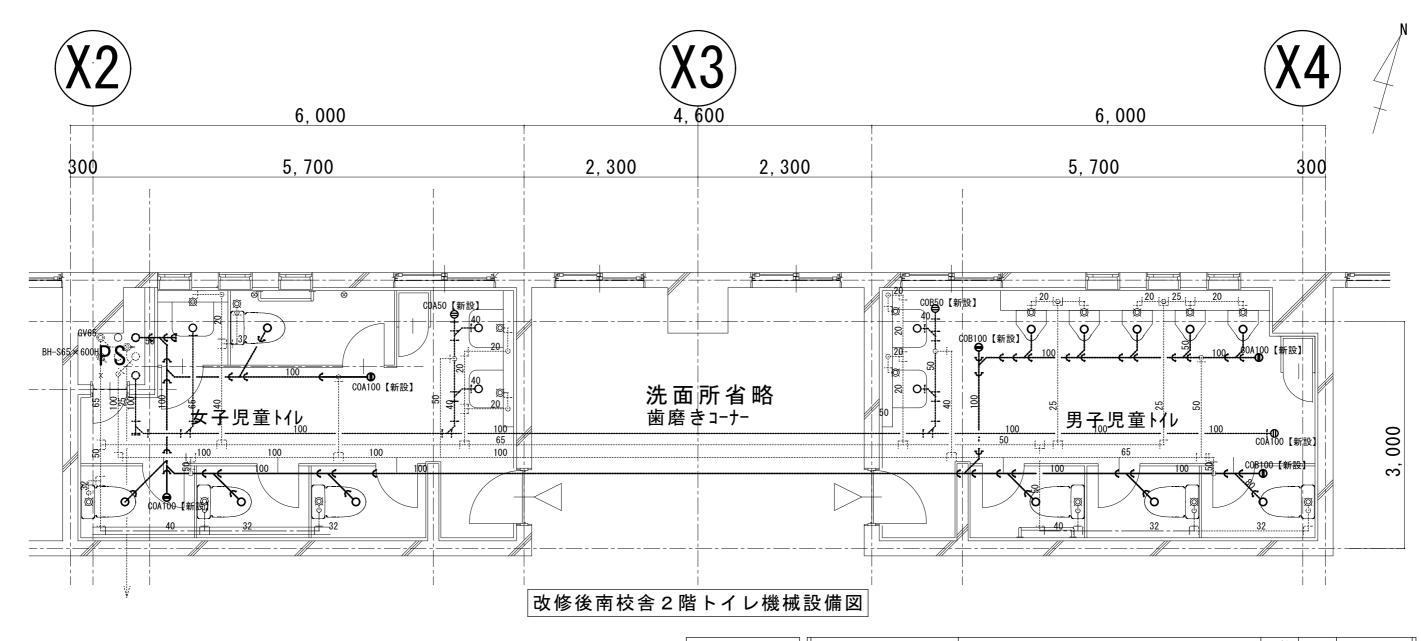
+t/- 	=	1.1	-	

IN A III // // I			
器具名称	男性	女性	個数
和便器	3	3	6
洋便器	1	3	4
小便器	5	0	5
手洗器	2	2	4
掃除用流し	0	1	1
紙巻器	4	6	10
標記板(陶製)	8	1 2	2 0

■既存配管

給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管(保温)
排水管(汚水)	排水用鉛管
排水管 (雑排水)	排水用鉛管

備		工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】南校舎2階児童トイレ機械設備図	縮尺	作成年月	図面番号
考	*	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025. 6	M-04



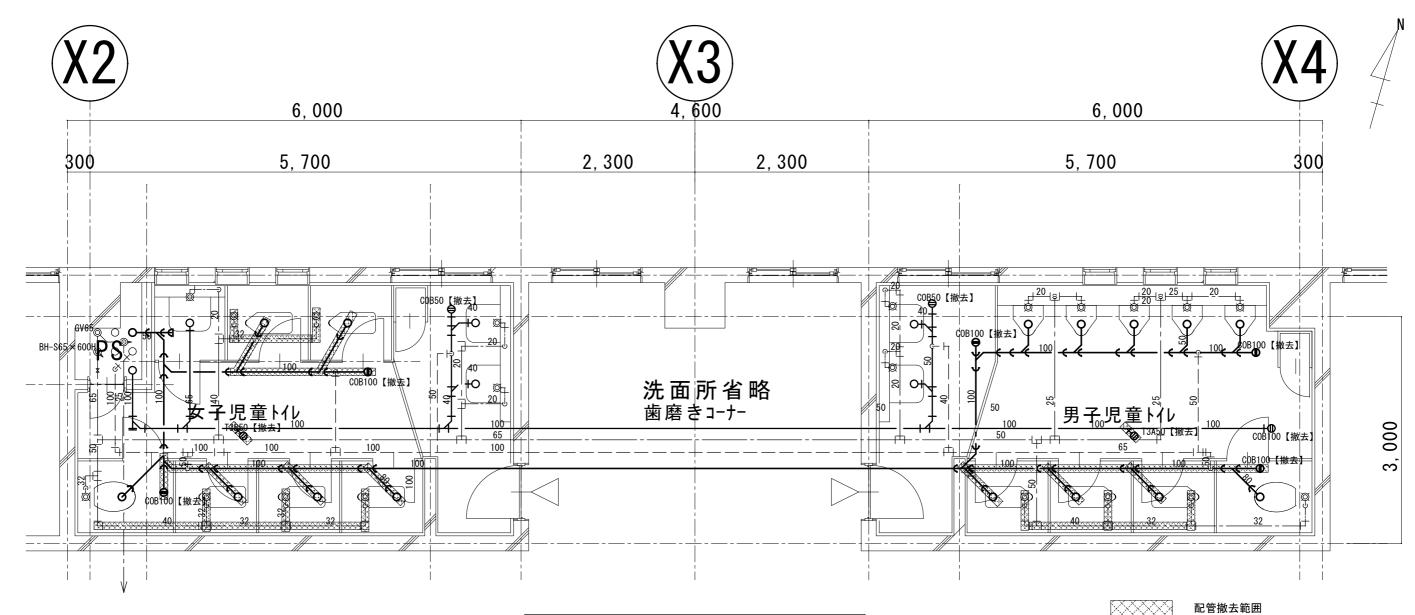
衛生器具表

器具名	記 号	男性	女性 便所	数量
洋 式 便 器	CS597BCS、SH596BAYR TCF116 その他付属品一式付	3	4	7
小 便 器	UFH508CR(フラッシュバルブ)その他付属品一式付	5	0	5
マルチシンク	SK510D その他付属品一式付	0	1	1
手 洗 器	L210C(自閉式水洗) その他付属品一式	2	2	4
棚付二連紙巻器	Y H 7 O 2	3	4	7
標記板(再利用)	-	8	6	1 4

■改修配管

給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管(保温)
排水管(汚水)	耐火二層管VP
排水管(雑排水)	耐火二層管VP

備	工 事 名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎2階児童トイレ機械設備図	縮尺	作成年月	図面番号
考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	s = 1 : 50	2025. 6	M-05



改修前南校舎3階トイレ機械設備図

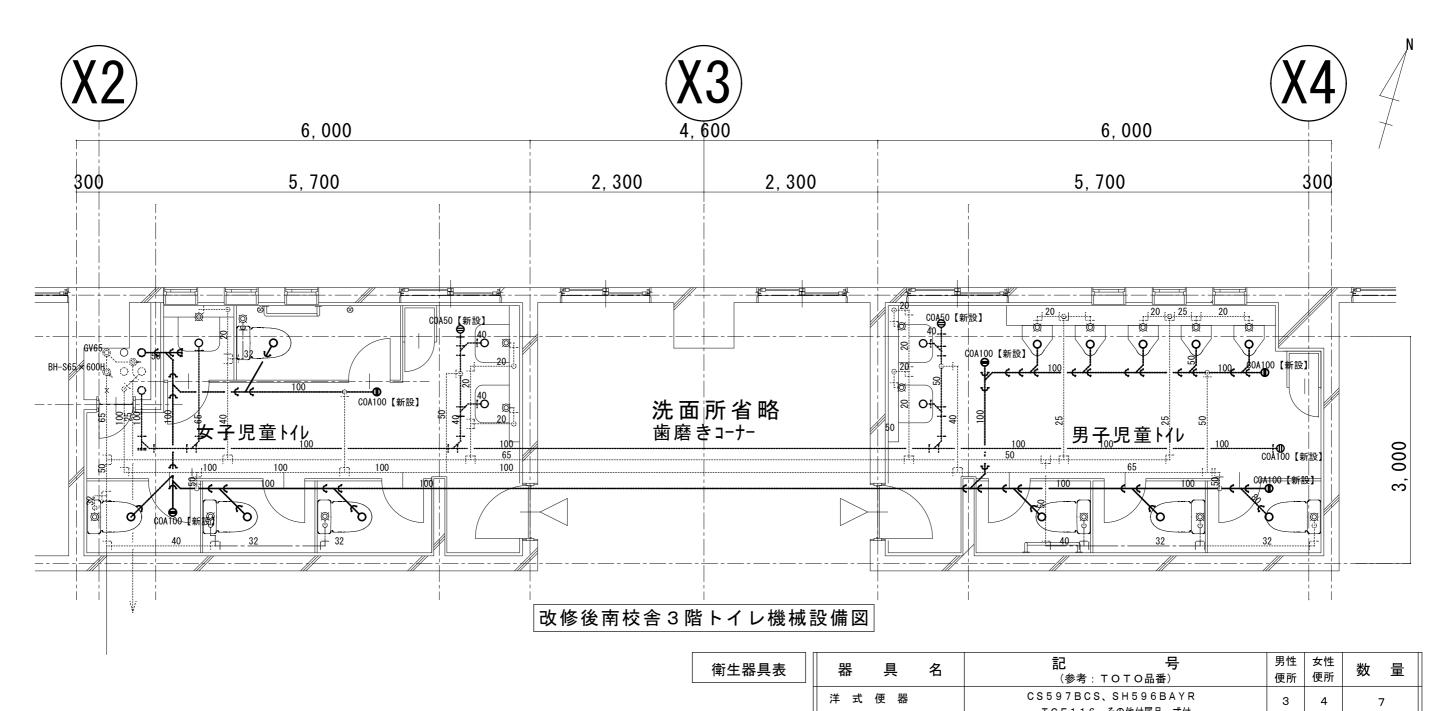
肝存配管	
1997年1997年	

給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管(保温)
排水管 (汚水)	排水用鉛管
排水管(雑排水)	排水用鉛管

撤去器具リスト

器具名称	男性	女性	個数
和便器	3	3	6
洋便器	1	3	4
小便器	5	0	5
手洗器	2	2	4
掃除用流し	0	1	1
紙巻器	4	6	10
標記板(陶製)	8	1 2	2 0

備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】南校舎3階児童トイレ機械設備図	縮尺	作成年月	図面番号
考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	s = 1 : 50	2025. 6	M-06

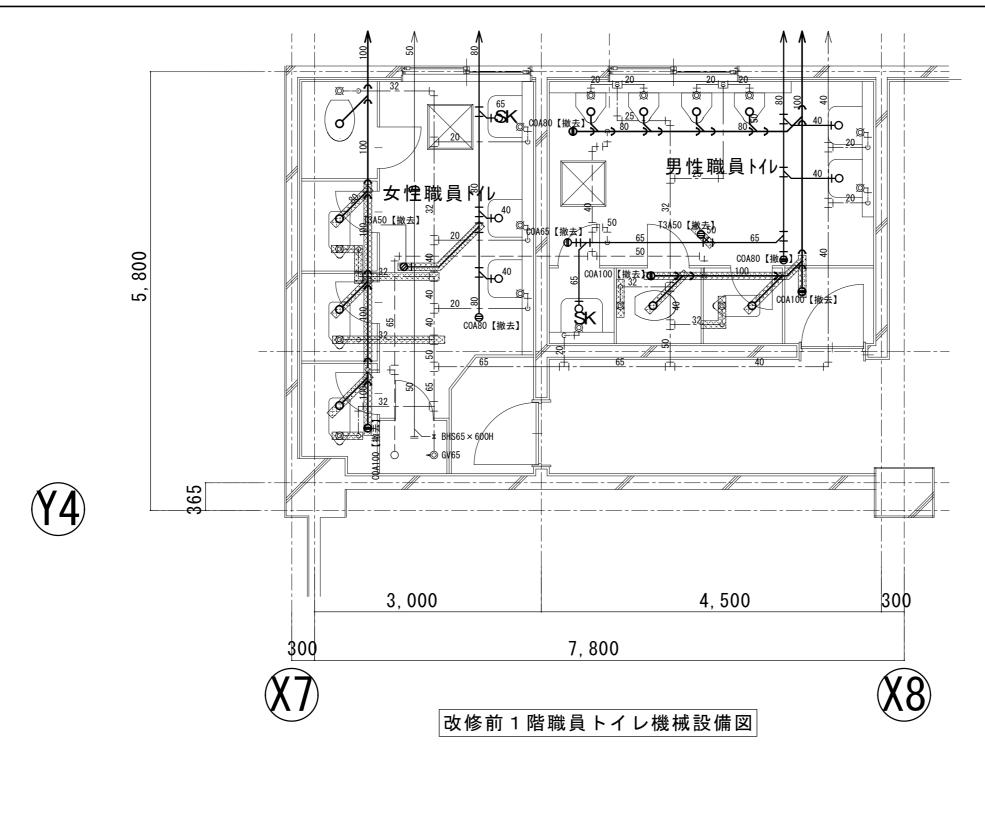


■改修配管

給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管(保温)
排水管(汚水)	耐火二層管VP
排水管(雑排水)	耐火二層管VP

器具名	記 (参考:TOTO品番)	男性 便所	女性 便所	数量
洋 式 便 器	CS597BCS、SH596BAYR TCF116 その他付属品一式付	3	4	7
小 便 器	UFH508CR(フラッシュバルブ)その他付属品一式付	5	0	5
マルチシンク	SK510D その他付属品一式付	0	1	1
手 洗 器	L210C(自閉式水洗) その他付属品一式	2	2	4
棚付二連紙巻器	Y H 7 0 2	3	4	7
標記板(再利用)	-	6	8	1 4

備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎3階児童トイレ機械設備図	縮尺	作成年月	図面番号
考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	s = 1 : 50	2025.6	M-07



配管撤去範囲

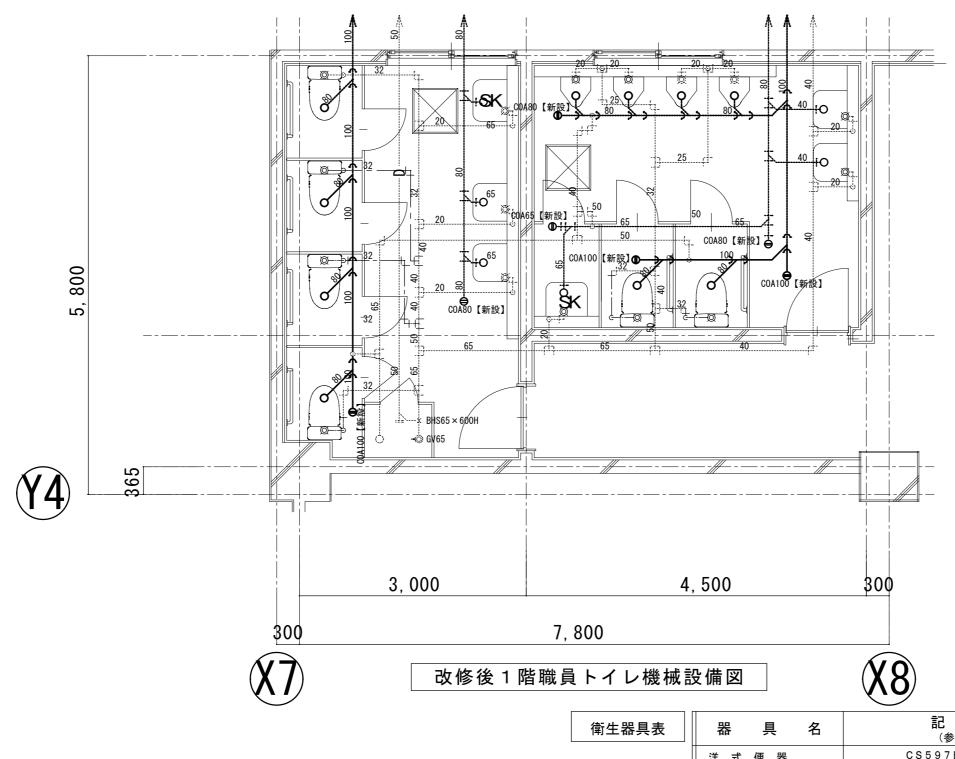
撤去器具リスト

器具名称	男性	女性	個数
和式便器	1	3	4
洋式便器	1	1	2
小便器	4	0	4
掃除用流し	1	1	2
紙巻器	4	2	6

■既存配管

給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管(保温)
排水管(汚水)	排水用鉛管
排水管(雑排水)	排水用鉛管

備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】 1 階職員トイレ機械設備図	縮尺	作成年月	図 面 番 号
考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	M-08

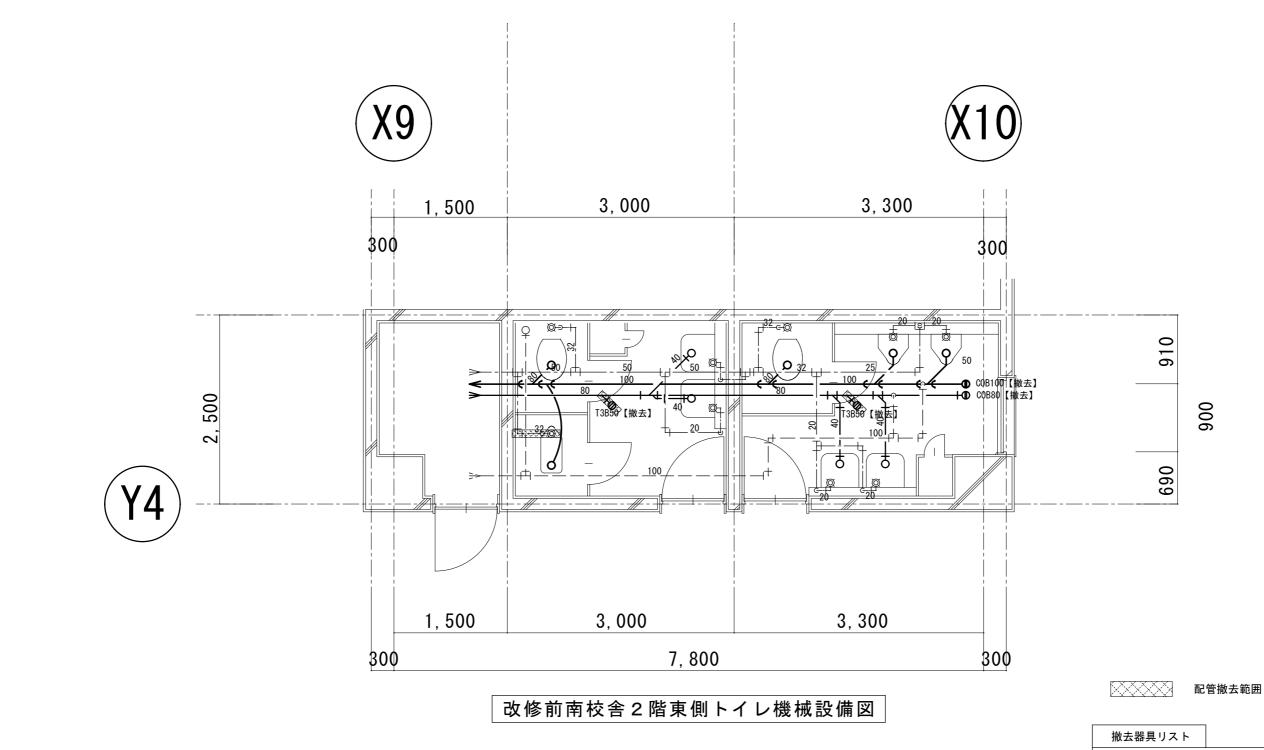


器 具 名	記 号 (参考:TOTO品番)	男性 便所	女性 便所	数量
洋 式 便 器	CS597BCS、SH596BAYR TCF5534AU(エコリモコン) その他付属品一式付	2	4	6
小 便 器	UFH507CR(フラッシュバルブ)その他付属品一式付	4	0	4
マルチシンク	SK510D その他付属品一式付	1	1	2
手 洗 器	L210C(自閉式水洗) その他付属品一式	2	2	4
棚付二連紙巻器	Y H 7 O 2	2	4	6
標記板(再利用)	-	4	8	1 2

■改修配管

給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管(保温)
排水管(汚水)	耐火二層管VP
排水管(雑排水)	耐火二層管VP

備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図名	【改修後】1階職員トイレ機械設備図	縮尺	作成年月	図面番号
考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	s = 1 : 50	2025. 6	M-09

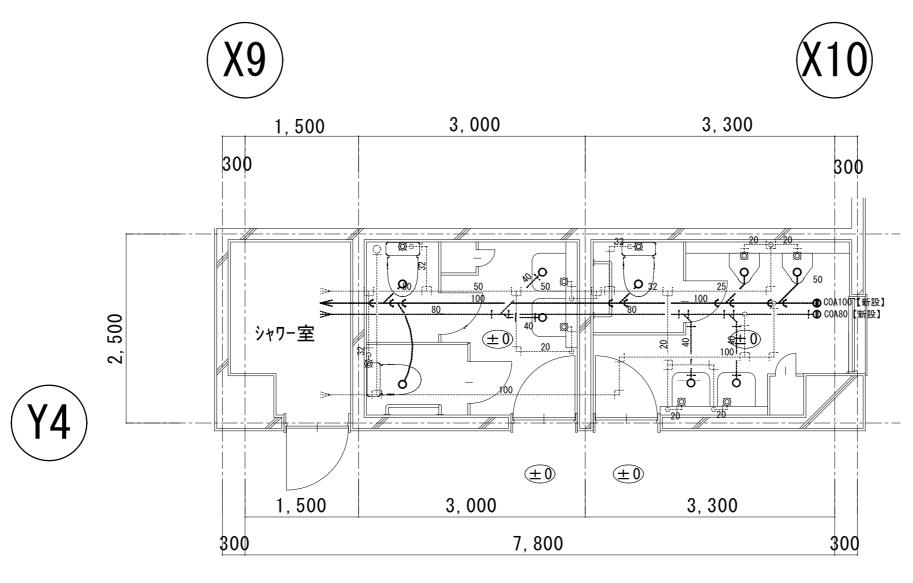


■既存配管

給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管(保温)
排水管 (汚水)	排水用鉛管
排水管(雑排水)	排水用鉛管

器具名称	男性	女性	個数
和式便器	0	1	1
洋式便器	1	1	2
小便器	2	0	2
手洗器	2	2	4
掃除用流し	0	0	0
紙巻器	2	1	3

łi	1	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図名	【改修前】南校舎2階東側トイレ機械設備図	縮尺	作成年月	図面番号
#	ž	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	s = 1 : 50	2025.6	M-10



改修後南校舎2階東側トイレ機械設備図

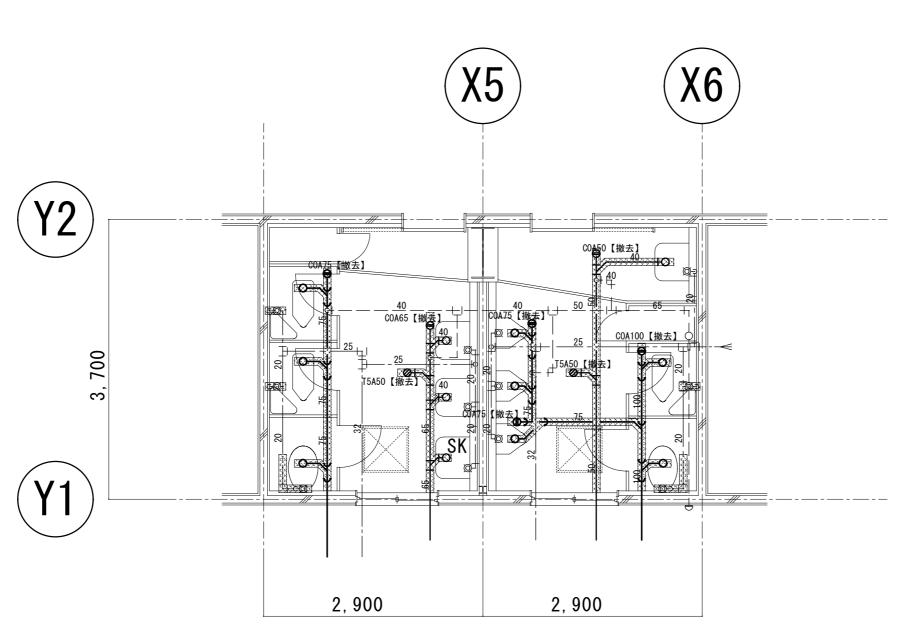
衛生器具表

器具名	記 号 (参考: TOTO品番)	男性 便所	女性 便所	数量
洋 式 便 器	CS597BCS、SH596BAYR TCF116 その他付属品一式付	1	2	3
小 便 器	UFH508CR(フラッシュバルブ)その他付属品一式付	2	0	2
マルチシンク	SK510D その他付属品一式付	0	0	0
手 洗 器	L210C(自閉式水洗) その他付属品一式	2	2	4
棚付二連紙巻器	Y H 7 0 2	1	2	3
標記板(再利用)	-	4	2	6

■改修配管

給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管(保温)
排水管(汚水)	耐火二層管VP
排水管(雑排水)	耐火二層管VP

備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】南校舎2階東側トイレ機械設備図	縮尺	作成年月	図面番号
*	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	s = 1 : 50	2025.6	M-11



改修前屋内運動場トイレ機械設備図

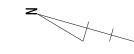
配管撤去範囲

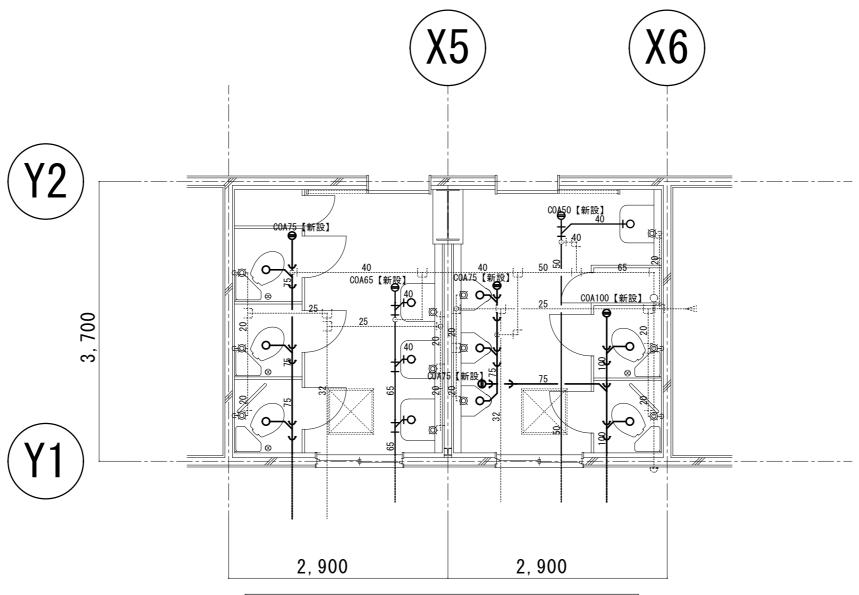
■既存配管

給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管(保温)
排水管 (汚水)	排水用鉛管
排水管(雑排水)	排水用鉛管

撤去器具リスト			
器具名称	男性	女性	個数
和式便器	1	2	3
洋式便器	1	1	2
小便器	2	0	2
洗面器	1	2	3
掃除用流し	0	1	1
鏡(一時撤去)	1	2	3

備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修前】屋内運動場トイレ機械設備図	縮尺	作成年月	図面番号
考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	s = 1 : 50	2025.6	M-12





改修後屋内運動場トイレ機械設備図

衛生器具表

器 具 名	記 (参考:TOTO品番)	男性 便所	女性 便所	数量
洋 式 便 器	CS597BCS、SH596BAYR TCF116 その他付属品一式付	2	3	5
小 便 器	UFH508CR(フラッシュバルブ)その他付属品一式付	3	0	3
マルチシンク	SK510D その他付属品一式付	0	1	1
手 洗 器	L210C(自閉式水洗) その他付属品一式	1	2	3
棚付二連紙巻器	Y H 7 O 2	2	3	5
鏡	再利用品	1	2	3

■改修配管

給水管	ポリエチレン粉体ライニング鋼管(保温)
排水管(汚水)	耐火二層管VP
排水管(雑排水)	耐火二層管VP

備	工事名	令和6年度(繰) 角田市立角田小学校トイレ改修工事	図 名	【改修後】屋内運動場トイレ機械設備図	縮尺	作成年月	図面番号
考	工事場所	角田市 角田 字 牛舘 地内	発 注 者	角田市産業建設部 都市計画課	S = 1 : 50	2025.6	M-13